

(様式第10)

名大医総第 123 号  
平成 26 年 9 月 30 日

東海北陸厚生局長 殿

開設者名 国立大学法人 名古屋大学  
総長 濱口 道成 印

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成25年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
氏 名	国立大学法人 名古屋大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

名古屋大学医学部附属病院
--------------

3 所在の場所

〒 466 - 8560 名古屋市昭和区鶴舞町65番地	電話(052)741-2111
--------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 血液内科 2 糖尿病・内分泌内科 3 腎臓内科 4 老年内科 5 呼吸器内科 6 消化器内科 7 循環器内科 8 神経内科 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科名等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	<input checked="" type="radio"/> 有・無
外科と組み合わせた診療科名等	
1 心臓外科 2 血管外科 3 移植外科 4 消化器外科 5 乳腺・内分泌外科 6 呼吸器外科 7 小児外科 8 形成外科 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="radio"/> 1 精神科 <input checked="" type="radio"/> 2 小児科 <input checked="" type="radio"/> 3 整形外科 <input checked="" type="radio"/> 4 脳神経外科 <input checked="" type="radio"/> 5 皮膚科 <input checked="" type="radio"/> 6 泌尿器科 <input checked="" type="radio"/> 7 産婦人科 8 産科 9 婦人科 <input checked="" type="radio"/> 10 眼科 <input checked="" type="radio"/> 11 耳鼻咽喉科 <input checked="" type="radio"/> 12 放射線科 13 放射線診断科 14 放射線治療科 <input checked="" type="radio"/> 15 麻酔科 <input checked="" type="radio"/> 16 救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="radio"/> 有・無
歯科と組み合わせた診療科名等	
1 口腔外科 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 児童精神科 2 病理診断科 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21
---

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
50 床	0 床	0 床	0 床	985 床	1035 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年 9月 1日現在)

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	335 人	296 人	577.2 人	看護補助者	65 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	9 人	24 人	29.8 人	理学療法士	22 人	臨床検査技師	67 人
薬 剤 師	77 人	9 人	86.0 人	作業療法士	8 人	衛生検査技師	1 人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	14 人	臨 床 検 査 師	人
助 産 師	32 人	0 人	32.0 人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看 護 師	989 人	61 人	1,026.9 人	臨床工学技士	28 人	医療社会事業従事者	17 人
准看護師	1 人	1 人	1.8 人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	60 人
歯科衛生士	3 人	0 人	3.0 人	歯科技工士	1 人	事務職員	240 人
管理栄養士	8 人	0 人	8.0 人	診療放射線技師	63 人	その他の職員	8 人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 (注) 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 (注) 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年 9月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	25 人	眼 科 専 門 医	13 人
外 科 専 門 医	86 人	耳鼻咽喉科専門医	10 人
精 神 科 専 門 医	10 人	放射線科専門医	22 人
小 児 科 専 門 医	23 人	脳神経外科専門医	13 人
皮 膚 科 専 門 医	4 人	整形外科専門医	34 人
泌尿器科専門医	13 人	麻 酔 科 専 門 医	18 人
産婦人科専門医	27 人	救 急 科 専 門 医	4 人
		合 計	302 人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	812.9 人	10.5 人	823.4 人
1日当たり平均外来患者数	2,340.4 人	78.1 人	2,418.5 人
1日当たり平均調剤数			626.2 剤
必 要 医 師 数			218.6 人
必 要 歯 科 医 師 数			5.2 人
必 要 薬 剤 師 数			27.0 人
必 要 ( 准 ) 看 護 師 数			480.0 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 (注) 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 (注) 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

- (注) 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- (注) 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	1,529 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	44床		
			人工呼吸装置	(有)・無		
			心電計	(有)・無		
			心細動除去装置	(有)・無		
			その他の救急蘇生装置	(有)・無		
			ペースメーカー	(有)・無		
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	291 m <sup>2</sup>	病床数	27床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	54 m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名	薬暦管理室、高度医療薬剤支援室			
化学検査室	559 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、免疫自動分析装置		
細菌検査室	128 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	バクテアラート3D、マイクロスキャン		
病理検査室	341 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	検体検査装置クリオスタット、自動脱水包埋		
病理解剖室	66 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、クリーンベンチ、臓器撮影台		
研究室	142 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	次世代シーケンサー、質量分析装置		
講義室	55 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	収容定員	35人
図書室	41 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	8,400冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- (注) 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	66.4 %	逆紹介率	47.1 %
算出根拠	A：紹介患者の数	17,925人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,690人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,367人	
	D：初診の患者の数	29,063人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	2 人
EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)	72 人
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	2 人
骨髄細胞移植による血管新生療法	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内反復投与療法 胃切除後の進行性胃がん(腹膜に転移しているもの、腹腔洗浄細胞診が陽性であるもの又はステージII若しくはIIIであって肉眼型分類が3型(長径が八センチメートル以上のものに限る。)若しくは4型であるものに限る。)	0 人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	5 人
培養骨髄細胞移植による骨延長術 骨系統疾患(低身長又は下肢長不等である者に係るものに限る。)	4 人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	3 人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	3 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
特になし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

- (注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。
- (注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	44 人	・膿疱性乾癬	4 人
・多発性硬化症	68 人	・広範脊柱管狭窄症	6 人
・重症筋無力症	59 人	・原発性胆汁性肝硬変	32 人
・全身性エリテマトーデス	57 人	・重症急性膵炎	6 人
・スモン	7 人	・特発性大腿骨頭壊死症	94 人
・再生不良性貧血	48 人	・混合性結合組織病	17 人
・サルコイドーシス	46 人	・原発性免疫不全症候群	7 人
・筋萎縮性側索硬化症	43 人	・特発性間質性肺炎	6 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	56 人	・網膜色素変性症	29 人
・特発性血小板減少性紫斑病	40 人	・プリオン病	0 人
・結節性動脈周囲炎	16 人	・肺動脈性肺高血圧症	21 人
・潰瘍性大腸炎	21 人	・神経線維腫症	29 人
・大動脈炎症候群	39 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・ビュルガー病	25 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4 人
・天疱瘡	19 人	・慢性血栓性肺高血圧症	17 人
・脊髄小脳変性症	43 人	・ライソゾーム病	4 人
・クローン病	102 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	10 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0 人
・悪性関節リウマチ	6 人	・脊髄性筋萎縮症	1 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	38 人	・球脊髄性筋萎縮症	10 人
・アミロイドーシス	7 人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	43 人
・後縦靭帯骨化症	28 人	・肥大型心筋症	6 人
・ハンチントン病	1 人	・拘束型心筋症	0 人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	49 人	・ミトコンドリア病	7 人
・ウェゲナー肉芽腫症	11 人	・リンパ管筋腫症(LAM)	6 人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	41 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガ症候群)	25 人	・黄色靭帯骨化症	7 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4 人	間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常 症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常 症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能 低下症)	41 人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 特定機能病院入院基本料	・ 救急搬送患者地域連携紹介加算
・ 一般病棟 7対1入院基本料	・ 総合評価加算
・ 精神病棟10対1入院基本料	・ 呼吸ケアチーム加算
・ 臨床研修病院入院診療加算	・ 病棟薬剤業務実施加算
・ 臨床研修病院入院診療加算(歯科に係るもの)	・ 地域歯科診療支援病院入院加算
・ 救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	・ データ提出加算2
・ 超急性期脳卒中加算	・ 特定集中治療室管理料1
・ 妊産婦緊急搬送入院加算	・ 特定集中治療室管理料3
・ 診療録管理体制加算	・ 特定集中治療室管理料注2に掲げる小児加算
・ 急性期看護補助体制加算	・ 総合周産期特定集中治療室管理料
・ 看護職員夜間配置加算	・ 小児入院医療管理料2
・ 療養環境加算	・ 小児入院医療管理料4
・ 重症者等療養環境特別加算	・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料
・ 無菌治療室管理加算1	・
・ 無菌治療室管理加算2	・
・ 緩和ケア診療加算	・
・ 精神科身体合併症管理加算	・
・ 摂食障害入院医療管理加算	・
・ がん診療連携拠点病院加算	・
・ 医療安全対策加算1	・
・ 感染防止対策加算	・
・ 患者サポート体制充実加算	・
・ ハイリスク妊娠管理加算	・
・ ハイリスク分娩管理加算	・
・ 退院調整加算1	・
・ 新生児特定集中治療室退院調整加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 植込型除細動器移行期加算	・ 時間内歩行試験
・ 高度難聴指導管理料 (人工内耳埋込術の届出により可)	・ ヘッドアップティルト試験
・ 糖尿病合併症管理料	・ 皮下連続式グルコース測定
・ がん性疼痛緩和指導管理料	・ 長期継続頭蓋内脳波検査
・ 外来緩和ケア管理料	・ 神経学的検査
・ 移植後患者指導管理料	・ 補聴器適合検査
・ 糖尿病透析予防指導管理料	・ 内服・点滴誘発試験
・ 院内トリアージ実施料	・ センチネルリンパ節生検(併用)
・ 夜間休日救急搬送医学管理料	・ センチネルリンパ節生検(単独)
・ ニコチン依存症指導管理料	・ 画像診断管理加算2
・ がん治療連携計画策定料	・ ポジトロン断層撮影
・ がん治療連携管理料	・ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ 肝炎インターフェロン治療計画料	・
・ 薬剤管理指導料	・
・ 医療機器安全管理料1	・
・ 医療機器安全管理料2	・
・ 医療機器安全管理料(歯科)	・
・ 持続血糖測定器加算	・
・ 造血器腫瘍遺伝子検査	・
・ HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・
・ 検体検査管理加算(I)	・
・ 検体検査管理加算(IV)	・
・ 遺伝カウンセリング加算	・
・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・
・ 植込型心電図検査	・
・ 胎児心エコー法	・

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）	・
・ 乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1及び乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。）	・
・ 膀胱水圧拡張術	・
・ インプラント義歯（顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。）	・
・ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術（早期大腸がん（EMR（内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。））では一括切除が困難な2センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。）又は腺腫（EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残若しくは再発したものであって、EMRでは切除が困難な1センチメートル以上の病変のものに限る。）に係るものに限る。）	・
	・
	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	脳神経外科・神経内科：神経生理機能検査部門 月1回 解剖・病理室 月1回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 22 例 / 剖検率 3.97 %

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
東アジア、オセアニアにおける生活習慣病対策推進のための学際的研究	青山 温子	国際保健医療学・公衆衛生学	¥ 7,215,000	補委 厚生労働省
多関節障害重症RA患者に対する総合的関節機能再建治療法の検討と治療ガイドライン確立	石黒 直樹	整形外科	¥ 10,000,000	補委 厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	大磯 ユタカ	糖尿病・内分泌内科	¥ 65,700,000	補委 厚生労働省
下部神経管閉鎖障害の病態・制御研究	大野 欽司	神経遺伝情報	¥ 16,170,000	補委 厚生労働省
地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究 -特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入・システム構築に向けて	葛谷 雅文	老年科	¥ 15,900,000	補委 厚生労働省
稀少小児遺伝性血液疾患の迅速な原因究明及び診断・治療法の開発に関する研究	小島 勢二	小児科	¥ 90,000,000	補委 厚生労働省
構造並びに機能再生を目指す脂肪組織由来幹細胞治療の開発	後藤 百万	泌尿器科	¥ 90,000,000	補委 厚生労働省
大規模孤発性ALS患者前向きコホートの遺伝子・不活化細胞リソースを用いた病態解明、治療法開発研究	祖父江 元	神経内科	¥ 81,900,000	補委 厚生労働省
球脊髄性筋萎縮症に対する酢酸リユープロレリンの効果に関する研究	祖父江 元	神経内科	¥ 102,055,000	補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[酢酸リユープロレリン(追加第II相試験)]	祖父江 元	神経内科	¥ 7,400,000	補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[サリドマイド]	祖父江 元	神経内科	¥ 1,000,000	補委 厚生労働省
肺がんの浸潤・転移を抑制可能な分子標的の同定に基づく革新的「テラメド」治療法の開発	高橋 隆	分子腫瘍学	¥ 16,600,000	補委 厚生労働省
医療事故に対する医療機関内における包括的対応マネジメントモデルに関する研究	高橋 英夫	救急・集中治療医学	¥ 3,152,000	補委 厚生労働省
神経芽腫の患者に対するモノクローナル抗体ch14.18/CHO持続投与の第I相試験(医師主導治験)	高橋 義行	小児科	¥ 3,200,000	補委 厚生労働省
ヒト化抗CD20抗体を細胞外ドメインとした新規キメラ抗原レセプター(CAR)遺伝子導入T細胞の作成と評価	寺倉 精太郎	血液内科	¥ 3,500,000	補委 厚生労働省
保健指導等を活用した総合的な糖尿病治療の年代別要因を踏まえた研究	林 登志雄	老年内科	¥ 1,950,000	補委 厚生労働省
進行性腎障害に関する調査研究	松尾 清一	腎臓内科	¥ 89,800,000	補委 厚生労働省
科学的根拠に基づく輸血ガイドラインの策定等に関する研究	松下 正	輸血部	¥ 7,000,000	補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[ONYX]	宮地 茂	脳神経外科学	¥ 200,000	補委 厚生労働省
新たな造血幹細胞移植法の開発：生着効率の向上を目指して	村田 誠	血液内科	¥ 8,850,000	補委 厚生労働省
医療機関における感染制御に関する研究	八木 哲也	感染制御学	¥ 15,000,000	補委 厚生労働省
特異体質性薬物性肝障害における免疫学的因子の作用機序解明と予測試験系の開発研究	横井 毅	トキシコゲノミクス	¥ 39,000,000	補委 厚生労働省
不妊に悩む男女の実態に関する調査研究	岩瀬 明	周産母子センター	¥4,500,000	補委 愛知県
化膿性関節炎の骨関節破壊に対する、高分子ヒアルロン酸の予防適応の検討	高橋 伸典	整形外科	¥1,196,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
心不全の発症予防を目指す治療薬および診断マーカーの開発	坂東 泰子	循環器内科	¥725,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構

閉鎖系培養法による低血清培養脂肪由来間葉系幹細胞の新たな培養技術開発	尾崎 武徳	腎臓内科	¥679,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
高齢者の認知機能低下に対する、心機能の向上を介した新規治療概念の構築 (副題: PDEⅢ阻害薬であるプレタールのもつ心拍数増加と強心作用に着目した、高齢者の認知機能低下に対する新規予防法・治療法の開発)	因田 恭也	循環器内科	¥1,000,000	補 委	独立行政法人 国立長寿医療研究センター
高齢者術後せん妄に対する予防法・治療法の標準化に関する研究 分担研究項目: 臨床研究のデータ収集・管理、統計解析	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	¥1,000,000	補 委	独立行政法人 国立長寿医療研究センター
高齢者術後せん妄に対する予防法・治療法の標準化に関する研究 分担研究項目: 高齢者術後せん妄に対する新しい介入薬に関する研究	横山 幸浩	消化器外科一	¥1,000,000	補 委	独立行政法人 国立長寿医療研究センター
高齢者の運動器疾患の調査とそれに係る新規長寿医療の開発 分担する研究項目: 関節疾患研究 高齢者の膝痛の予防と治療予後に関する研究	小嶋 俊久	整形外科	¥1,600,000	補 委	独立行政法人 国立長寿医療研究センター
高齢者の運動器疾患の調査とそれに係る新規長寿医療の開発 分担する研究項目: 脊椎疾患研究 脊椎後彎患者調査	今釜 史郎	整形外科	¥2,000,000	補 委	独立行政法人 国立長寿医療研究センター
高齢者の低栄養状態における発症要因および消化機能異常の関与とその原因の解明に関する研究	中村 正直	消化器内科	¥300,000	補 委	独立行政法人 国立長寿医療研究センター
精神神経疾患の原因・関連遺伝子に関する基盤的開発研究	永井 拓	薬剤部	¥1,300,000	補 委	独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	小池 春樹	神経内科	¥700,000	補 委	独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター
神経・精神疾患の研究資源蓄積のためのブレインバンク ネットワーク構築に関する研究	渡辺 宏久	神経内科	¥2,000,000	補 委	独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター
多施設共同研究の質的向上に必要な生物統計手法に関する研究	平川 晃弘	先端医療・臨床研究支援センター	¥300,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発と標準的治療法確立のための多施設共同研究	富田 章裕	血液内科	¥1,000,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
頭頸部外科領域における手術手技の開発と標準化	藤本 保志	耳鼻いんこう科	¥550,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
柑橘類果皮を利用した抗認知症機能食品の開発に向けた基盤技術の開発(ヒト認知症に近い病態モデルにおける抗認知症効果の予測に関する研究開発)	山田 清文	薬剤部	¥500,000	補 委	パレックス研究開発コンソーシアム/農林水産技術会議事務局
新規閉鎖系培養デバイスによる低血清脂肪由来幹細胞の培養法の確立	尾崎 武徳	腎臓内科	¥1,700,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
脂肪由来間葉系幹細胞の新規Xeno-Free培養法の開発	勝野 敬之	腎臓内科	¥1,700,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
ヒトiPS細胞を用いた視床下部-下垂体ホルモン産生細胞の分化誘導法と移植方法の開発	須賀 英隆	糖尿病・内分泌内科	¥45,000,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
分子標的薬のPK/PD解析方法の臨床薬理的評価	安藤 雄一	化学療法部	¥250,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
高齢者大腸癌薬物療法におけるQOL研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	¥300,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
感度、特異度に優れたHIT診断基準の確立、血栓症発症予防法の検討	松下 正	輸血部	¥400,000	補 委	独立行政法人国立循環器病研究センター
喫煙者、非喫煙者の肺癌病因に関する分子疫学的研究	安藤 昌彦	先端医療・臨床研究支援センター	¥2,400,000	補 委	独立行政法人国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
橋渡し研究加速ネットワークプログラム「持続可能なネットワーク型中部先端医療開発拠点の形成」	濱口 道成	学長	¥288,400,000	補 委	文部科学省
臨床研究中核病院整備事業	石黒 直樹	病院長	¥393,514,000	補 委	厚生労働省

DMAT等派遣用車両整備事業	石黒 直樹	病院長	¥4,940,000	補委	愛知県
固定型衛星電話整備事業	石黒 直樹	病院長	¥741,000	補委	愛知県
携帯型衛星電話整備事業	石黒 直樹	病院長	¥369,000	補委	愛知県
がん診療連携拠点病院機能強化事業	石黒 直樹	病院長	¥12,567,000	補委	厚生労働省
小児がん拠点病院機能強化事業	石黒 直樹	病院長	¥13,817,000	補委	厚生労働省
新人看護職員研修事業	石黒 直樹	病院長	¥1,219,000	補委	愛知県
救急勤務医支援事業	石黒 直樹	病院長	¥1,041,000	補委	愛知県
感染症対策特別促進事業（肝炎患者等支援対策事業）	石黒 直樹	病院長	¥11,617,000	補委	厚生労働省
産科医等確保支援事業	石黒 直樹	病院長	¥1,049,000	補委	愛知県
新生児医療担当医確保支援事業	石黒 直樹	病院長	¥410,000	補委	愛知県
統合失調症における神経発達障害の分子基盤解明	貝淵 弘三	神経情報薬理学	1,070,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
ポリグルタミン病の病態因子を標的とした治療開発とその臨床応用	勝野 雅央	神経内科学	31,740,800	補委	独立行政法人科学技術振興機構
前頭側頭葉変性症の病態解明に基づくdisease-modifying therapyの開発	祖父江 元	神経内科学	86,800,000	補委	文部科学省
情動の制御機構を解明するための神経情報基盤の構築	貝淵 弘三	神経情報薬理学	356,340,000	補委	文部科学省
「広汎性発達障害と統合失調症のゲノム解析を起点として、発症因に基づく高疾患の診断体系再編と診断法開発を目指した研究:多面発現的効果を有するゲノムコピー数変異 (CNV) に着目して」	尾崎 紀夫	精神医学	117,715,000	補委	文部科学省
ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療実現のための開発研究	高橋 隆	分子腫瘍学	5,000,000	補委	国立大学法人東京医科歯科大学
小児がん神経芽腫を含むミッドカイン関連疾患に対する新規治療薬としての中和抗体の開発と、その事業発展性の検証	門松 健治	分子生物学	2,080,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
生体内の異物・不要物排除機構の解明とその制御による疾患治療	伊藤 恭彦	腎不全総合治療学寄附講座	7,800,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
形状変更可能な複合材製橈骨遠位端プレートの開発	平田 仁	手の外科学	2,201,430	補委	公益財団法人岐阜県研究開発財団
スライド構造を持つ超微細なカテーテルを実現する細径加工技術、極小被覆技術の研究開発	宮地 茂	脳血管内治療学	1,349,250	補委	公益財団法人名古屋産業科学研究所
脳血管内治療の実態把握のためのシステム開発に関する研究【分担課題名:細菌性脳動脈瘤に対する血管内治療の有用性についての研究】	宮地 茂	脳血管内治療学	700,000	補委	独立行政法人国立循環器病研究センター
統合失調症と双極性障害の診断マーカー候補因子の有用性検証	尾崎 紀夫	精神医学	1,599,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
内側側頭葉てんかんの単遺伝子モデルマウスを用いた治療標的探索	浅井 真人	分子病理学	1,700,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
抗炎症性/組織再生型M2マクロファージを誘導する新規タンパク複合体による骨再生研究	山本 朗仁	咀嚼障害制御学	1,700,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
神経変性疾患のFKBP12を利用した凝集体形成抑制による新規治療の開発	足立 弘明	難治性神経疾患治療学寄附講座	1,700,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
神経芽腫治療法開発へのモデル動物の応用	門松 健治	分子生物学	450,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター
アスベスト繊維や多層カーボンナノチューブによる動物中皮腫モデルの解析	豊國 伸哉	生体反応病理学	1,000,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター
HIV-1 CRF01_AEに感染したタイ小児および成人におけるHIV感染病態に関与する宿主因子の解析	八木 哲也	臨床感染統御学	561,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポリグルタミン病の病態因子を標的とした治療開発とその臨床応用	勝野 雅央	神経内科学	25,240,800	補委	独立行政法人科学技術振興機構

術中MRIのガイドライン作成	藤井 正純	脳神経外科学	500,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
造血幹細胞移植後長期生存者における晩期合併症およびQOLに関する研究	熱田 由子	造血細胞移植情報管理・生物統計学(日本造血細胞移植学会) 寄附講座	200,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
日本人腎透析患者及び腎機能低下患者における示適なカルボプラチンの投与量の推定	長谷川 好規	呼吸器内科学	1,050,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
スキルス胃がんの腹膜播種を標的とした分子標的薬の開発	武井 佳史	疾患モデル解析学	1,000,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
肺がんの評価	若井 建志	予防医学	700,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
自殺ハイリスク者対応力向上事業	尾崎 紀夫	精神医学	4,000,000	補 委	愛知県
高伸張性不織布、高靱性骨ペースト、骨ステントを組み合わせた脆弱性骨折に対する新規治療技術開発と実用的な製品製造技術の確立	平田 仁	手の外科学	8,190,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
快眠ガイドを内蔵する無拘束睡眠モニタの開発	尾崎 紀夫	精神医学	200,000	補 委	公益財団法人 科学技術交流財団
認知症に係わる人材育成に関する研究	葛谷 雅文	地域在宅医療学・老年科学	800,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
神経機能イメージングによる認知負荷ストレステストの開発	飯高 哲也	精神生物学	100,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者造血器障害における層別化治療を目指した分子疫学的研究	清井 仁	血液・腫瘍内科学	700,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
JALSG検体保存・付随研究	清井 仁	血液・腫瘍内科学	2,400,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
虚弱の進行に関わる要因に関する研究	葛谷 雅文	地域在宅医療学・老年科学	1,200,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
循環器内科学分野にかかる学術研究動向に関する調査研究	室原 豊明	循環器内科学	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立(白血病ゲノムに基づく層別化治療の確立)	清井 仁	血液・腫瘍内科学	19,000,000	補 委	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
筋ジストロフィーおよび関連疾患の診断・治療開発を目指した基盤研究(分担課題名) 神経筋接合部疾患・筋強直性ジストロフィーの病態解明・制御研究	大野 欽司	神経遺伝情報学	1,000,000	補 委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
精神神経疾患の原因・関連遺伝子に関する基盤的研究(分担課題名) 統合失調症発症脆弱性の分子基盤とDISC1	貝淵 弘三	神経情報薬理学	1,000,000	補 委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
病理組織診断の精度管理に関する研究	豊國 伸哉	生体反応病理学	2,927,400	補 委	西尾市
高齢者におけるインフルエンザ、新興・再興感染症の感染管理および治療に関する研究	八木 哲也	臨床感染統御学	600,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者の視覚機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究【分担研究項目】加齢黄斑変性	寺崎 浩子	眼科学	1,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者の難聴の実態把握と予防・治療の標準化に関する研究	中島 務	耳鼻咽喉科学	2,350,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
高齢者排泄ケアセンターの設立を目指した地域包括モデルと人材育成システムの開発に関する研究	松川 宜久	泌尿器科学	1,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
網羅的スプライシング暗号解析に基づくRNA病の解明と治療技術の探索	大野 欽司	神経遺伝情報学	2,830,000	補 委	国立大学法人京都大学
気分障害の病態解明と診断治療法の開発に関する研究	尾崎 紀夫	精神医学	1,500,000	補 委	独立行政法人国立精神・神経センター
早期診断マルチバイオマーカー開発	高橋 隆	分子腫瘍学	40,000,000	補 委	文部科学省
歯髄幹細胞を用いた歯髄・象牙質再生医療によるう蝕・歯髄疾患治療法の臨床応用開発	山本 徳則	泌尿器科学	2,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
歯髄幹細胞を用いた歯髄・象牙質再生医療によるう蝕・歯髄疾患治療法の臨床応用開発	武井 佳史	疾患モデル解析学	2,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
前頭側頭葉変性症の病態解明に基づくdisease-modifying therapyの開発	祖父江 元	神経内科学	85,500,000	補 委	文部科学省

情動の制御機構を解明するための神経情報基盤の構築	貝淵 弘三	神経情報薬理学	327,230,000	補 委	文部科学省
「広汎性発達障害と統合失調症のゲノム解析を起点として、発症因に基づく両疾患の診断体系再編と診断法開発を目指した研究: 多面発現的効果を有するゲノムコピー数変異 (CNV) に着目して」	尾崎 紀夫	精神医学	102,700,000	補 委	文部科学省
ポリグルタミン病の病態因子を標的とした治療開発とその臨床応用	勝野 雅央	神経内科学	13,540,800	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
孤発性ALSのモデル動物作成を通じた分子標的治療開発	祖父江 元	神経内科学	14,820,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
神経障害によりグリアを起点として作動する新たな炎症・免疫系メディエーターネットワークの解析	木山 博資	機能組織学	13,000,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
神経回路網の解剖学的解析と自己機能化制御	深澤 有吾	分子細胞学	2,860,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
聴覚神経回路での入力依存的な神経活動制御	久場 博司	細胞生理学	13,650,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
MRSA肺炎診断・治療の実態調査	長谷川 好規	呼吸器内科学	48,462	補 委	特定非営利活動法人NEOCI
IgGシアル酸付加の生理・病理的意義	古川 鋼一	機能分子制御学	8,089,250	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
医療系学生への段階的多職種連携教育 (IPE) : 模擬患者 (SP) 参加型IPEから地域の患者参加型IPE	阿部 恵子	地域医療教育学 寄附講座	500,000	補 委	国立大学法人岐阜大学
脂肪由来間葉系幹細胞による新しい前立腺癌治療法のフィージビリティ研究	武井 佳史	疾患モデル解析学	1,274,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
脂肪由来間葉系幹細胞が分泌するマイクロベジクルを用いた新規治療法の開発	丸山 彰一	腎臓内科学	972,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
CD8+制御性T細胞の新たな研究展開とそれに基づいた創薬ターゲットの探索	鈴木 治彦	分子細胞免疫学	1,180,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
球脊髄性筋萎縮症の新たな混合抗アンドロゲン療法の開発	足立 弘明	難治性神経疾患 治療学寄附講座	850,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
運動ニューロン疾患におけるニューロサーキット変性の病態解明と治療法開発	勝野 雅央	神経内科	¥17,030,000	補 委	日本学術振興会
遺伝子解析と分子トレーシングを基盤とした細胞標的分子の創製	夏目 敦至	脳神経外科	¥15,470,000	補 委	日本学術振興会
仮想3Dマージン法による早期肺癌区域切除術シミュレーションの臨床応用	岩野 信吾	放射線	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
プラズマ医療科学の臨床応用論的学術基盤の構築と体系化	吉川 史隆	産婦人科	¥34,840,000	補 委	日本学術振興会
アストログリア細胞のエンドサイトーシスの障害による神経発達障害	山田 清文	薬剤部	¥5,850,000	補 委	日本学術振興会
ストレス応答性転写因子NPAS4欠損マウスにおけるGABA神経発達と表現型解析	山田 清文	薬剤部	¥3,510,000	補 委	日本学術振興会
形質細胞分化運命決定におけるMAPKシグナルの役割とその破綻によるリンパ腫発症	早川 文彦	血液内科	¥1,820,000	補 委	日本学術振興会
白質・ミエリン障害を病因とする統合失調症サブグループの同定	尾崎 紀夫	精神科	¥28,730,000	補 委	日本学術振興会
乾癬病変のエピジェネティック制御機構解明による新規治療戦略の開発	小川 靖	皮膚	¥5,590,000	補 委	日本学術振興会
メラノーマにおけるmicroRNA-203の比較腫瘍学的機能解析	野口 俊助	血液内科	¥1,170,000	補 委	日本学術振興会
エピゲノム情報を用いた統合的データ解析によるアディポネクチン発現パスウェイの解明	中柄 昌弘	先端医療	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
内因性心筋再生メカニズムの解明	海野 一雅	糖尿病・内分泌内科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
Rspo2の神経筋接合部形成に対する役割の解明	中島 宏彰	整形外科	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会



上皮間葉転換を標的とした卵巣癌の浸潤、腹膜播種機構の解明と複合的治療の開発	関谷 龍一郎	産婦人科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
卵巣癌幹細胞のstemness維持機構を標的とした新規治療法の開発	三井 寛子	産婦人科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
分子標的を介するポリグルタミン病の根本治療法の開発	祖父江 元	神経内科	¥29,510,000	補委	日本学術振興会
摂食障害に伴う脳高次機能障害の回復可能性に関する研究	田中 聡	精神科	¥260,000	補委	日本学術振興会
サルコペニア（老化に伴う筋萎縮）の機構解明ならびにその治療戦略の確立	葛谷 雅文	老年科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
リンパ浮腫治療に向けたリンパ管再生療法を展開研究	室原 豊明	糖尿病・内分泌内科	¥7,410,000	補委	日本学術振興会
ポリグルタミン病における細胞周期およびJNKシグナル異常の病態解明と治療法開発	勝野 雅央	神経内科	¥6,110,000	補委	日本学術振興会
miRNA発現調節によるポリグルタミン病の治療法開発	足立 弘明	神経内科	¥5,590,000	補委	日本学術振興会
半導体ナノ結晶と中空ファイバを活用した脳腫瘍の診断・治療一体型デバイスの開発	水野 正明	先端医療	¥4,550,000	補委	日本学術振興会
眼内血管新生制御への多角的アプローチ	寺崎 浩子	眼科	¥5,980,000	補委	日本学術振興会
慢性腎不全の生命予後を規定する遺伝子情報の国際比較調査研究	松尾 清一	腎臓内科	¥5,200,000	補委	日本学術振興会
脂質輸送蛋白ABCA12をターゲットとした、魚鱗癬各病型に対する新規治療法の開発	秋山 真志	皮膚	¥7,800,000	補委	日本学術振興会
抗がん剤耐性分子を標的とする核酸医薬のロボティック送達とイメージングの統合医療	若林 俊彦	脳神経外科	¥13,260,000	補委	日本学術振興会
培養骨髄細胞を併用した脚延長術の基礎実験－医師主導型治験開始と効率化の基礎研究－	石黒 直樹	整形外科	¥10,270,000	補委	日本学術振興会
双極性障害の発症に強く関わる稀な遺伝子変異の同定と包括的な解析による病態解明	尾崎 紀夫	精神科	¥23,400,000	補委	日本学術振興会
抗アレルギー治療は滲出型加齢黄斑変性に対する新たな治療法になりえるのか？	兼子 裕規	眼科	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
女性医師の仕事への価値観の解明と相互理解を促すワークショッププログラム開発研究	佐藤 元紀	総合診療科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
手術時における術者の音声および他の生理的指標と疲労、ストレスの関連についての検討	藤原 道隆	外科2	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
虚弱機構の解明を目指した虚弱動物モデルの確立	葛谷 雅文	老年科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
抗体結合型バイオナノカプセルを応用した炎症白血球特異的新規腎障害治療法の開発	松尾 清一	腎臓内科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
マイクロRNAによる神経変性疾患治療戦略	祖父江 元	神経内科	¥3,770,000	補委	日本学術振興会
皮膚角化異常症の治療標的としての脂質代謝-皮膚角化制御カップリング機構の解明	小川 靖	皮膚	¥3,770,000	補委	日本学術振興会
精神疾患モデル動物発見を企図したニホンザルを対象とする精神疾患発症関連変異の探索	尾崎 紀夫	精神科	¥2,990,000	補委	日本学術振興会
分子進化の概念に基づく新規遺伝子の探索と機能解析	横山 幸浩	外科1	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
薬剤耐性難治性卵巣癌における上皮間葉転換誘導腹膜播種の克服に向けた新機軸	梶山 広明	産婦人科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会

抗がん剤併用療法のための縮小回帰に基づく用量探索法の研究	平川 晃弘	先端医療	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
近赤外レーザーによる膵癌治療応用を目指した基礎的検討	大野 栄三郎	消化器内科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
メカニカルストレスの関与するALI/ARDSの病態解明	麻生 裕紀	消化器内科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
拡張型心筋症におけるカテプシンKの病態生理学的意義解明と新規治療への応用	奥村 貴裕	糖尿病・内分泌内科	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
磁性ナノ微粒子を用いた細胞シート移植による虚血性心疾患に対する治療効果の検討	石井 正和	糖尿病・内分泌内科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞を用いた新たな腎再生療法の開発	勝野 敬之	腎臓内科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
TDP-43・FUSによる翻訳・シナプス機能調節異常とALS・FTLD病態機序	宇田川 剛	神経内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
胎児脳における虚血脆弱細胞種の同定とその生存因子を用いた脳障害治療法開発	伊藤 美春	周産母子	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
抗Aレセプター抗体を用いた周産期脳障害の治療法開発	齊藤 明子	周産母子	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞を用いた周産期脳障害の新規治療開発	杉山 裕一朗	周産母子	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
オミックス解析技術を利用した統合失調症の分子病態の解明	吉見 陽	精神科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
うつ病の社会機能を向上させる要因に関する研究	岩本 邦弘	精神科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
発達障害の半構造化面接診断技法の確立に関する研究	宇野 洋太	精神科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
悪性中皮腫における癌幹細胞CD44アイソフォームの解析と下流シグナル経路の解明	川口 晃司	胸部外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
グリオーマの悪性転化に関わる新規バイオマーカーの機能解明	本村 和也	脳神経外科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
脳血管内治療用ワイヤー挿入力測定センサーの開発と臨床応用	松原 功明	脳神経外科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
Cathepsin Kの癌骨転移と腫瘍進展における役割	小澤 英史	整形外科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
脊髄損傷治療の新しいscaffoldの検証	安藤 圭	整形外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
培養骨髄細胞と骨分化促進剤を組み合わせたハイブリッド型人工骨の作製	三島 健一	整形外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチの手指関節破壊におけるレントゲン画像の半自動的定量評価システムの開発	舟橋 康治	整形外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
筋委縮性側索硬化症[ALS]におけるCD44と病態進行の関連	松本 智宏	整形外科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
TNF- $\alpha$ を分子標的とした神経修復型Drug Delivery Systemの開発	岩月 克之	手の外科	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
間質性膀胱炎モデルでの脂肪由来幹細胞静脈注入療法	舟橋 康人	泌尿器	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
難治性卵巣癌における癌周辺微小環境を標的とした新規治療法の確立	梅津 朋和	産婦人科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
中枢神経系をターゲットとした新規排卵誘発薬開発	中原 辰夫	産婦人科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
内リンパ水腫の症状出現様式に関する実験的臨床的解析	吉田 忠雄	耳鼻科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
新規脂肪由来サイトカインによる網膜症制御機構の解明	樋口 暁子	眼科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会

脂肪由来幹細胞の免疫制御作用を用いた、静脈性潰瘍の新しい治療方法の開発	高成 啓介	形成	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
TGFβ関連細胞外分泌タンパク質を応用した新規扁平上皮癌マーカーの開発	萩原 純孝	口腔外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
乳歯歯髄由来幹細胞の培養上清を応用した新規インプラントの開発	原 憲史	口腔外科	¥3,250,000	補委	日本学術振興会
運動療法の除痛機序に関する客観的指標を用いた科学的解析	篠原 孝明	手の外科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
自然な映像を用いた感情の神経基盤に関する研究	飯高 哲也	精神科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
青年期うつ病に対する治療ガイドラインの確立に向けた研究	鈴木 太	精神科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
脳発達期の自然免疫活性化によって惹起される精神発達障害の発現機序の解明	永井 拓	薬剤部	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
医師の利他的行動における動機探索とプロフェッショナルリズム教育への応用に関する研究	鈴木 富雄	総合診療科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
ロコモティブシンドロームの運動機能検査の基準値の設定とリスク因子の解析	村本 明生	整形外科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
高齢進行肺癌患者における、VES-13ならびにMMSEの有用性に関する検討	安藤 昌彦	先端医療	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
炎症性腸疾患における腸管内分泌細胞の役割の解明と新規治療法の開発	安藤 貴文	消化器内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
カプセル内視鏡を用いた過敏性腸症候群の客観的評価	中村 正直	消化器内科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
企業労働男性における心血管疾患発症と遺伝子環境相互作用の解明と予後調査	林 睦晴	CKD	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
心臓微小低酸素領域における遺伝子発現・血管新生の3次元解析を応用した治療法の開発	小林 光一	糖尿病・内分泌内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
新規Akt基質Girdinファミリー分子の制御による動脈硬化抑制の試み	前田 健吾	糖尿病・内分泌内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
メカノセンサー分子同定に基づく呼吸器疾患の病態解明	伊藤 理	消化器内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病患者における慢性炎症惹起の解明と制御性T細胞を用いた新規治療戦略	加藤 佐和子	腎臓内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
進行性腎障害における免疫調整性マクロファージの機能解析と細胞移入治療効果の検討	坪井 直毅	腎臓内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞の免疫抑制作用の解明と高機能化	丸山 彰一	腎臓内科	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
メタボローム解析を用いた腎疾患における新規診断法の開発	尾崎 武徳	腎臓内科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
免疫性自律神経ニューロパチーの病態の解明と新規治療法の開発	小池 春樹	神経内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
孤発性筋萎縮性側索硬化症の進行・病像に関連する遺伝子・分子の探索と同定	熱田 直樹	神経内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
免疫性脱髄性ニューロパチーの軸索脆弱性の病態解明：TAG-1の役割	飯島 正博	神経内科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
統合的脳MRIネットワーク解析によるALSの運動機能-前頭葉機能関連性の解明	千田 譲	神経内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
多系統萎縮症の進展様式の解明	伊藤 瑞規	神経内科	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
脂肪幹細胞と炎症細胞のNotchシグナル制御による肥満治療、幹細胞治療の開発	竹下 享典	検査部	¥2,470,000	補委	日本学術振興会

腸管内分泌細胞、吸収上皮細胞におけるKATPchannelの役割の解明	清野 祐介	糖尿病・内分泌内科学	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
S100Bノックアウトマウスにおける耐糖能および細小血管障害の検討	濱田 洋司	代謝病態	¥2,860,000	補委	日本学術振興会
後天性von Willebrand症候群 (AvWS)の動物モデルによる病態解明	松下 正	輸血部	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
同種造血幹細胞移植後の細胞免疫療法における免疫抑制受容体の制御に関する研究	西田 徹也	血液内科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
潜因性ウエスト症候群家族内発症例の遺伝子解析研究	石原 尚子	小児科	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
尿中ヨード濃度測定による分化型甲状腺癌に対する放射性ヨード内用療法の効果予測	伊藤 信嗣	放射線	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌の化学放射線療法に伴う粘膜疼痛の客観的評価	浅野 晶子	放射線	¥2,860,000	補委	日本学術振興会
食道癌における病理所見“Tumor budding”の機序解明と新規予後因子同定	小池 聖彦	外科2	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
乳癌におけるChromothripsis変異を標的にした新規治療法の開発	角田 伸行	外科1	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
マルチアレイ法を応用した肝細胞癌発症や再発に関わる背景肝因子の同定と応用	野本 周嗣	外科2	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
TLR7アプタマーによる内因性Denger Signalの制御と新規治療法の開発	上原 圭介	外科1	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
肝虚血再灌流障害における分枝鎖アミノ酸の新規分子機構の探索	菅原 元	外科1	¥2,340,000	補委	日本学術振興会
温度応答性ポリマーを用いた心室中隔穿孔修復術の開発	大島 英揮	胸部外科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
アディポサイトカインをターゲットとした大動脈瘤形成抑制効果の検討	徳永 晴策	血管外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
大動脈瘤に対する幹細胞静脈投与療法の可能性	成田 裕司	胸部外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
ヒアルロン酸レセプターCD44の断片化阻害による、軟骨細胞の脱分化抑制効果	高橋 伸典	整形外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
多元的薬剤相互作用特性の解析による全身麻酔作用機序の解明	足立 裕史	救急	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
下部尿路閉塞における膀胱微小循環の変化と交感神経 $\alpha$ 1遮断薬の効果	後藤 百万	泌尿器	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
レドックス制御・炎症性サイトカインからみた内耳性難聴の病態解明と治療への応用	寺西 正明	耳鼻科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
網膜色素変性における網膜色素上皮の機能異常と形態異常のメカニズムの解明	上野 真治	眼科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
補償光学眼底撮影装置・黄斑部局所網膜電図を用いた網膜形態と視機能の関係の検討	伊藤 逸毅	眼科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
膵・胆管合流異常の治療法開発と癌化機序の解明	金子 健一郎	小児外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
炎症を早期に定量予測できる新規のmicrohemodynamics評価システム	新井 哲也	手の外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
骨髄幹細胞由来培養細胞上清を用いた放射線性皮膚炎治療法の研究	西川 雅也	口腔外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
萎縮型加齢黄斑変性のモデルマウス確立と、その病態の解明	兼子 裕規	眼科	¥19,370,000	補委	日本学術振興会
手術中の医療者の疲労、ストレスの客観的評価、リアルタイム測定法の研究	藤原 道隆	外科2	¥5,850,000	補委	日本学術振興会
ミッドカインによる内皮細胞由来の血管作動因子を介した血圧調整のメカニズムの解明	松尾 清一	腎臓内科	¥13,780,000	補委	日本学術振興会

メニエール病におけるめまい発作発生機構の先端画像診断技術による解明	長縄 慎二	放射線	¥4,680,000	補委	日本学術振興会
血管内膜肥厚の成因とその制御-EDHFをターゲットとした新しい探索研究-	古森 公浩	血管外科	¥10,010,000	補委	日本学術振興会
微小環境EMTが誘導する腹腔内細胞コミュニケーションを狙った卵巣癌治療の新展開	吉川 史隆	産婦人科	¥6,370,000	補委	日本学術振興会
敗血症性多臓器不全における主要臓器再生への遺伝子治療とiPS細胞の応用	松田 直之	救急	¥11,440,000	補委	日本学術振興会
骨延長法を模倣した延長装置を用いない広範囲顎骨再生法の開発	日比 英晴	口腔外科	¥11,700,000	補委	日本学術振興会
アジア太平洋地域における膜性腎症の実態調査研究	丸山 彰一	腎臓内科	¥9,880,000	補委	日本学術振興会
実際の手術器具による脳神経外科手術シミュレーション/トレーニングシステムの開発	梶田 泰一	脳神経外科	¥6,760,000	補委	日本学術振興会
若年性骨髄単球性白血病に対する新規分子標的療法の開発	小島 勢二	小児科	¥3,640,000	補委	日本学術振興会
新規セリンスレオニンキナーゼ阻害剤による胆管癌・膵癌治療法の開発	椰野 正人	外科1	¥2,730,000	補委	日本学術振興会
悪性脳腫瘍のヒエラルキーと可塑性の解析に基づくエピゲノム創薬	夏目 敦至	脳神経外科	¥2,860,000	補委	日本学術振興会
EMTを標的とする、微小環境ストレス誘導転移の解明と克服～卵巣癌の予後向上へ～	梶山 広明	産婦人科	¥4,940,000	補委	日本学術振興会
内科学&老年学総合アプローチによるアジア女性健康長寿研究：更年期～後期高齢期まで	林 登志雄	老年科	¥4,550,000	補委	日本学術振興会
アジア腎生検レジストリーの創設と最適な腎疾患治療を目指すアジア腎疾患コホート研究	安田 宜成	腎臓内科	¥4,940,000	補委	日本学術振興会
ストレスによる精神疾患発症における脳特異的転写因子NPAS4の役割	日比 陽子	薬剤部	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
がん薬物療法における血管新生阻害薬の薬物効果予測因子としての眼底所見の探索的研究	安藤 雄一	化学療法部	¥520,000	補委	日本学術振興会
消化管（食道，胃，大腸）癌の病態と治療に関わる遺伝子解析研究	前田 修	消化器疾患	¥650,000	補委	日本学術振興会
心不全における新たな病態制御機構の解明：セリンプロテアーゼDPP4の役割	坂東 泰子（暮石泰子）	糖尿病・内分泌内科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
肺癌における診断及び治療標的としてのマイクロリボ核酸の解析	近藤 征史	消化器内科	¥910,000	補委	日本学術振興会
肺癌の上皮間葉細胞転換原因遺伝子と新規治療標的の探索研究	佐藤 光夫	消化器内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病におけるCD147の機能解析と新たなCKD治療戦略の確立	小杉 智規	腎臓内科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
視床下部におけるプロテインタイロシンフォスファターゼ1B発現調節機構の解析	坂野 僚一	糖尿病・内分泌内科学	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
NPYニューロンに発現するグルコルチコイドレセプターの機能解析	有馬 寛	糖尿病・内分泌内科学	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
JAKを阻害しない新規STAT3阻害剤の作用機序解明と白血病幹細胞への効果の検討	早川 文彦	血液内科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
HLA-DP分子特異的免疫応答の解析：新しい免疫療法開発に向けて	村田 誠	血液内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
拡散テンソル画像とPETによるウエスト症候群の潜在病変の検出能と有用性の検討	夏目 淳	小児科	¥780,000	補委	日本学術振興会

ハプロ一致移植後再発HLA-LOH白血病細胞におけるNK細胞傷害メカニズムの解明	高橋 義行	小児科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
新規に確立したヒト組織モデルによるEBウイルス感染病態解析と薬剤スクリーニング	伊藤 嘉規	小児科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
SGA児に対する生後早期GH療法が中枢神経系に与える影響に関する基礎的研究	早川 昌弘	小児科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
乾癬表皮角化細胞における細胞周期S期亢進を介したエピジェネティクス異常機構の解明	杉浦 一充	皮膚科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
悪性腫瘍合併皮膚筋炎におけるTIF1-γが関与する二段階病態仮説の検証	室 慶直	皮膚科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
統合失調症死後脳の神経病理学的検討ー疾患モデル動物との比較ー	入谷 修司	精神科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
無被曝画像による乳癌術前計画の臨床的有効性の研究とシミュレーションシステムの確立	佐竹 弘子	放射線	¥910,000	補委	日本学術振興会
認知症に対する画像診断の有用性に関するシステムティックレビュー	二橋 尚志	放射線	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
肺葉分割CADを用いたCOPD合併肺癌の術後肺機能予測	岩野 信吾	放射線	¥520,000	補委	日本学術振興会
食道癌に対する相互マシンラーニング法によるHedgehog新規阻害剤の開発	深谷 昌秀	外科1	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
胃全摘後の普遍的な再建法を確立するランダム化比較試験	小寺 泰弘	外科2	¥910,000	補委	日本学術振興会
癌における細胞老化関連遺伝子の探索と臨床応用	伊神 剛	外科1	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
心室中隔穿孔に対するカテーテル治療の開発	碓氷 章彦	胸部外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
ヒアルロン酸ネットワークをターゲットとした新規骨転移保存的治療法の開発	西田 佳弘	整形外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
TACE/ADAM17に着目した有痛性変形性関節症の病態と治療法の解明	建部 将広	手の外科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
脳死関連肺障害の病態解明と予防・治療法の開発	西脇 公俊	麻酔	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
絨毛癌におけるhCG過剰糖鎖付加酵素の機能と絨毛癌発症機構の解明	山本 英子	産婦人科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
神経堤細胞の制御遺伝子を標的とした加齢性難聴発症の予防・治療薬の開発	曾根 三千彦	耳鼻科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
放射線治療が嚥下機能に与える影響の研究	藤本 保志	耳鼻科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
滲出型、萎縮型加齢黄斑変性への小胞体ストレスの関与とそれを標的とした治療法の開発	加地 秀	眼科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
皮膚由来前駆細胞を用いた糖尿病性潰瘍の新規治療法開発に関する基礎的研究	蛭沢 克己	形成	¥650,000	補委	日本学術振興会
Wntシグナル制御下に培養した幹細胞由来成長因子による新規骨再生医療	片桐 涉	口腔外科	¥910,000	補委	日本学術振興会
運動による認知機能改善効果の機序の解明	柳川 まどか	老年科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
進行性腎細胞癌に対する分子標的薬投与による初期変化と治療効果の検討	佐々 直人	泌尿器	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
抗認知症薬の経鼻投与の効果・臨床応用への可能性の検討	鈴木 裕介	老年科	¥2,210,000	補委	日本学術振興会

天然化合物を用いた特異的サイトカイン産生制御療法の開発	石黒 和博	消化器疾患	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
加齢性EBV陽性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫のNFκBに着目した分子病態の解明	浅野 直子	検査部	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
前臨床試験を目指した病理学的に正確な脳腫瘍マウスモデルの開発	百田 洋之	脳神経外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
パーキンソン病の心血管自律神経障害のグレリンとレプチンの関与の解明と治療への展望	中村 友彦	神経内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
細胞老化制御による進行動脈硬化症退縮一本邦高齢者生活習慣病の新規治療法を目指して	林 登志雄	老年科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
免疫学的劇症肝炎モデルマウスにおける新たな細胞治療の基礎的検討	石上 雅敏	消化器内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
心筋症における心筋蛋白遺伝子発現と運動耐容能評価による新規病態解明	平敷 安希博	糖尿病・内分泌内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
拡張不全心への再生医療学的治療戦略	新谷 理	糖尿病・内分泌内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
肺構成細胞間葉系形質転換に対するPTEN C末端リン酸化を標的とした新規治療戦略	橋本 直純	消化器内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
腹膜透析における腹膜傷害に対する補体的機序の解明と補体制御の可能性	水野 正司	腎不全	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
PDの腹膜機能不全、慢性腎臓病に対するリンパ管新生を標的とした新規治療戦略	伊藤 恭彦	腎不全	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
NIIDの次世代シーケンサーを用いた病因遺伝子の同定	曾根 淳	神経内科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
早期パーキンソン病の精神症状に対する抗コリンエステラーゼ阻害剤の有用性	渡辺 宏久	神経内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
リンパ球性漏斗下垂体後葉炎の新規病因自己抗原候補76kD蛋白の病態への関与	梶村 益久	糖尿病・内分泌内科学	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
リガンド依存性受容体型チロシンキナーゼ阻害剤耐性機構の解明と克服	清井 仁	血液内科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
悪性リンパ腫の病態にかかわるエピジェネティクス異常の解析	富田 章裕	血液内科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
老化にともなう血栓傾向および血液流動性維持破綻機構の解明	山本 晃士	輸血部	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
肺高血圧における血管周囲交感神経の血管リモデリングへの関与とエンドセリンの役割	加藤 太一	小児科	¥1,560,000	補委	日本学術振興会
遺伝性対側性色素異常症の外用剤による非侵襲的新規治療戦略の開発	河野 通浩	皮膚	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
口腔内灼熱症候群に対するデュロキセチンの疼痛緩和効果に関する包括的研究	木村 宏之	精神科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
3テスラMR装置を用いた排泄性膀胱撮影法の確立と初期臨床応用	鈴木 耕次郎	放射線	¥2,210,000	補委	日本学術振興会
PPARsをターゲットとした血管内膜肥厚抑制	杉本 昌之	血管外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
アルコール性肝不全に対する肝移植治療における新しい心理社会的適応評価法の開発	大西 康晴	移植外科	¥910,000	補委	日本学術振興会
上皮間葉移行(EMT)阻害による高度悪性甲状腺癌に対する治療法の開発	菊森 豊根	外科2	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
化学療法関連肝障害の外科手術への影響とその病態生理の解明	吉岡 裕一郎	外科1	¥1,430,000	補委	日本学術振興会

膵癌における新規治療抵抗性遺伝子の探索とその阻害剤による治療法の開発	國料 俊男	外科 1	¥2,470,000	補委	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫における肺内アスベスト濃度と遺伝子異常との関連と新規マーカーの開発	横井 香平	胸部外科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
もやもや病及び類縁疾患に対する新たなバイオマーカーの確立と臨床応用について	岡本 奨	脳神経外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
実・仮想両空間相互介入型の先進的ナビゲーション技術の開発	藤井 正純	脳神経外科	¥130,000	補委	日本学術振興会
培養骨髄細胞移植による骨組織再生技術—Runx2を活性化する薬剤の有用性の検討—	鬼頭 浩史	整形外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
Sox9を活性化する薬剤を用いた軟骨欠損・変性疾患に対する治療法の開発	金子 浩史	整形外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
良好卵獲得を目指したヒト卵胞発育における脂質メディエーターの解析	岩瀬 明	産婦人科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
子宮頸癌の癌幹細胞同定と新規治療法の開発	水野 美香	産婦人科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
婦人科がんと周囲微小環境を標的とした複合的がん免疫療法の開発	柴田 清住	産婦人科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
術後化学療法の皮膚創傷治癒に与える影響	鳥山 和宏	形成	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
口腔癌に対する磁場誘導組織内温熱免疫療法の最適化	山本 憲幸	口腔外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
疾患モデル動物における小胞体ストレスから細胞死に至るプロセスの解析	大磯 ユタカ	糖尿病・内分泌内科学	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
細胞破壊と細胞組み込みによる新たな悪性腫瘍治療法の開発	日比 英晴	口腔外科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
臨床推論学習とコミュニケーション学習を融合した医療面接実習方略の構築とその評価	伴 信太郎	総合診療科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
心房細動の分子機構—カテペシンKの役割及び遺伝子治療への応用	成 憲武	糖尿病・内分泌内科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
球脊髄性筋萎縮症における活動依存性シナプス病態の解明と治療法の開発	勝野 雅央	神経内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
改変GFPによるリアルタイム小胞体ストレス検知システム構築と神経変性疾患への応用	石垣 診祐	神経内科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
人体内各種液体空間での薬物動態可視化と定量化のための超高感度磁気共鳴診断技術開発	長縄 慎二	放射線	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
糖尿病治療薬をターゲットとした新しい血管病治療の探索研究	古森 公浩	血管外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
肝切除時におけるリアルタイム肝機能モニタリングシステムの開発と臨床応用	椰野 正人	外科 1	¥780,000	補委	日本学術振興会
機械刺激受容体を介したSOX9発現増加による培養軟骨細胞の脱分化抑制法の開発	石黒 直樹	整形外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
変形性関節症における軟骨細胞の再プログラミングのmicroRNAによる制御	酒井 忠博	整形外科	¥1,690,000	補委	日本学術振興会
ES細胞由来運動神経細胞に対する神経筋接合部形成促進薬の網羅的探索法に関する研究	平田 仁	手の外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
卵巣癌細胞株を用いた人工抗原提示細胞による新規腫瘍抗原の同定	吉川 史隆	産婦人科	¥1,170,000	補委	日本学術振興会
フォリスタチン類似蛋白1の心肥大制御機構の解明	嶋野 祐之	糖尿病・内分泌内科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会



アディポサイトカインと心腎疾患	柴田 玲	糖尿病・内分泌 内科	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
周産期脳障害に対する骨髄幹細胞を用いた新規治療開発	佐藤 義朗	周産母子	¥1,170,000	補 委	日本学術振興会
ステロイドによる新生児脳障害およびその治療法の開発	一ノ橋 祐子	小児科	¥650,000	補 委	日本学術振興会
発達障害の社会的行動障害の生物学的基盤の解明とテラーメイド治療の開発	岡田 俊	精神科	¥650,000	補 委	日本学術振興会
妊娠高血圧症候群の病態における分子標的因子の解析と新たな治療法の開発	小谷 友美	産婦人科	¥1,170,000	補 委	日本学術振興会
ラット胎仔横隔膜ヘルニアモデルにおける肺低形成予測因子の確立及び治療への応用	津田 弘之	産婦人科	¥1,040,000	補 委	日本学術振興会
後期高齢者におけるエピソード記憶障害の評価指標の開発	荒川 直子 (河野直子)	精神科	¥1,040,000	補 委	日本学術振興会
虚弱性と遺伝子変異、薬物相互作用を踏まえた高齢者薬物療法の効果、副作用評価	伊奈 孝一郎	老年科	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
GISTの病態・悪性化に関わる分子メカニズムの解明	船坂 好平	光学医療診療部	¥2,860,000	補 委	日本学術振興会
治療標的としての肺癌新規幹細胞候補遺伝子の機能解析	長谷 哲成	消化器内科	¥1,820,000	補 委	日本学術振興会
過剰栄養による膵β細胞におけるインスリン遺伝子とIRS2遺伝子のエピゲノム修飾	恒川 新	糖尿病・内分泌 内科学	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
マウスES細胞の試験管培養によるGH、LH/FSH細胞分化の高効率化と機能確認	須賀 英隆	糖尿病・内分泌 内科学	¥2,080,000	補 委	日本学術振興会
キメラ抗原レセプターを遺伝子導入したリンパ球細胞の作成方法の至適化	寺倉 精太郎	血液内科	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
小児骨髄系造血悪性腫瘍疾患におけるRAS変異体細胞モザイクの解析	村松 秀城	小児科	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
新規薬剤治療中の小児リウマチ疾患における重症ウイルス感染症の発症予測・病態の解析	川田 潤一	小児科	¥2,080,000	補 委	日本学術振興会
CCL2を抑制する間葉系幹細胞を用いた周産期脳障害に対する新規治療法の開発	近藤 大貴	小児科	¥1,170,000	補 委	日本学術振興会
ルミノメーターを用いた高感度迅速ELISAの開発と皮膚筋炎自己抗体発見への応用	澤田 昌樹	皮膚	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
遺伝環境相互作用の観点からうつ病の生物学的因子を同定する妊産婦ゲノムコホート研究	國本 正子	精神科	¥2,080,000	補 委	日本学術振興会
経静脈的ガドリニウム投与後MRIを用いたヒト内耳正常薬物動態の解明	山崎 雅弘	放射線	¥910,000	補 委	日本学術振興会
高精細医用画像を用いた定位脳手術を支える脳深部核同定技法の確立	中根 俊樹	放射線	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
仮想化内視鏡を用いた胃癌の新規診断法の確立と、リンパ節検出CADシステムの開発	古川 和宏	消化器内科	¥1,950,000	補 委	日本学術振興会
一塩基多型を利用した新たな膵癌予測因子の開発とテラーメイド治療への応用	山田 豪	外科2	¥2,470,000	補 委	日本学術振興会
感染抵抗性人工血管の開発	徳田 順之	胸部外科	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
受容体チロシンキナーゼ阻害剤耐性肺癌細胞株の樹立と耐性機構の解明	福井 高幸	胸部外科	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
細胞外マトリックス制御による骨軟部肉腫の分子標的治療薬増感法の開発	浦川 浩	整形外科	¥1,950,000	補 委	日本学術振興会

多発神経炎における糖鎖の役割	松井 寛樹	整形外科	¥1,820,000	補委	日本学術振興会
術中脊髄モニタリングにおける新しいアラームポイントの策定	伊藤 全哉	整形外科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
中枢神経系でのADAMTS-13の機能解明および脊髄損傷治療への応用	田内 亮吏	整形外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
不働化によるCRPS増悪機序の解明ー損傷神経支配域を超えたNGF発現に着目してー	山本 美知郎	手の外科	¥1,430,000	補委	日本学術振興会
周産期脳障害の病態解明と新規治療戦略 ～分子状水素に着目して～	眞野 由紀雄	産婦人科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
悪性卵巣腫瘍における抗がん剤併用がん特異的免疫療法の基礎的・臨床的研究	鈴木 史朗	産婦人科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
分子レベルでの癒着胎盤の病態解明と新規バイオマーカー診断法の開発	炭竈 誠二	産婦人科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
培養細胞由来の細胞外基質を用いた放射線性骨髄炎の治療法の開発	土屋 周平	口腔外科	¥910,000	補委	日本学術振興会
骨髄幹細胞由来培養上清を用いた放射線口内炎治療法の開発	古江 浩樹	口腔外科	¥1,950,000	補委	日本学術振興会
核酸分解酵素に着目した凍瘡状狼瘡の病態解明と新規治療法の開発	秋山 真志	皮膚	¥587,000	補委	日本学術振興会
皮膚表皮老化メカニズムの新概念 phosphate toxicity の解明	小川 靖	皮膚	¥1,159,000	補委	日本学術振興会
もやもや病における脳脊髄液タンパク解析の定量的評価システムの確立および遺伝子解析	荒木 芳生	脳神経外科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
認知症画像診断における背景病理に関する臨床病理学的研究	藤城 弘樹	精神科	¥1,040,000	補委	日本学術振興会
薬剤溶出性またはペプチド含有生体吸収性担体を用いた大動脈瘤手術材料の開発	寺澤 幸枝	胸部外科	¥2,600,000	補委	日本学術振興会
乳児炎症性腸疾患の原因遺伝子と分子病態の解明	入江 正寛	小児科	¥2,080,000	補委	日本学術振興会
近代医学の黎明デジタルアーカイブ	大磯 ユタカ	糖尿病・内分泌内科学	¥1,700,000	補委	日本学術振興会

計 ¥ 3,547,051,192

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- (注) 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- (注) 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印を付けた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名			
1	野口俊助	血液内科	Chemically Modified Synthetic microRNA-205 Inhibits the Growth of Melanoma Cells In Vitro and In Vivo.	Mol Ther	21(6)	1204-1211	2013
2	富田章裕	血液内科	Mechanisms of action and resistance to all-trans retinoic acid (ATRA) and arsenic trioxide (As <sub>2</sub> O <sub>3</sub> ) in acute promyelocytic leukemia.	Int J Hematol	97(6)	717-725	2013
3	清井仁	血液内科	Guest editorial: efficacy of and resistance to molecularly targeted therapy for myeloid malignancies.	Int J Hematol	97(6)	681-682	2013
4	今橋伸彦	血液内科	Identification of a novel HLA-A*24:02-restricted adenovirus serotype 11-specific CD8+ T-cell epitope for adoptive immunotherapy.	Mol Immunol	56(4)	399-405	2013
5	村田誠	血液内科	Clinical factors predicting the response of acute graft-versus-host disease to corticosteroid therapy: an analysis from the GVHD working group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation.	Biol Blood Marrow Transplant	19(8)	1183-1189	2013
6	鈴木伸明	血液内科	Establishment of Mouse Model of MYH9 Disorders: Heterozygous R702C Mutation Provokes Macrothrombocytopenia with Leukocyte Inclusion Bodies, Renal Glomerulosclerosis and Hearing Disability.	PLoS One	8(8)	e71187	2013
7	早川文彦	血液内科	A novel STAT inhibitor, OPB-31121, has a significant antitumor effect on leukemia with STAT-addictive oncokineses.	Blood Cancer J	29	e166	2013
8	寺倉精太郎	血液内科	Successful unrelated cord blood transplantation for adult acquired aplastic anemia using reduced intensity conditioning without ATG.	Immunol Lett	160(1)	99-101	2014.7
9	木原里香	血液内科	Comprehensive analysis of genetic alterations and their prognostic impacts in adult acute myeloid leukemia patients.	Leukemia	28(8)	1586-95	2014.2
10	村田誠	血液内科	Allogeneic transplantation for primary myelofibrosis with bone marrow, peripheral blood, or umbilical cord blood: An analysis of the JSHCT.	Bone Marrow Transplant	49(3)	355-60	2014.3
11	島田和之	血液内科	Effectiveness of ofatumumab to rituximab resistant CLL/SLL cells with reduced CD20 protein expression	Br J Haematol	166(3)	455-457	2014.8
12	Yuasa D	循環器内科	Association of circulating C1q/TNF-related protein 1 levels with coronary artery disease in men.	PLoS One	19	6	2014
13	Ota T	循環器内科	Impact of coronary stent designs on acute stent recoil.	J Cardiol	0914-5087	14	2014
14	Hirashiki A	循環器内科	Combination therapy adding tadalafil to existing ambrisentan in patients with pulmonary arterial hypertension.	Hypertens Res.	37	6	2014

15	Hirashiki A	循環器内科	Cardiopulmonary exercise testing to evaluate the exercise capacity of patients with inoperable chronic thromboembolic pulmonary hypertension: An endothelin receptor antagonist improves the peak PETCO <sub>2</sub> .	Life Sci	0024-3205	14	2014
16	Adachi S	循環器内科	Imatinib is partially effective for the treatment of pulmonary capillary hemangiomatosis.	Intern Med.	53	6	2014
17	Adachi S	循環器内科	Prognostic factors in pulmonary arterial hypertension with Dana Point group 1.	Life Sci.	0024-3205	14	2014
18	Hirashiki A	循環器内科	Prognostic value of pulmonary hypertension in ambulatory patients with non-ischemic dilated cardiomyopathy.	Circ J.	78	5	2014
19	Yoshida N	循環器内科	A Novel Electrocardiographic Criterion for Differentiating a Left from Right Ventricular Outflow Tract Tachycardia Origin: The V2S/V3R Index.	J Cardiovasc Electrophysiol.	25	7	2014
20	Yoshida N	循環器内科	A novel steerable Foley balloon catheter for preventing phrenic nerve injury during epicardial catheter ablation.	J Interv Card Electrophysiol.	39	3	2014
21	Tanaka A	循環器内科	Impact of diabetic retinopathy on late cardiac events after percutaneous coronary intervention.	J Cardiol.	0914-5087	14	2014
22	Okumura N	循環器内科	Novel preprocedural and acute-phase postprocedural predictive factors for contrast-induced kidney injury in CKD patients.	Int J Cardiol.	172	2	2014
23	Tanaka A	循環器内科	The risk of adverse cardiac events following minor surgery under discontinuation of all antiplatelet therapy in patients with prior drug-eluting stent implantation.	Int J Cardiol.	172	1	2014
24	Yanagisawa S	循環器内科	Clinical outcome of implantable cardioverter defibrillators with recalled and non-recalled leads in Japanese patients. Increased failure rate of the Sprint Fidelis lead.	Circ J.	78	2	2013
25	Tanaka A	循環器内科	Influence of the false lumen status on clinical outcomes in patients with acute type B aortic dissection.	J Vasc Surg.	59	2	2014
26	Kondo T	循環器内科	Effect of current smoking and blood pressure on cardiovascular events and mortality for workers: number of events for multivariate analysis to keep validity. Reply.	J Hypertens.	31	9	2013
27	Isobe S	循環器内科	Diabetes with preserved renal function is an independent risk factor for renal function deterioration after coronary computed tomography angiography.	J Comput Assist Tomogr.	37	5	2013
28	Tanaka A	循環器内科	Evaluation for hypoperfusion distal to arteriovenous vascular access using skin perfusion pressure in fingers.	J Vasc Access.	1	29-32	2014
29	Yamashita K	循環器内科	Effects of valsartan versus amlodipine in diabetic hypertensive patients with or without previous cardiovascular disease.	Am J Cardiol	112	11	2013
30	Morita Y	循環器内科	Impact of adiponectin and leptin on long-term adverse events in Japanese patients with acute myocardial infarction. Results from the Nagoya Acute Myocardial Infarction Study (NAMIS).	Circ J.	77	11	2013

31	Suzuki S	循環器内科	Impact of the circadian rhythm on microvascular function in patients with ST-elevation myocardial infarction.	Int J Cardiol	168	5	2013
32	Hayano S	循環器内科	Renal dysfunction and atherosclerosis of the neointima following bare metal stent implantation.	Am J Nephrol.	38	1	2013
33	Suzuki S	循環器内科	Long-term outcome of drug-eluting vs. bare-metal stents in patients with acute myocardial infarction. Subgroup analysis of the nagoya acute myocardial infarction study (NAMIS).	Circ J	77	8	2013
34	Ishii H	循環器内科	Impact of angiotensin II receptor blocker therapy (olmesartan or valsartan) on coronary atherosclerotic plaque volume measured by intravascular ultrasound in patients with stable angina pectoris.	Am J Cardiol	112	3	2013
35	廣岡芳樹	光学医療診療部	Feasibility of Newly Developed Endoscopic Ultrasound with Zone Sonography Technology for Diagnosis of Pancreatic Diseases.	Gut and Liver	7, 4	486-491	2013
36	川嶋啓揮	消化器内科	Diagnostic and prognostic value of immunohistochemical expression of S100P and IMP3 in transpapillary biliary forceps biopsy samples of extrahepatic bile duct carcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	20, 4	441-447	2013
37	林和彦	消化器内科	Pegylated interferon monotherapy in patients with chronic hepatitis C with low viremia and its relationship to mutations in the NS5A region and the single nucleotide polymorphism of interleukin-28B.	Hepatol Res.	43, 6	580-588	2013
38	川嶋啓揮	消化器内科	Should plastic stents be avoided in all unresectable malignant perihilar biliary strictures?	Dig Endosc.	25, S2	86-89	2013
39	石上雅敏	消化器内科	Long-term dynamics of hematological data and spleen volume in cirrhotic patients after liver transplantation-various dynamics depending on etiology.	Springerplus	2	374	2013
40	本多隆	消化器内科	Comparison of the efficacy of ribavirin plus peginterferon alfa-2b for chronic hepatitis C infection in patients with and without coagulation disorders.	J Med Virol.	85, 2	228-234	2013
41	石上雅敏	消化器内科	Impact of recipient age and preoperative fasting blood glucose level as the risk factors of living donor liver transplantation in cirrhotic patients in the recent comprehensive era with knowledge of indications: Recent status in a Japanese single center	Hepatology Research	43	1148-1155	2013
42	中村正直	消化器内科	Endoscopic diagnosis of follicular lymphoma with small-bowel involvement using video capsule endoscopy and double-balloon endoscopy: a case series.	Endoscopy.	45, 1	67-70	2013
43	中村正直	消化器内科	Extraluminal GI stromal tumor of the jejunum diagnosed by EUS at double-balloon endoscopy.	Gastrointestinal Endoscopy	79, 2	335-336	2014
44	廣岡芳樹	光学医療診療部	Differential diagnosis of dialysis-associated renal cell carcinoma with ultrasonography.	Journal of Medical Ultrasonics	41, 1	125-129	2014
45	廣岡芳樹	光学医療診療部	Differential diagnosis of dialysis-associated renal cell carcinoma with ultrasonography.	Journal of Medical Ultrasonics	41, 1	125-129	2014

46	廣岡芳樹	光学医療診療部	Ultrasonographic diagnostic criteria for pancreatic cancer.	Journal of Medical Ultrasonics	40, 4	497-504	2013
47	山村健史	消化器内科	Inhibition of Niemann-Pick-type C1-like1 by ezetimibe activates autophagy in human hepatocytes and reduces mutant $\alpha$ 1-antitrypsin Z deposition.	Hepatology	59(4)	1591-1599	2014
48	Watanabe F	呼吸器内科	Quadriceps weakness contributes to exercise capacity in nonspecific interstitial pneumonia	Respiratory medicine	107	622-628	2013
49	Oguri T	呼吸器内科	Genetic polymorphisms associated with oxaliplatin-induced peripheral neurotoxicity in Japanese patients with colorectal cancer	International Journal of clinical pharmacology and therapeutics	51 No.6	475-481	2013
50	Tsukuura H	呼吸器内科	Opioid Use in End-of-Life Care in Patients With Interstitial Pneumonia Associated With Respiratory Worsening	Journal of Pain Palliat Care Pharmacother	27	214-219	2013
51	Watanabe N	呼吸器内科	Efficacy of chemotherapy for advanced non-small cell lung cancer with idiopathic pulmonary fibrosis	Respiration	Apr-85	326-331	2013
52	Aoyama D	呼吸器内科	Involvement of TGF $\beta$ -induced phosphorylation of the PTEN C-terminus on TGF bate in duced acquisition of malignant phenotypes in lung cancer cells.	PLoS One	22	e81133	2013
53	Fukatsu A,	呼吸器内科	RASSF3 downregulation increases malignant phenotypes of non-small cell lung cancer.	Lung Cancer	83	23-29	2014
54	Okachi S	呼吸器内科	Endobronchial ultrasound transbronchial needle aspiration in older people	Geriatr Gerontol Int	13	986-992	2013
55	Sato M	呼吸器内科	Human lung epithelial cells progressed to malignancy through specific oncogenic manipulations.	Mol Cancer Res.	11	638-650	2013
56	Shindo Y	呼吸器内科	Risk Factors for Drug-Resistant Pathogens in Community-Acquired and Healthcare-Associated Pneumonia	Am J Respir Crit Care Med	188	985-995	2013
57	Shindo Y	呼吸器内科	Reply: HCAP Not Busy Being Born Is Busy Dying	Am J Respir Crit Care Med	189	366-367	2014
58	Shindo Y	呼吸器内科	Reply: Isolation of drug-resistant pathogens does not always require antibiotics of broad spectrum in pneumonia	Am J Respir Crit Care Med	189	757-758	2014
59	Ito S	呼吸器内科	Role of RhoA/Rho-kinase and calcium sensitivity in airway smooth muscle functions. In: Wang YX (Ed) "Calcium Signaling In Airway Smooth Muscle Cells" .	Springer, New York, NY,	-	pp285-307.	2014
60	Osio Y, □	糖尿病・内分泌内科学	Treatment of Neurohypophyseal Diabetes Insipidus.	J Clin Endocrinol Metab..	98(10)	3958-3967	2013
61	Uenishi E	糖尿病・内分泌内科学	Actin Dynamics Regulated by the Balance of Neuronal Wiskott-Aldrich Syndrome Protein (N-WASP) and Cofilin Activities Determines the Biphasic Response of Glucose-induced Insulin Secretion.	J Biol Chem.	288(36)	25851-64	2013
62	Arima H	糖尿病・内分泌内科学	Efficacy and safety of desmopressin orally disintegrating tablet in patients with central diabetes insipidus: results of a multicenter open-label dose-titration study.	Endocr J	60(9)	1085-1094	2013

63	Hagimoto S	糖尿病・内分泌内科学	Expression of neuropeptide Y and agouti-related protein mRNA stimulated by glucocorticoids is attenuated via NF-kappa B p65 under ER stress in mouse hypothalamic cultures.	Neurosci Lett	553	165-169	2013
64	Ito Y	糖尿病・内分泌内科学	GABA Type B Receptor Signaling in Proopiomelanocortin Neurons Protects Against Obesity, Insulin Resistance and Hypothalamic Inflammation in Male Mice on a High Fat Diet.	J Neurosci	33(43)	17166-17173	2013
65	Arima H	糖尿病・内分泌内科学	Adipsia increases risk of death in patients with central diabetes insipidus.	Endocr J	61(2)	143-148	2013
66	Hagiwara D	糖尿病・内分泌内科学	Arginine vasopressin neuronal loss results from autophagy-associated cell death in a mouse model for familial neurohypophysial diabetes insipidus.	Cell Death Dis	5	e1148	2013
67	Iwama S	糖尿病・内分泌内科学	Isolated Prolactin Deficiency Associated With Serum Autoantibodies Against Prolactin-Secreting Cells	J Clin Endocrinol Metab.	98(10)	May-20	2013
68	Seino Y	糖尿病・内分泌内科学	Cephalic phase insulin secretion is KATP channel independent.	J Endocrinol	218(1)	25-33	2013
69	Hamada Y	糖尿病・内分泌内科学	The alpha-glucosidase inhibitor miglitol affects bile acid metabolism and ameliorates obesity and insulin resistance in diabetic mice	Metabolism	62(5)	734-42	2013
70	Ishimoto T	腎臓内科	Toll-like receptor 3 ligand, polyIC, induces proteinuria and glomerular CD80, and increases urinary CD80 in mice.	Nephrol Dial Transplant	28(6)	1439-46	2013
71	Furuhashi K	腎臓内科	Serum-Starved Adipose-Derived Stromal Cells Ameliorate Crescentic GN by Promoting Immunoregulatory Macrophages.	J Am Soc Nephrol	24(4)	587-603	2013
72	Ishimoto T	腎臓内科	High-fat and high-sucrose (western) diet induces steatohepatitis that is dependent on fructokinase.	Hepatology	58(5)	1632-43	2013
73	Mizuno T	腎臓内科	Anti-C5a complementary peptide ameliorates acute peritoneal injuries induced by neutralization of Crry and CD59.	Am J Physiol Renal Physiol	305(11)	F1603-16	2013
74	Kinashi H	腎臓内科	TGF-β1 Promotes Lymphangiogenesis during Peritoneal Fibrosis.	J Am Soc Nephrol	24(10)	1627-42	2013
75	Kim H	腎臓内科	Rat adipose tissue-derived stem cells attenuate peritoneal injuries in rat zymosan-induced peritonitis accompanied by complement activation.	Cytotherapy	16(3)	357-68	2014
76	Maeda-Hori M	腎臓内科	Plasma CD147 reflects histological features in patients with lupus nephritis	Lupus	23(4)	342-52	2014
77	Sugawara G	消化器外科一	The effect of preoperative biliary drainage on infectious complications after hepatobiliary resection with choangiojejunostomy.	Surgery	153	200-210	2013
78	Aoba T	消化器外科一	Assessment of nodal status for perihilar cholangiocarcinoma: Location, number, or ratio of involved nodes.	Annals of Surgery	257	718-725	2013
79	Kitagawa T	消化器外科一	Protective effects of branched-chain amino acids on hepatic ischemia-reperfusion-induced liver injury in rats: a direct attenuation of Kupffer cell activation.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol	304	346-355	2013
80	Fukami Y	消化器外科一	Salvage hepatectomy for perihilar malignancy treated initially with biliary self-expanding metallic stents.	Surgery	153	627-633	2013

81	Takahashi Y	消化器外科一	Surgical treatment of perihilar cholangiocarcinoma in octogenarians: a single center experience.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	20	324-331	2013
82	Igami T	消化器外科一	Single-incision laparoscopic cholecystectomy for porcelain gallbladder: A case report.	Asian J Endosc Surg.	6	52-54	2013
83	Miyake T	消化器外科一	Endothelial nitric oxide synthase plays a main role in producing nitric oxide in the super-acute phase of hepatic ischemia prior to the upregulation of inducible nitric oxide synthase.	Journal of Surgical Research.	183	742-751	2013
84	Mizutani T	消化器外科一	Calcitonin gene-related peptide regulates the early phase of liver regeneration.	Journal of Surgical Research.	183	138-145	2013
85	Kawahara T	消化器外科一	Quantitative proteomic profiling identifies DPYSL3 as pancreatic ductal adenocarcinoma-associated molecule that regulates cell adhesion and migration by stabilization of focal adhesion complex.	PLOS ONE8	12	e79654	2013
86	Uehara K	消化器外科一	Phase II Trial of Adjuvant Chemotherapy with S-1 for Colorectal Liver Metastasis	Ann Surg Oncol	20	475-481	2013
87	Yokoyama Y	消化器外科一	Current scenario for the hepatoprotective effects of Inchinkoto, a traditional herbal medicine, and its clinical application in liver surgery: review	Hepatology Research	44	384-394	2014
88	Uehara K	消化器外科一	Combination therapy with single incision laparoscopic surgery and double-balloon endoscopy for small intestinal bleeding: report of three cases.	Surgery Today.	43	1062-1065	2013
89	Nagino M	消化器外科一	Evolution of surgical treatment for perihilar cholangiocarcinoma: A single-center 34-year review of 574 consecutive resections.	Annals of Surgery	258	129-140	2013
90	Nishigaki, E	消化器外科一	The detection of intraoperative bacterial translocation in the mesenteric lymph nodes is useful in predicting patients at high risk for postoperative infectious complications after esophagectomy.	Annals of Surgery	259	477-484	2014
91	Nakagawa, A	消化器外科一	Hepatobiliary resection with concomitant resection of the inferior vena cava for advanced intrahepatic cholangiocarcinoma: report of a case.	Surgery Today.	43	1321-1325	2013
92	Onoe, S	消化器外科一	Prognostic delineation of papillary cholangiocarcinoma based on the invasive proportion: a single-institution study with 184 patients.	Surgery	155	280-291	2014
93	Yokoyama Y	消化器外科一	Predictive power of prothrombin time and serum total bilirubin for postoperative mortality after major hepatectomy with extrahepatic bile duct resection	Surgery	155	504-511	2014
94	Taguchi, Y	消化器外科一	The determination of bile leakage in complex hepatectomy based on the guidelines of the International Study Group of Liver Surgery.	World J Surg	38	168-176	2014
95	Yokoyama Y	消化器外科一	A randomized clinical trial on the effect of perioperative synbiotics versus no synbiotics on bacterial translocation after oesophagectomy.	British J of surg	101	189-199	2014
96	Oya, S	消化器外科一	Inhibition of Tol-like receptor 4 suppresses liver injury induced by biliary obstruction and subsequent intraportal lipopolysaccharide injection.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol	306	G244-252	2014
97	菱田 光洋	消化器外科	Estrogen receptor 1 gene as a tumor suppressor gene in hepatocellular carcinoma detected by triple-combination array analysis.	International Journal of Oncology	43(1)	88-94	2013



98	寺本 仁	消化器外科	Tumor budding as a useful prognostic marker in T1-stage squamous cell carcinoma of the esophagus.	Journal of Surgical Oncology	108(1)	42-46	2013
99	山田 豪	消化器外科	Aggressive Surgery for Borderline Resectable Pancreatic Cancer: Evaluation of National Comprehensive Cancer Network Guidelines.	Pancreas	42(6)	1004-1010	2013
100	猪川 祥邦	消化器外科	Detection of doublecortin domain-containing 2 (DCDC2), a new candidate tumor suppressor gene of hepatocellular carcinoma, by triple combination array analysis.	Journal of Experimental & Clinical Cancer Research	32(1)	65	2013
101	猪川 祥邦	消化器外科	Dynamin 3: a new candidate tumor suppressor gene in hepatocellular carcinoma detected by triple combination array analysis.	OncoTargets and Therapy	6()	1417-1424	2013
102	山田 豪	消化器外科	Epithelial-to-mesenchymal transition predicts prognosis of pancreatic cancer.	Surgery	154(5)	946-954	2013
103	高見 秀樹	消化器外科	Evaluation of MAGE-D4 expression in hepatocellular carcinoma in Japanese patients.	Journal of Surgical Oncology	108(8)	557-562	2013
104	山田 豪	消化器外科	Value of peritoneal cytology in potentially resectable pancreatic cancer.	British Journal of Surgery	100(13)	1791-1796	2013
105	末永 雅也	消化器外科	A functional polymorphism in the epidermal growth factor gene predicts hepatocellular carcinoma risk in Japanese hepatitis C patients.	OncoTargets and Therapy	6	1805-0812	2013
106	神田 光郎	消化器外科	Downregulation of DENND2D by promoter hypermethylation is associated with early recurrence of hepatocellular carcinoma.	International Journal of Oncology	44(1)	44-52	2014
107	山村 和生	消化器外科	Combination Treatment of Human Pancreatic Cancer Xenograft Models with the Epidermal Growth Factor Receptor Tyrosine Kinase Inhibitor Erlotinib and Oncolytic Herpes Simplex Virus HF10.	Annals of Surgical Oncology	21(2)	691-698	2014
108	日比野 壮貴	消化器外科	Reduced expression of DENND2D through promoter hypermethylation is an adverse prognostic factor in squamous cell carcinoma of the esophagus	Oncology Reports	31(2)	693-700	2014
109	中山 吾郎	消化器外科	The impact of dose/time modification in irinotecan- and oxaliplatin-based chemotherapies on outcomes in metastatic colorectal cancer.	Cancer Chemotherapy and Pharmacology	73(4)	847-855	2014
110	清水 大	消化器外科	Identification of intragenic methylation in the TUSC1 gene as a novel prognostic marker of hepatocellular carcinoma.	Oncology Reports	31(3)	1305-1313	2014
111	亀井秀弥	移植外科	Short- and long-term outcomes of third liver transplantation at single centre	Hepatology International	volume7, Issue 2	728-733	2013
112	亀井秀弥	移植外科	Association of transporter associated with antigen processing (TAP) gene polymorphisms in donors with acute cellular rejection in living donor liver transplantation.	Journal of Gastrointestinal Liver Disease	22(2)	167-171	2013
113	亀井秀弥	移植外科	Cytokine Gene Polymorphisms in Acute Cellular Rejection following Living Donor Liver Transplantation -Analysis of 155 Donor-Recipient Pairs	Hepatology International	volume7, Issue 3	916-922	2013
114	亀井秀弥	移植外科	Comparison of short- and long-term outcomes after early versus late liver retransplantation: a single-center experience.	Journal of Surgical Research	185(2)	877-882	2013

115	石黒直樹	整形外科	Concomitant iguratimod therapy in patients with active rheumatoid arthritis despite stable doses of methotrexate: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Mod Rheumatol.	23(3)	430-9	2013
116	筑紫聡	小児集中治療寄附講座	Planned preservation surgery for soft tissue sarcomas adjacent to critical structures.	Arch Orthop Trauma Surg.	133(4)	481-6.	2013
117	吉岡裕	整形外科	Suppression of hyaluronan synthesis alleviates inflammatory responses in murine arthritis and in human rheumatoid synovial fibroblasts.	Arthritis Rheum.	65(5)	1160-70	2013
118	二村尚久	整形外科	Hyaluronan synthesis inhibitor supplements the inhibitory effects of zoledronic acid on bone metastasis of lung cancer.	Clin Exp Metastasis.	30(5)	595-606.	2013
119	高橋伸典	整形外科	Clinical efficacy of abatacept in Japanese rheumatoid arthritis patients.	Mod Rheumatol.	23(5)	904-912	2013
120	小嶋俊久	整形外科	Monitoring C-reactive protein levels to predict favourable clinical outcomes from tocilizumab treatment in patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol.	23(5)	977-985	2013
121	高橋伸典	整形外科	Clinical efficacy of abatacept compared to adalimumab and tocilizumab in rheumatoid arthritis patients with high disease activity.	Clin Rheumatol.	33(1)	39-47	2014
122	関泰輔	整形外科	Reliability and validity of the Japanese Orthopaedic Association hip disease evaluation questionnaire (JHEQ) for patients with hip disease.	Journal of Orthopaedic Science	18(5)	782-7	2013
123	池内一磨	整形外科	Intraoperative migration of the trial femoral head into the pelvis during total hip arthroplasty -Report of two cases-.	Nagoya Journal of Medical Science	VOLUME 76	203-210	2014
124	松下雅樹	整形外科	Meclozine facilitates chondrocyte proliferation and differentiation by attenuating abnormally activated fibroblast growth factor receptor 3 (FGFR3) signaling in achondroplasia.	PLoS One	8(12)	e81569	2013
125	鬼頭浩史	整形外科	Perhexiline maleate in the treatment of fibrodysplasia ossificans progressiva. An open-labeled clinical trial.	Orphanet J Rare Disease	8	163	2013
126	Ono Y	整形外科	Chondrogenic capacity and alterations in hyaluronan synthesis of cultured human osteoarthritic chondrocytes.	Biochem Biophys Res Commun.	435-4	733-739	2013
127	Takamatsu A	整形外科	Verapamil protects against cartilage degradation in osteoarthritis by inhibiting Wnt/beta-catenin signaling.	PLoS One.	9-3	e92699	2014
128	飛田哲朗	整形外科	High prevalence of sarcopenia and reduced leg muscle mass in Japanese patients immediately after a hip fracture.	Geriatr Gerontol Int	13	413-420	2013
129	安藤圭	整形外科	Removal of thoracic dumbbell tumors through a single-stage posterior approach: its usefulness and limitations.	J Orthop Sci	18	380-387	2013
130	伊藤全哉	整形外科	Bone union rate with autologous iliac bone versus local bone graft in posterior lumbar interbody fusion (PLIF): a multicenter study.	Eur Spine J	22	1158-1163	2013
131	今釜史郎	整形外科	Influence of spinal sagittal alignment, body balance, muscle strength, and physical ability on falling of middle-aged and elderly males.	Eur Spine J	22	1346-1353	2013
132	村本明生	整形外科	Threshold values of physical performance tests for locomotive syndrome.	J Orthop Sci	18	618-626	2013

133	中島宏彰	整形外科	Characterizing the need for tracheostomy placement and decannulation after cervical spinal cord injury.	Eur Spine J	22	1526-1532	2013
134	今釜史郎	整形外科	Surgical treatment for kyphoscoliosis in Cohen syndrome.	Nagoya J Med Sci	75	279-286	2013
135	村本明生	整形外科	Midkine overcomes neurite outgrowth inhibition of chondroitin sulfate proteoglycan without glial activation and promotes functional recovery after spinal cord injury.	Neurosci Lett	550	150-155	2013
136	今釜史郎	整形外科	Improvement of atelectasis after corrective fusion for lordoscoliosis with intrathoracic vertebral protrusion in arthrogryposis multiplex congenita: efficacy of positive-pressure ventilation test.	J Orthop Sci	18	856-860	2013
137	中島宏彰	整形外科	Dumbbell-type hemangiopericytoma in the cervical spine: a case report and review.	J Orthop Sci	18	849-855	2013
138	安藤圭	整形外科	Unilateral instrumented fixation for cervical dumbbell tumors.	J Orthop Surg Res	9	2	2014
139	Hirata H	手の外科	[New horizon of treatments for peripheral nerve disorders].	Rinsho Shinkeigaku	53(11)	1123	2013
140	Arai T	手の外科	Mechanical advantages of a truss-structure-based fracture fixation system--a novel fracture fixation device "PinFix".	Nagoya J Med Sci	75(3-4)	181-192	2013
141	赤根真央	手の外科	Partial Necrosis of the Lunate after a Translunate Palmar Perilunate Fracture Dislocation	Nagoya Journal of Medical Science	76(1-2)	211-6	2014
142	Kurimoto S	手の外科	Favorable effects of explanatory illustrations attached to a self-administered questionnaire for upper extremity disorders.	Qual Life Res	22(5)	1145-9	2013
143	西塚隆伸	手の外科	Simple debridement has little favourable impact on the clinical course of recalcitrant ulnar wrist pain.	Bone and Joint Journal	76	211	2013
144	Iwatsuki, K	手の外科	Comparative responsiveness of the Hand 20 and the DASH-JSSH questionnaires to clinical changes after carpal tunnel release	J Hand Surg Eur	39E(2)	145	2014
145	KATO SHUICH	手の外科	The Results of Volar Locking Plate Fixation for the Fragility Fracture Population with Distal Radius Fracture in Japanese Women	Nagoya Journal of Medical Science	v.76	101-111	2014
146	Onishi T, Kurimoto S, Suzuki M, Imaeda T, Hirata H.	手の外科	Work-related musculoskeletal disorders in the upper extremity among the staff of a Japanese university hospital.	Int Arch Occup Environ Health	87(5)	547-55	2013
147	Kajiyama H	産婦人科	Postrecurrence clinical outcome of patients with stage I epithelial ovarian cancer who underwent fertility-sparing surgery compared to those with radical surgery.	Surgical Science.	1	118-124.	2013
148	Utsumi F	産婦人科	Patterns of recurrence and their significance in patients with endometrial carcinoma ~For improved follow-up after initial treatment. improved follow-up after initial treatment.	Surgical Science.	2	154-159	2013
149	Utsumi F	産婦人科	Effect of Indirect Nonequilibrium Atmospheric Pressure Plasma on Anti-proliferative Activity against Chronic Chemo-resistant Ovarian Cancer Cells in vitro and in vivo.	PLoS One	12	e81576	2013

150	Kajiyama H	産婦人科	Is There Any Association between Where Patients Spend Their End-of-life and Survival after Anticancer Treatment for Gynecologic Malignancy?	J Palliat Med	3	325-330	2014
151	Nakahara T	産婦人科	Chronic Peripheral Administration of Kappa-Opioid Receptor Antagonist Advances Puberty Onset Associated with Acceleration of Pulsatile Luteinizing Hormone Secretion in Female Rats.	J Reprod Dev	59(5)	479-484	2013
152	Tsuda H	産婦人科	Effect of placenta previa on neonatal respiratory disorders and amniotic lamellar body counts at 36-38 weeks of gestation.	Early Hum Dev.	90(1)	51-54	2014
153	Kotani T	産婦人科	Altered expression of enzymes regulating the activity of endothelin-1 in the lower segment of the human amnion during labor.	Biol Reprod.	5;89(3)	52	2013
154	Kajiyama H	産婦人科	Is there any association between where patients spend the end of life and survival after anticancer treatment for gynecologic malignancy?	J Palliat Med.	17(3)	325-330	2014
155	Kajiyama H	産婦人科	Survival benefit of taxane plus platinum in recurrent ovarian cancer with non-clear cell, non-mucinous histology.	J Gynecol Oncol.	25(1)	43-50	2014
156	Suzuki S	産婦人科	Significant clinical response of progressive recurrent ovarian clear cell carcinoma to glypican-3-derived peptide vaccine therapy: Two case reports.	Vaccin Immunother.	10(2)	338-343	2014
157	Kajiyama H	産婦人科	Perspective of strategic plasma therapy in patients with epithelial ovarian cancer: A short review of plasma in cancer treatment.	Jap J Appl Phys	53	05FA05	2014
158	Ueno Shinji	眼科	Choroidal atrophy in a patient with paraneoplastic retinopathy and anti-TRPM1 antibody.	Clin Ophthalmol.	8	369-373	2014
159	Ueno Shinji	眼科	Degeneration of retinal on bipolar cells induced by serum including autoantibody against TRPM1 in mouse model of paraneoplastic retinopathy.	PLoS One	8(11)	e81507	2013
160	Kawano Kenichi	眼科	Displacement of foveal area toward optic disc after macular hole surgery with internal limiting membrane peeling.	Eye (Lond).	27(7)	871-877	2013
161	Iwase Takeshi	眼科	Inherent possibility of refractive error for phacovitrectomy.	Clin Experiment Ophthalmol.	41(3)	302-303	2013
162	Iwase Takeshi	眼科	Effect of prophylactic 360° laser treatment for prevention of retinal detachment after phacovitrectomy: (Prophylactic 360° laser	BMC Ophthalmol.	13	77	2013
163	入谷修司	精神科	What happens in the brain of schizophrenia patients?: an investigation from the viewpoint of neuropathology.	Nagoya J Med Sci	75	11-28	2013
164	藤城弘樹	精神科	A follow up study of non-demented patients with primary visual cortical hypometabolism: prodromal dementia with Lewy bodies.	J Neurol Sci	334(1-2)	48-54	2013
165	藤城弘樹	精神科	Levodopa treatment and mood fluctuation in dementia with Lewy bodies: a case report.	Psychogeriatrics	13(4)	250-253	2013

166	Narita A, Muramatsu H, Sakaguchi H, Doisaki S, Hama A, Takahashi Y, Kojima S	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Correlation of CYP2C19 phenotype with voriconazole plasma concentration in children	J Pediatr Hematol Oncol	35(5)	e219-23	2013
167	Okuno Y, Kojima S	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	CD8+ CD122+ regulatory T cells contain clonally expanded cells with identical CDR3 sequences of the T-cell receptor beta-chain	Immunology	139(3)	309-17	2013
168	Sakaguchi H, Okuno Y, Muramatsu H, Wang X, Xu Y, Doisaki S, Hama A, Nakanishi K, Takahashi Y, Kojima S	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Exome sequencing identifies secondary mutations of SETBP1 and JAK3 in juvenile myelomonocytic leukemia	Nat Genet	45(8)	937-41	2013
169	Kawano Y, Kawada J, Suzuki M, Torii Y, Kojima S, Kimura H, Ito Y	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Plasma viral microRNA profiles reveal potential biomarkers for chronic active Epstein-Barr virus infection	J Infect Dis	208(5)	771-9	2013
170	Suzuki M, Ito Y, Muramatsu H, Hama A, Takahashi Y, Kimura H, Kojima S	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Long-Term Parvovirus B19 Infections With Genetic Drift After Cord Blood Transplantation Complicated by Persistent CD4+ Lymphocytopenia.	J Pediatr Hematol Oncol	36(1)	e65-8	2014
171	Ismael O, Muramatsu H, Hama A, Takahashi Y, Kojima S.	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	RUNX1 mutation associated with clonal evolution in relapsed pediatric acute myeloid leukemia with t(16;21)(p11;q22)	Int J Hematol	99(2)	169-74	2014
172	Torii Y, Kimura H, Ito Y, Hayakawa M, Nariai A,	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Clinicoepidemiologic Status of Mother-to-Child Infections: A Nationwide Survey in Japan	The Pediatric infectious disease journal	32(6)	699-701	2013
173	Kawano Y, Kawada J, Suzuki M, Torii Y, Kojima S, Kimura H, Ito Y	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Plasma Viral MicroRNA Profiles Reveal Potential Biomarkers for Chronic Active Epstein-Barr Virus Infection.	The Journal of infectious diseases	208(5)	771-9	2013
174	Ito Y, Kojima S, Kimura H.	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	HLA-A*26 and HLA-B*52 are associated with a risk of developing EBV-associated T/NK lymphoproliferative disease.	Blood	e-Letter	e-Letter ID: bloodjournal_el ; 8085	2013
175	Ito Y, Kimura H	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Risk factors for poor outcome in congenital cytomegalovirus infection and neonatal herpes on the basis of a nationwide survey in Japan	Pediatrics international	55(5)	566-71	2013
176	Suzuki M, Torii Y, Kawada J, Kimura H, Ito Y.	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Immunogenicity of inactivated seasonal influenza vaccine in adult and pediatric liver transplant recipients over two seasons.	Microbiology and immunology	57(10)	715-22	2013
177	川田潤一, 伊藤嘉規, 木村宏	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Remission of juvenile idiopathic arthritis with primary Epstein-Barr virus infection	Rheumatology	52 (5)	956-8	2013

178	川田潤一, 伊藤嘉規	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Clinical characteristics of influenza virus infection in juvenile idiopathic arthritis patients treated with tocilizumab	Modern Rheumatology	23 (5)	972-6	2013
179	Hayakawa M, Ito M,	総合周産期母子医療セ ンター 新生児部門	Effect of hospital volume on the mortality of congenital diaphragmatic hernia in Japan.	Pediatr Int.	55	190-196	2013
180	Ichinohashi Y, Sato Y, Saito A, Ito M, Hayakawa M	総合周産期母子医療セ ンター 新生児部門	Dexamethasone administration to the neonatal rat results in neurological dysfunction at the juvenile stage even at low doses.	Early Hum Dev.	89(5)	283-8	2013
181	Sato Y	総合周産期母子医療セ ンター 新生児部門	Grafting of neural stem and progenitor cells to the hippocampus of young, irradiated mice causes gliosis and disrupts the granule cell layer.	Cell Death Dis.	4	e591	2013
182	Sakaguchi H, Okuno Y, Muramatsu H, Yoshida K, Shiraishi Y, Takahashi M, Kon A, Sanada M, Chiba K, Tanaka H, Makishima H, Wang X, Xu Y, Doisaki S, Hama A, Nakanishi K, Takahashi Y, Yoshida N, Maciejewski JP, Miyano S, Ogawa S, Kojima S	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Exome sequencing identifies secondary mutations of SETBP1 and JAK3 in juvenile myelomonocytic leukemia.	Nat Genet.	45(8)	937-41	2013
183	Kawashima N, Ikoma M, Sekiya Y, Narita A, Yoshida N, Matsumoto K, Hatano T, Kato K.	総合医学専攻 発育・ 加齢医学講座 (小児科 学)	Successful treatment of pulmonary hypertension with beraprost and sildenafil after cord blood transplantation for infantile leukemia.	Int J Hematol.	97(1)	147-50	2013 Jan
184	Tanahashi K	皮膚科	Prevalent founder mutation c.736T>A of LIPH in autosomal recessive woolly hair of Japanese leads to variable severity of hypotrichosis in adulthood.	J Eur Acad Dermatol Venereol	27(9)	1182-1184	2013
185	Kono M	皮膚科	Dyschromatosis symmetrica hereditaria by ADAR1 mutations and viral encephalitis: a hidden link?	Int J Dermatol	52(12)	1582-1584	2013
186	Matsumoto T	皮膚科	Postoperative DAV-IFN-beta therapy does not improve survival rates of stage II and stage III melanoma patients significantly.	J Eur Acad Dermatol Venereol	27(12)	1514-20	2013
187	Muro Y	皮膚科	Low prevalence of anti-small ubiquitin- like modifier activating enzyme antibodies in dermatomyositis patients.	Autoimmunity	46(4)	279-284	2013
188	Shibata A	皮膚科	A novel ATP2C1 early truncation mutation suggests haploinsufficiency as a pathogenic mechanism in a patient with Hailey-Hailey disease.	Acta Dermato-Venereol	93(6)	719-720	2013

189	Sugiura K	皮膚科	Clouston syndrome with heterozygous GJB6 mutation p.Ala88Val and GJB2 variant p.Val27Ile revealing mild sensorineural hearing loss and photophobia.	JAMA Dermatol	149(11)	1350-1351	2013
190	Sugiura K	皮膚科	Cutaneous lupus mucinosis successfully treated with systemic corticosteroid and systemic tacrolimus combination therapy.	J Am Acad Dermatol	69(4)	e200-2	2013
191	Sugiura K	皮膚科	The majority of generalized pustular psoriasis without psoriasis vulgaris is caused by deficiency of interleukin-36 receptor antagonist.	J Invest Dermatol	133(11)	2514-21	2013
192	Kono M	皮膚科	Whole-exome sequencing identifies ADAM10 mutations as a cause of reticulate acropigmentation of Kitamura, a clinical entity distinct from Dowling-Degos disease.	Hum Mol Genet	22(17)	3524-3533	2013
193	Sugiura K	皮膚科	Lamellar ichthyosis in a collodion baby caused by CYP4F22 mutations in a non-consanguineous family outside the Mediterranean.	J Dermatol Sci	72(2)	193-195	2013
194	Sugiura K	皮膚科	Very mild lamellar ichthyosis with compound heterozygous TGM1 mutations including the novel missense mutation p.Leu693Phe.	J Dermatol Sci	72(2)	197-199	2013
195	Sugiura K	皮膚科	Unilaterally dominant eosinophilic fasciitis after influenza vaccination.	J Am Acad Dermatol	69(5)	e269-70	2013
196	Sugiura K	皮膚科	Alopecia totalis in monosomy 18p.	Eur J Dermatol	23(6)	899-900	2013
197	Muro Y	皮膚科	Detection of autoantibodies to periplakin and envoplakin in paraneoplastic pemphigus but not idiopathic pulmonary fibrosis using full-length recombinant proteins.	Clin Chim Acta	429	14-17	2014
198	Sugiura K	皮膚科	Generalized pustular psoriasis triggered by amoxicillin in monozygotic twins with compound heterozygous IL36RN mutations: Comment on the article by Navarini et al.	J Invest Dermatol	134(2)	578-9	2014
199	Shibata A	皮膚科	High survival rate of harlequin ichthyosis in Japan.	J Am Acad Dermatol	70(2)	387-8	2014
200	Kono M	皮膚科	Novel ADAR1 mutations including a single amino acid deletion in the deaminase domain underlie dyschromatosis symmetrica hereditaria in Japanese families.	Int J Dermatol	53(3)	e194-e196	2014
201	Yasuda K	皮膚科	Nuclear envelope localization of Ran-binding-protein 2 and Ran-GTPase-activating protein 1 in psoriatic epidermal keratinocytes.	Exp Dermatol	23(2)	119-24	2014
202	Tanahashi K	皮膚科	Highly prevalent LIPH founder mutations causing autosomal recessive woolly hair/hypotrichosis in Japan and the genotype/phenotype correlations.	PLoS ONE	9(2)	e89261	2014
203	Sugiura K	皮膚科	Six-year-old boy with palmoplantar keratoderma with ichthyosis.	J Am Acad Dermatol	70(3)	e51-2	2014
204	Muro Y	皮膚科	Reply to "Detection of anti-periplakin auto-antibodies during idiopathic pulmonary fibrosis" by Taille et al.	Clin Chim Acta	433C	194	2014
205	M. Gotoh	Urology	Regenerative treatment of male stress urinary incontinence by periurethral injection of autologous adipose-derived regenerative cells: 1-year outcomes in 11 patients	Int.J.Urol	21	294-300	2013
206	Y. Funahashi	Urology	Intravesical administration of rebamipide suppresses bladder inflammation in a rat cystitis model	J.Urol.	191	1147-1152	2014

207	Y. Funahashi	Urology	Comparison of renal ischemic damage during laparoscopic partial nephrectomy with artery-vein and artery-only clamping	J.Endourol.	28	306-311	2014
208	Y. Funahashi	Urology	Herpes simplex virus vector mediated gene therapy of tumor necrosis factor- $\alpha$ blockade for bladder overactivity and nociception in rats	J.Urol	189(1)	366-373	2013
209	T. Yamamoto	Urology	Pretreatment of renal subcapsular administration of adipose tissue-derived stem cells ameliorate ischemia reperfusion-induced acute kidney injury	Hirosaki Med.J.	64	S1-S3	2013
210	曾根三千彦	耳鼻咽喉科	Evaluation of vascular activity in otosclerosis by laser Doppler flowmetry: comparison with computed tomographic densitometry	Otol Neurotol	34(9)	1559-1563	2013
211	寺西正明	耳鼻咽喉科	Polymorphisms in genes involved in the free-radical process in patients with sudden sensorineural hearing loss and Meniere's disease	Free Radic Res	47(6-7)	498-506	2013
212	吉田忠雄	耳鼻咽喉科	Endolymphatic hydrops in patients with tinnitus as the major symptom	Eur Arch Otorhinolaryngol	270(12)	3043-3048	2013
213	藤本保志	耳鼻咽喉科	A phase I study concurrent chemoradiotherapy using oral s-1 for head and neck cancer	Anticancer Res	34(1)	209-213	2014
214	大竹宏直	耳鼻咽喉科	Antimicrobial prophylaxis in tonsillectomy: the efficacy of preoperative single-dose oral administration of azithromycin in preventing surgical site infection	Acta Otolaryngol	134(2)	181-184	2014
215	曾根三千彦	耳鼻咽喉科	Current concepts of otitis media in adults as a reflux-related disease	Otol Neurotol	34(6)	1013-1017	2013
216	長縄慎二	放射線科/放射線部	Semi-quantification of Endolymphatic Size on MR Imaging after Intravenous Injection of Single-dose Gadodiamide: Comparison between Two Types of Processing Strategies.	Magn Reson Med Sci.	12(4)	261-269	2013
217	岩野信吾	放射線科/放射線部	Pulmonary lobar volumetry using novel volumetric computer-aided diagnosis and computed tomography.	Interact Cardiovasc Thorac Surg.	17(1)	59-65	2013
218	岩野信吾	放射線科/放射線部	Planning of segmentectomy using three-dimensional computed tomography angiography with a virtual safety margin: Technique and initial experience.	Lung Cancer.	81(3)	410-415	2013
219	加藤克彦	放射線科/放射線部	Limited Efficacy of 18F-FDG PET/CT for Differentiation Between Metastasis-Free Pancreatic Cancer and Mass-Forming Pancreatitis.	Clinical Nuclear Medicine.	38(6)	417-420	2013
220	長縄慎二	放射線科/放射線部	Serial Scans in Healthy Volunteers Following Intravenous Administration of Gadoteridol: Time Course of Contrast Enhancement in Various Cranial Fluid Spaces.	Magn Reson Med Sci.	13(1)	7-13	2014
221	山崎雅弘	放射線科/放射線部	Visualization of white matter tracts using a non-diffusion weighted magnetic resonance imaging method: Does intravenous gadolinium injection four hours prior to the examination affect the visualization of white matter tracts?	PLoS ONE	9(3)	e91860	2014
222	Hiroki Sakakura	歯科口腔外科	etection of a soluble form of CD109 in serum of CD109 transgenic and tumor xenografted mice	PLoS ONE	9-1	e83385	2014
223	Katagiri W	歯科口腔外科	Novel cell-free regenerative medicine of bone using stem cell derived growth factors.	Int J Oral Maxillofac Implants	28-4	1009-1016	2013
224	Inukai T	歯科口腔外科	Novel application of stem cell-derived factors for periodontal regeneration.	Biochem Biophys Res Commum	430-2	763-768	2013
225	Shuhei Tsuchiya	歯科口腔外科	Rat bone marrow stromal cell-conditioned medium promotes early osseointegration of titanium implants	Journal of Oral and Maxillofacial implants	28-5	1360-1369	2013



226	Sumitaka Hagiwara	歯科口腔外科	Pathological analysis of Ki-67 and CD109 expression in tongue squamous cell carcinoma	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	25•3	276-281	2013
227	Riku Y	Neurology	Cutaneous arteritis associated with peripheral neuropathy: two case reports.	J Dermatol.	41(3)	266-7	2014
228	Riku Y	Neurology	Lower motor neuron involvement in TAR DNA-binding protein of 43 kDa-related frontotemporal lobar degeneration and amyotrophic lateral sclerosis.	JAMA Neurol.	71(2)	172-9	2014
229	Mano T	Neurology	Tongue pressure as a novel biomarker of spinal and bulbar muscular atrophy.	Neurology.	82(3)	255-62	2014
230	Honda D	Neurology	The ALS/FTLD-related RNA-binding proteins TDP-43 and FUS have common downstream RNA targets in cortical neurons.	FEBS Open Bio.	4	1-10	2013
231	Yokoi S	Neurology	Mononeuritis multiplex with tumefactive cellular infiltration in a patient with reactive lymphoid hyperplasia with increased immunoglobulin G4-positive cells.	Hum Pathol.	45(2)	427-30	2014
232	Okada A	Neurology	Slowly progressive folate-deficiency myelopathy: report of a case.	J Neurol Sci.	336(1-2)	273-5	2014
233	Hara K	Neurology	Potential of a new MRI for visualizing cerebellar involvement in progressive supranuclear palsy.	Parkinsonism Relat Disord.	20(2)	157-61	2014
234	Watanabe H	Neurology	Cortical and subcortical brain atrophy in Parkinson's disease with visual hallucination.	Mov Disord.	28(12)	1732-6	2013
235	Sone J	Neurology	Neuronal intranuclear inclusion disease cases with leukoencephalopathy diagnosed via skin biopsy.	J Neurol Neurosurg Psychiatry.	85(3)	354-6	2014
236	Nakamura R	Neurology	Neck weakness is a potent prognostic factor in sporadic amyotrophic lateral sclerosis patients.	J Neurol Neurosurg Psychiatry.	84(12)	1365-71	2013
237	Iguchi Y	Neurology	Loss of TDP-43 causes age-dependent progressive motor neuron degeneration.	Brain.	136(Pt5)	1371-82	2013
238	Ohyama K,	Neurology	Differential recovery in cardiac and vasomotor sympathetic functional markers in a patient with acute autonomic sensory and motor neuropathy.	Intern Med.	52(4)	497-502	2013
239	Kondo N	Neurology	Heat shock factor-1 influences pathological lesion distribution of polyglutamine-induced neurodegeneration.	Nat Commun.	4	1405	2013
240	Riku Y	Neurology	Extensive aggregation of $\alpha$ -synuclein and tau in juvenile-onset neuroaxonal dystrophy: an autopsied individual with a novel mutation in the PLA2G6 gene-splicing site.	Acta Neuropathol Commun.	1(1)	12	2013
241	Yokoi K	呼吸器外科	Surgical treatment of lung cancer with carcinomatous pleuritis	Nihon Geka Gakkai Zasshi.	114(4)	196-200	2013 Jul
242	Ishikawa Y	呼吸器外科	Imaging of a case of metaplastic thymoma on 18F-FDG PET/CT.	Clin Nucl Med	e463-4	38(12)	2013 Dec
243	Nakamura S	呼吸器外科	Prognostic impact of tumor size eliminating the ground glass opacity component: modified clinical T descriptors of the tumor, node, metastasis classification of lung cancer.	J Thorac Oncol.	8(12)	1551-7	2013 Dec
244	Ozeki N	呼吸器外科	Primary pulmonary solitary fibrous tumour with brain metastases.	Eur J Cardiothorac Surg.	45(2)	386-8	2014 Feb
245	Kawaguchi K	呼吸器外科	FDG PET/CT is useful for detecting infiltration to the port site in patients with malignant pleural mesothelioma.	Gen Thorac Cardiovasc Surg.	62(3)	157-62	2014 Mar

246	Fukui T	呼吸器外科	Spontaneous regression of thymic epithelial tumours.	Interact Cardiovasc Thorac Surg.	18(3)	399-401	2014 Mar
247	碓氷章彦	心臓外科	A Needle Stick Technique for Septal Myectomy for Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy	Ann Thorac Surg	95(2)	726-8	2013
248	徳田順之	心臓外科	Detection of thoracic aortic prosthetic graft infection with 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography	European Journal of Cardio-thoracic Surgery	43(6)	1183-7	2013
249	八神 啓	心臓外科	Prevention of arterial graft spasm in rats using a vasodilator-eluting biodegradable nano-scaled fibre	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery	17(1)	16-22	2013
250	岡田正穂	心臓外科	Long-term outcome of complete cardiovascular implantable electronic device removal with cardiopulmonary bypass	J Artif Organs	16(2)	164-9	2013
251	徳田順之	心臓外科	Outcome of pericardiectomy for constrictive pericarditis in Japan: a nationwide outcome study	Ann Thorac Surg	96(2)	571-6	2013
252	碓氷章彦	心臓外科	Surgical management of infected thoracic aneurysms	Nagoya Journal of Medical Sciences	75(3-4)	161-7	2013
253	阿部知伸	心臓外科	Right Heart Failure Secondary to Compression of the Right Pulmonary Artery by a Large Proximal Aortic Aneurysm	Circulation	128(14)	1588-1589	2013
254	佐藤義朗	総合周産期母子医療センター	Grafting of neural stem and progenitor cells to the hippocampus of young, irradiated mice causes gliosis and disrupts the granule cell layer.	Cell Death Dis.	4	e591	2013
255	佐藤義朗	総合周産期母子医療センター	The diameter of the inferior vena cava provides a noninvasive way of calculating central venous pressure in neonates.	Acta Paediatr.	102(6)	e241-6	2013
256	Sumigama S	総合周産期母子医療センター	Uterine sutures at prior caesarean section and placenta accreta in subsequent pregnancy: a case-control study	BJOG	121	866	2014
257	Mano Y	総合周産期母子医療センター	Maternal molecular hydrogen administration ameliorates rat fetal hippocampal damage caused by in utero ischemia-reperfusion	Free Radic Biol Med	69	324	2014
258	Iwase A	総合周産期母子医療センター	Possible involvement of CD10 in the development of endometriosis due to its inhibitory effects on CD44-dependent cell adhesion.	Reprod Sci	21	82	2014
259	Iwase A	総合周産期母子医療センター	Anti-Müllerian hormone as a marker of ovarian reserve in patients with ovarian malignancies who have undergone fertility-preserving surgery and chemotherapy.	Gynecol Endocrinol	29	357	2013
260	Iwase A	総合周産期母子医療センター	Anti-Müllerian hormone as a marker of ovarian reserve following chemotherapy in patients with gestational trophoblastic neoplasia.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol	167	194	2013
261	Iwase A	総合周産期母子医療センター	Successful surgical management of a septate uterus constricted with leiomyomas: hysteroscopic metroplasty using a Foley catheter.	Arch Gynecol Obstet	287	835	2013
262	安藤雄一	化学療法部	A Phase I dose-escalation study of buparlisib (BKM120), an oral pan-class I PI3K inhibitor, in Japanese patients with advanced solid tumors.	Cancer Sci	105(3)	347-53	2014

計

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- (注) 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- (注) 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

(注) 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(注) 5 平成二十六年中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名			
1	西田徹也	血液内科	Rapid detection of human cytomegalovirus UL97 and UL54 mutations for antiviral resistance in clinical specimens.	Microbiol Immunol.	57(5)	396-399	2013
2	村田誠	血液内科	A case-control study of bronchiolitis obliterans syndrome following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Transpl Int	26(6)	631-639	2013
3	石川裕一	血液内科	Randomized controlled trial comparing ciprofloxacin and cefepime in febrile neutropenic patients with hematological malignancies.	Int J Infect Dis	17(6)	e385-390	2013
4	村田誠	血液内科	Impact of hepatitis C virus infection on clinical outcome in recipients after allogeneic hematopoietic cell transplantation.	Am J Hematol.	88(6)	477-484	2013
5	村田誠	血液内科	Efficacy and Long-Term Outcome of Treatment for Pure Red Cell Aplasia following Allogeneic Stem Cell Transplantation from Major ABO-Incompatible Donors.	Biol Blood Marrow Transplant	19(7)	1026-1032	2013
6	村田誠	血液内科	Third-party derived-bone marrow mesenchymal stem cells for steroid-refractory acute graft-versus-host disease: a phase I/II study.	Int J Hematol	98(2)	206-213	2013
7	清井仁	血液内科	The demarcation between younger and older acute myeloid leukemia patients: A pooled analysis of 3 prospective studies	Cancer	119(18)	3326-3333	2013
8	清井仁	血液内科	Role of hematopoietic stem cell transplantation for relapsed acute promyelocytic leukemia: A retrospective analysis of JALSG-APL97.	Cancer Sci	104(10)	1339-1345	2013
9	富田章裕	血液内科	Epstein-Barr virus-positive cytotoxic T-cell lymphoma followed by chronic active Epstein-Barr virus infection-associated T/NK-cell lymphoproliferative disorder: a case report.	Hum Pathol	44(12)	2849-2852	2013
10	富田章裕	血液内科	De novo diffuse large B-cell lymphoma with a CD20 immunohistochemistry-positive and flow cytometry-negative phenotype: molecular mechanisms and correlation with rituximab sensitivity.	Cancer Sci	105(1)	35-43	2014
11	清井仁	血液内科	Expression of CD56 is an unfavorable prognostic factor for acute promyelocytic leukemia with higher initial white blood cell counts.	Cancer Sci.	105(1)	97-104	2014
12	西田徹也	血液内科	Correlations of programmed death 1 expression and serum IL-6 level with exhaustion of cytomegalovirus-specific T cells after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Cell Immunol.	288(1-2)	53-59	2014
13	村田誠	血液内科	Risk factors and organ involvement of chronic graft-versus-host disease in Japan.	Bone Marrow Transplant	49(2)	228-35	2014

14	清井仁	血液内科	Leukemic evolution of donor-derived cells harboring IDH2 and DNMT3A mutations after allogeneic stem cell transplantation.	Leukemia	28(2)	426-8	2014
15	鈴木伸明	血液内科	MYH9異常症の動物モデル	臨床血液	54巻/11号	2031-2037	2013
16	早川文彦	血液内科	デフェラシロクス投与後に急性赤芽球癆を発症した骨髄異形成症候群の2症例	臨床血液	55巻/4号	445-449	2014
17	Murohara T	循環器内科	Serum albumin levels predict clinical outcomes in chronic kidney disease (CKD) patients undergoing cardiac resynchronization therapy.	Intern Med.	53	6	2014
18	Murohara T.	循環器内科	Long-term clinical outcome after surgical or percutaneous coronary revascularization in hemodialysis patients.	Circ J.	78	4	2014
19	Murohara T	循環器内科	High HDL cholesterol level after treatment with pitavastatin is an important factor for regression in carotid intima-media thickness.	Heart Vessels.	[Epub ahead of print]	[Epub ahead of print]	2014
20	Murohara T	循環器内科	Recovery of flow-mediated vasodilatation after repetitive measurements is involved in early vascular impairment: comparison with indices of vascular tone.	PLoS One.	9	1	2014
21	Murohara T	循環器内科	Transcriptional regulation of an insulin-sensitizing adipokine adipolin/CTRP12 in adipocytes by Krü ppe1-like factor 15.	PLoS One.	8	12	2014
22	Murohara T	循環器内科	Mechanisms with clinical implications for atrial fibrillation-associated remodeling: cathepsin K expression, regulation, and therapeutic target and biomarker.	J Am Heart Assoc.	2	6	2013
23	Murohara T	循環器内科	Associations of proteinuria and the estimated glomerular filtration rate with incident hypertension in young to middle-aged Japanese males.	Prev Med.	60	48-54	2014
24	Murohara T	循環器内科	Adiponectin-mediated modulation of lymphatic vessel formation and lymphedema.	J Am Heart Assoc.	2	5	2013
25	Murohara T	循環器内科	Cystatin C as a predictor of mortality and cardiovascular morbidity after cardiac resynchronization therapy.	Circ J.	77	11	2013
26	Murohara T	循環器内科	Relationship of myocardial fibrosis to left ventricular and mitochondrial function in nonischemic dilated cardiomyopathy--a comparison of focal and interstitial fibrosis.	J Card Fail.	19	8	2013
27	Murohara T	循環器内科	Therapeutic reendothelialization by induced pluripotent stem cells after vascular injury--brief report.	Arterioscler Thromb Vasc Biol.	33	9	2013
28	Murohara T	循環器内科	Relation of omega-3 fatty acid and C-reactive protein to peripheral artery disease in patients with coronary artery disease.	Heart Vessels	29	4	2014
29	Murohara T	循環器内科	Glucagon-like peptide-1 receptor activation reverses cardiac remodeling via normalizing cardiac steatosis and oxidative stress in type 2 diabetes.	Am J Physiol Heart Circ Physiol.	305	3	2013
30	Murohara T	循環器内科	Increased (99m)Tc-sestamibi washout reflects impaired myocardial contractile and relaxation reserve during dobutamine stress due to mitochondrial dysfunction in dilated cardiomyopathy patients.	J Am Coll Cardiol	61	19	2013

31	Murohara T	循環器内科	Circulating cathepsin K as a potential novel biomarker of coronary artery disease.	Atherosclerosis.	228	1	2013
32	Murohara T	循環器内科	Association of inflammatory markers with the morphology and extent of coronary plaque as evaluated by 64-slice multidetector computed tomography in patients with stable coronary artery disease.	Int J Cardiovasc Imaging	29	5	2013
33	Murohara T	循環器内科	Accelerated decline in renal function after acute myocardial infarction in patients with high low-density lipoprotein-cholesterol to high-density lipoprotein-cholesterol ratio.	Heart Vessels	29	1	2014
34	Murohara T	循環器内科	Comparison of tissue characteristic between left main and non-left main coronary artery lesions--assessment using integrated backscatter intravascular ultrasound.	Int J Cardiol	167	2	2013
35	Murohara T	循環器内科	Sirolimus- vs. paclitaxel-eluting stent to coronary intervention in dialysis patients.	Int J Cardiol.	165	3	2013
36	石井秀樹	循環器内科	急性冠症候群 病態・診断・治療 III 1. 薬物治療 レジデント	CIRCULATION	2;6	73-81	2013
37	石井秀樹	循環器内科	急性心筋梗塞のステント治療の現状と予後	Medical Science Digest	39	18-19	2013
38	石井秀樹	循環器内科	FFRを臨床に活かす	Heart View	17	55-59	2013
39	石井秀樹	循環器内科	労作性狭心症における治療法の選択と最適の薬物治療(optical medical therapy)とは-COURAGE trialが教えること	Medical Practice	30	1296-1303	2013
40	石井秀樹	循環器内科	Remote conditionin	循環器内科	74	310-314	2013
41	松原宏紀 高下亨典	循環器内科	血栓症を伴う頸動脈痛 (Carotidynia) : 血管炎症と血栓に関わる考察	日本血栓止血学会誌25	2	95-98	2014
42	後藤秀実	消化器内科	Correlation between magnifying narrow-band imaging endoscopy results and organoid differentiation indicated by cancer cell differentiation and its distribution in depressed- type early gastric carcinoma.	Asian Pac J Cancer Prev.	14, 5	2765-2769	2013
43	後藤秀実	消化器内科	Prospective clinical study of endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy with direct metallic stent placement using a forward-viewing echoendoscope.	Endoscopy.	45, 5	392-396	2013
44	後藤秀実	消化器内科	Semi-automated virtual unfolded view generation method of stomach from CT volumes.	Med Image Comput Comput Assist Interv.	16	332-229	2013
45	後藤秀実	消化器内科	Various copper and iron overload patterns in the livers of patients with Wilson disease and idiopathic copper toxicosis.	Med Mol Morphol	46, 3	133-140	2013
46	後藤秀実	消化器内科	Combination therapy with single incision laparoscopic surgery and double-balloon endoscopy for small intestinal bleeding: report of three cases.	Surg Today	43, 9	1062-1065	2013
47	後藤秀実	消化器内科	An increase in lesion density can predict lower local recurrence after transarterial chemoembolization in patients with hepatocellular carcinoma.	Hepatogastroenterology.	60, 125	965-970	2013
48	後藤秀実	消化器内科	Dipeptidyl peptidase-4 inhibitor anagliptin facilitates restoration of dextran sulfate sodium-induced colitis.	Scand J Gastroenterol.	48, 10	1152-1159	2013
49	後藤秀実	消化器内科	Neoadjuvant oxaliplatin and capecitabine and bevacizumab without radiotherapy for poor-risk rectal cancer: N-SOG 03 Phase II trial.	Jpn J Clin Oncol.	43, 10	964-971	2013
50	後藤秀実	消化器内科	Clinical and radiological impact of liver transplantation for brain in cirrhosis patients without hepatic encephalopathy.	. Clin Neurol Neurosurg	115	2341-2347	2013

51	後藤秀実	消化器内科	Ursodeoxycholic acid inhibits overexpression of P-glycoprotein induced by doxorubicin in HepG2 cells.	Eur J Pharmacol.	724	161-167	2014
52	廣岡芳樹	光学医療診療部	-日本消化器病学会専門医カリキュラムの改訂を終えて- 消化器病専門医研修カリキュラム改訂：胆膵	日本消化器病学会雑誌	110(5)	820-824	2013
53	杉本啓之	消化器内科	膵・胆管合流異常に合併した胆嚢癌の1例	日本胆道学会雑誌	27(1)	P.135-138	2013
54	廣岡芳樹	光学医療診療部	膵癌超音波診断基準	超音波医学 Japanese Journal of Medical Ultrasonics	40(5)	P.511-518	2013
55	廣岡芳樹	光学医療診療部	透析腎癌の超音波鑑別診断	超音波医学 Japanese Journal of Medical Ultrasonics	40(6)	P.587-590	2013
56	廣岡芳樹	光学医療診療部	腎細胞癌と他の腎腫瘍性病変の鑑別	超音波医学 Japanese Journal of Medical Ultrasonics	40(6)	P.591-595	2013
57	廣岡芳樹	光学医療診療部	胎児静脈血流波形基準値 (2013)	超音波医学 Japanese Journal of Medical Ultrasonics	40(6)	P.597-600	2013
58	廣岡芳樹	光学医療診療部	成人心臓弁膜症の心エコー図診断 (案)	超音波医学 Japanese Journal of Medical Ultrasonics	40(6)	P.601-640	2013
59	葛谷貞二	消化器内科	進行肝細胞癌に対するソラフェニブ投与後2週間以内の発熱と造影CT上の阻血性変化との関係	肝臓	54	P.505-506	2013
60	葛谷貞二	消化器内科	穿刺治療支援アプリケーションVirtuTRA Xを用いた2ステップ法によるラジオ波焼灼術の試み	肝臓	54	P.850-853	2013
61	Ito S	呼吸器内科	Influence of cheek support on respiratory impedance measured by forced oscillation technique	Springer Plus	2	342	2013
62	Aso H	呼吸器内科	Predictors of the need to initiate noninvasive ventilation in stable outpatients with acute exacerbation of chronic obstructive pulmonary disease.	Intern Med	52	1781-1786	2013
63	Hasegawa Y.	呼吸器内科	Clinical Predictors of Response to EGFR Tyrosine Kinase Inhibitors in Patients with EGFR-Mutant Non-Small Cell Lung Cancer	Oncology	86	86-93	2014
64	Hasegawa Y.	呼吸器内科	Carboplatin dosing for adult Japanese patients	Nagoya Journal of Medical Science	76	1-9	2014
65	Sato M	呼吸器内科	NeuroD1 regulates survival and migration of neuroendocrine lung carcinomas via signaling molecules TrkB and NCAM.	Proc Natl Acad Sci U S A.	110	6524-6529	2013
66	Sato M	呼吸器内科	NeuroD1 regulation of migration accompanies the differential sensitivity of neuroendocrine carcinomas to TrkB inhibition.	Oncogenesis	2	e63	2013
67	Hasegawa Y	呼吸器内科	EGFR-TKI resistance due to BIM polymorphism can be circumvented in combination with HDAC inhibition.	Cancer Res	73	2428-2434	2013
68	長谷川好規	呼吸器内科	癌性胸膜炎	胸膜全書 胸膜疾患のグローバルスタンダード		227-232	2013
69	小林大介	呼吸器内科	結核の臨床症状	治療	95	1141-1144	2013
70	伊藤 理	呼吸器内科	機能検査 肺機能	臨床と研究	Jul-90	51-56	2013
71	十九浦宏明	呼吸器内科	頭皮原発血管肉腫による続発性気胸4例の検討	皮膚科の臨床	56	120-124	2014
72	近藤征史	呼吸器内科	肺癌の危険因子と臨床症状	コンセンサス癌治療	2月13日	62-63	2014
73	伊藤 理	呼吸器内科	開胸開腹術後の歩行獲得を長期化させる因子の検討	愛知県理学療法学会誌	1月26日	1	2014
74	佐藤光夫	呼吸器内科	遺伝子ZEB1による上皮細胞接着分子の発現と細胞増殖の制御	生体の科学	64	259-264	2013
75	進藤有一郎	呼吸器内科	医療・介護関連肺炎 (NHCAP)	別冊「医学のあゆみ」呼吸器疾患 state of arts Ver.6		190-193	2013

76	伊藤理	呼吸器内科	特集/咳と痰のサイエンス：気道平滑筋の病態と咳.	The LUNG perspectives	21(4)	338-342	2013
77	Iso Y, □	糖尿病・内分泌内科学	A marked difference in the vasopressin responsiveness between the adrenal glands in a patient with adrenocorticotropin-independent macronodular adrenal hyperplasia.	Int. Med.	52(10)	1073-78	2013
78	Iso Y, □	糖尿病・内分泌内科学	Urine output and resultant osmotic water shift are major determinants of plasma sodium level in syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion.	Transl Res	162(1)	56-63	2013
79	Iwama S	糖尿病・内分泌内科学	From Japan With Love: Another Tessera in the Hypophysitis Mosaic	J Clin Endocrinol Metab.	98(5)	1865-8. doi: 10.1210/jc.2013-1912	2013
80	Iso Y, □	糖尿病・内分泌内科学	Novel preprocedural and acute-phase postprocedural predictive factors for contrast-induced kidney injury in CKD patients	International Journal of Cardiology	172(2)	e293-6	2013
81	Iso Y, □	糖尿病・内分泌内科学	The role of S100B in the interaction between adipocytes and macrophage	Obesity	22(2)	371-79	2014
82	Iso Y, □	糖尿病・内分泌内科学	Deceptive HbA <sub>1c</sub> in a patient with pure red cell aplasia.	Lancet	382(9889)	366	2013
83	Chikazawa M	腎臓内科	Multi-specificity of IgM antibodies raised against advanced glycation end products: Involvement of electronegative potential of antigens.	J Biol Chem	288(19)	13204-14	2013
84	Matsuzaki K	腎臓内科	Nationwide survey on current treatments for IgA nephropathy in Japan.	Clin Exp Nephrol	17(6)	827-33	2013
85	Lanaspa MA	腎臓内科	Endogenous fructose production and metabolism in the liver contributes to the development of metabolic syndrome.	Nat Commun.	4	Epub	2013
86	Saito T	腎臓内科	Significance of combined cyclosporine-prednisolone therapy and cyclosporine blood concentration monitoring for idiopathic membranous nephropathy with steroid-resistant nephrotic syndrome: a randomized controlled multicenter trial.	Clin Exp Nephrol	Epub	Epub	2013
87	Nakagawa T	腎臓内科	Uncoupling of VEGF with endothelial NO as a potential mechanism for abnormal angiogenesis in the diabetic nephropathy.	J Diabetes Res	Epub	Epub	2013
88	Wada T	腎臓内科	A multicenter cross-sectional study of circulating soluble urokinase receptor in Japanese patients with glomerular disease.	Kidney Int	85(3)	641-8	2014
89	Kawamura T	腎臓内科	A multicenter randomized controlled trial of tonsillectomy combined with steroid pulse therapy in patients with immunoglobulin A nephropathy.	Nephrol Dial Transplant	29(8)	1546-53	2014
90	小杉智規	腎臓内科	腎におけるCD147/Basiginの役割	医学のあゆみ	24(6)	561-564	2013
91	丸山 彰一	腎臓内科	Clinical nephrology 糸球体障害 膜性腎症の責任抗原同定と抗体検出の現状と展望	Annual Review腎臓	2013巻	172-178	2013
92	丸山彰一	腎臓内科	慢性腎症とPLA2R1 抗体	腎と透析	76(1)	13-148	2014
93	丸山彰一	腎臓内科	オミックス技術を用いた新たなバイオマーカー探索	臨床化学	43(1)	1-87	2014
94	秋山真一	腎臓内科	慢性腎症の診断：抗ホスホリパーゼA2受容体抗体の新たな展開と臨床応用	臨床化学	43(1)	1-87	2014
95	松尾清一	腎臓内科	臨床医学の展望2014 腎臓病学 Nephrology	日本医事新報	No4688	20-24	2014
96	丸山彰一	腎臓内科	慢性腎症における自己抗体	日本腎臓学会誌	56(4)	457-546	2014
97	Yasuhiko Ito	腎不全総合治療学寄附講座	Low serum cultured adipose tissue-derived stromal cells ameliorate acute kidney injury in rats.	Cell Transplantation	22(2)	287-297	2013
98	Yasuhiko Ito	腎不全総合治療学寄附講座	TGF-β1 Promotes Lymphangiogenesis during Peritoneal Fibrosis	Journal of the American Society of Nephrology	Oct 24(10)	1627-1642	2013

99	Masashi Mizuno	腎不全総合治療学寄附講座	Anti-C5a complementary peptide ameliorates acute peritoneal injury induced by neutralization of Crry and CD59	Am J Physiol Renal Physiol	Dec 1 305(11)	1603-1616	2013
100	Yasuhiko Ito	腎不全総合治療学寄附講座	Anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis associated with infectious mononucleosis due to primary Epstein-Barr virus infection: report of three cases	Clinical Kidney Journal	Feb 2014 Vol. 7(1)	45-48	2013
101	伊藤恭彦	腎不全総合治療学寄附講座	Clostridium perfringensによるCAPD関連腹膜炎と悪性中皮腫の関連が示唆された1剖検例	日本透析医学会雑誌	46(9)	949-954	2013
102	Yokoyama Y	消化器外科一	Inflammation increases cells expressing ZSCAN4 and progenitor-cell markers in the adult pancreas.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol.	304	1103-1116	2013
103	上原圭介	消化器外科 I	局所高度進行直腸癌に対する化学療法b)放射線照射を併用しない術前化学療法	外科	75	269-275	2013
104	菅原 元	消化器外科 I	胆道外科におけるエビデンス	消化器外科	36	319-326	2013
105	平田明裕	消化器外科 I	胃癌術後S-1補助化学療法中の縦	癌と化学療法	40	519-522	2013
106	江畑智希	消化器外科 I	肝門部胆管癌の用語・分類・取扱い	外科	75	457-462	2013
107	菅原 元	消化器外科 I	術後胆汁ろうに対する対処	手術	67	1083-1089	2013
108	菅原 元	消化器外科 I	肝門部胆管癌に対する左右3区域切除（血管合併切除を含む）	手術	67	841-847	2013
109	板津慶太	消化器外科 I	創感染の予防と管理	消化器外科	36	1225-1233	2013
110	横山幸浩	消化器外科 I	インコウの肝庇護作用に関する基礎的・臨床的-特に大量肝切除前投与の有用性について-	日本外科学会雑誌	114	256-260	2013
111	椰野正人	消化器外科 I	外科専門医の概要	臨床外科	68	1150-1153	2013
112	菅原 元	消化器外科 I	胆道再建術後の肝内結石症	胆と膵	34	1167-1172	2013
113	菅原 元	消化器外科 I	肝門部胆管癌-術式選択からみた術前・術中診断の要点-	手術	67	1585-1591	2013
114	菅原 元	消化器外科 I	肝門部胆管癌と鑑別が困難であった肝門部良性胆管狭窄例の検討	胆と膵	35	263-268	2014
115	横山幸浩	消化器外科 I	高度外科侵襲手術における周術期シンバイオテックス投与の有用性	実験医学	32	762-767	2014
116	椰野正人	消化器外科 I	肝門部胆管癌	日本胆道学会雑誌	28	120-129	2014
117	Komori Kimihiro	血管外科	Current Venous Thromboembolism Management and Outcomes in Japan - Nationwide The Japan Venous Thromboembolism Treatment Registry Observational Study -	Circulation Journal	78・3	708-717	2014
118	Komori Kimihiro	血管外科	Possible involvement of notch signaling in the pathogenesis of Buerger's disease.	Surg Today	44・2	307-313	2014
119	小寺 泰弘	消化器外科	Phosphorylation of 4E-BP1 predicts sensitivity to everolimus in gastric cancer cells.	Cancer Letters	331(2)	436-438	2013
120	小寺 泰弘	消化器外科	Current diagnosis and treatment of gastric cancer: where East meets west.	Digestive Surgery	30(2)	91	2013
121	小寺 泰弘	消化器外科	Lapatinib sensitivities of two novel trastuzumab-resistant HER2 gene-amplified gastric cancer cell lines	Gastric Cancer	in press	in press	2013
122	小寺 泰弘	消化器外科	CPT-11 as a second-line treatment for patients with advanced/metastatic gastric cancer who failed S-1 (CCOG0702).	Cancer Chemotherapy and Pharmacology	72(3)	629-635	2013
123	小寺 泰弘	消化器外科	Establishment of new intraperitoneal paclitaxel-resistant gastric cancer cell lines and comprehensive gene expression analysis.	Anticancer Research	33(10)	4299-4307	2013
124	野本 周嗣	消化器外科	Identification of the collagen type 1 alpha 1 gene (COL1A1) as a candidate survival-related factor associated with hepatocellular carcinoma.	BMC Cancer	14(1)	108	2014
125	山田 豪	消化器外科	Overexpression of L1CAM is Associated with Tumor Progression and Prognosis via ERK Signaling in Gastric Cancer.	Annals of Surgical Oncology	21(2)	560-568	2014



126	小寺 泰弘	消化器外科	Development and external validation of a nomogram for overall survival after curative resection in serosa-negative, locally advanced gastric cancer.	Annals of Oncology	in press	in press	2014
127	藤原 道隆	消化器外科	腹腔鏡手術スキルに関するaugmented reality シミュレータ訓練の有用性の検討—virtual reality シミュレータ訓練との比較—	VR医学	11(1)	7-12	2013
128	大西康晴	移植外科	Impact of recipient age and preoperative fasting blood glucose level as the risk factors of living donor liver transplantation in cirrhotic patients in the recent comprehensive era with knowledge of indications: Recent status in a Japanese single center.	Hepatology Research	43(11)	1148-1155	Nov.2013
129	大西康晴	移植外科	Immunogenicity of inactivated seasonal influenza vaccine in adult and pediatric liver transplant recipients over two seasons	Microbiology and Immunology.	57(10)	715-722	2013
130	小倉靖弘	移植外科	Living donor liver transplantation for Budd-Chiari syndrome with hepatic inferior vena cava obstruction after open pericardial procedures.	Surg Today	43(10)	1180-4	2013
131	小倉靖弘	移植外科	Impact of sarcopenia on survival in patients undergoing living donor liver transplantation.	Am J Transplant	13(6)	1549-56	2013
132	小倉靖弘	移植外科	How do transplant surgeons accomplish optimal portal venous flow during living-donor liver transplantation? Noninvasive measurement of indocyanine green elimination rate.	Surg Innov	21(1)	43-51	2013
133	小倉靖弘	移植外科	Plasma cell hepatitis induced by the termination of antiviral therapy for recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation.	Hepatol Res	Epub	Epub	2013
134	小倉靖弘	移植外科	Impact of preoperative uncontrollable hepatic hydrothorax and massive ascites in adult liver transplantation.	Surg Today	Epub	Epub	2014
135	小倉靖弘	移植外科	6歳未満小児脳死ドナーからの全肝移植の経験	日本外科学会雑誌	114(6)	340-344	2013
136	石黒直樹	整形外科	Safety and effectiveness of 6 months' etanercept monotherapy and combination therapy in Japanese patients with rheumatoid arthritis: effect of concomitant disease-modifying antirheumatic drugs.	J Rheumatol.	40(10)	1658-68	2013
137	長谷川幸治	下肢関節再建学寄附講座	Preventing age-related cognitive decline of healthy elderly people : A preliminary report on exchanging letters method.	Journal Human Enviromental Studies	11	43-50	2013
138	小嶋俊久	整形外科	A Fatal Case of Relapsing Pneumonia Caused by Legionella pneumophila in a Patient with Rheumatoid Arthritis After Two Injections of Adalimumab.	Clin Med Insights Case Rep.	6	101-106	2013
139	小嶋俊久	整形外科	Relationship between pre-radiographic cartilage damage following anterior cruciate ligament injury and biomarkers of cartilage turnover in clinical practice: a cross-sectional observational study.	Osteoarthritis Cartilage.	21(6)	831-838	2013
140	小嶋俊久	整形外科	Twenty-four-week clinical results of adalimumab therapy in Japanese patients with rheumatoid arthritis: retrospective analysis for the best use of adalimumab in daily practice.	Mod Rheumatol.	23(3)	466-477	2013
141	小嶋俊久	整形外科	No increased mortality in patients with rheumatoid arthritis treated with biologics: results from the biologics register of six rheumatology institutes in Japan.	Mod Rheumatol.	23(5)	945-952	2013
142	松下雅樹	整形外科	Clinically applicable antianginal agents suppress osteoblastic transformation of myogenic cells and heterotopic ossification in mice.	J Bone Miner Metab	31(1)	26-33	2013

143	三島健一	整形外科	Biodistribution of locally or systemically transplanted osteoblast-like cells.	Bone Joint Res	3(3)	76-81	2013
144	今釜史郎	整形外科	Ablation of keratan sulfate accelerates early phase pathogenesis of ALS.	PLoS One	8	e66969	2013
145	今釜史郎	整形外科	The correlation between cervical range of motion and misplacement of cervical pedicle screws during cervical posterior spinal fixation surgery using a CT-based navigation system.	Eur Spine J	22	1504-1508	2013
146	今釜史郎	整形外科	The influence of locomotive syndrome on health-related quality of life in a community-living population.	Mod Rheumatol	23	939-944	2013
147	今釜史郎	整形外科	Surgical treatment for chronic atlantoaxial rotatory fixation in children.	J Pediatr Orthop B	22	404-408	2013
148	今釜史郎	整形外科	Impact of low back pain, knee pain, and timed up-and-go test on quality of life in community-living people.	J Orthop Sci	19	164-171	2014
149	飛田哲朗	整形外科	Use of alfacalcidol in osteoporotic patients with low muscle mass might increase muscle mass: an investigation using a patient database.	Geriatr Gerontol Int	1	122-128	2014
150	今釜史郎	整形外科	Epidural hematoma associated with spinal fracture in diffuse idiopathic skeletal hyperostosis.	Turk Neurosurg	24	98-101	2014
151	西田 佳弘	整形外科	【外来で見逃さない軟部腫瘍】 軟部腫瘍診療におけるMRI検査の意義	関節外科	32巻6号	637-643	2013
152	西田 佳弘	整形外科	良性腫瘍に対する最新の治療戦略 色素性絨毛結節性滑膜炎 (PVNS)	臨床整形外科	49巻3号	243-247	2014
153	小嶋 俊久	整形外科	妊娠中に軽快しないT2T時代の関節リウマチ患者の検討	中部リウマチ	43(1)	1-4	2013
154	竹本 東希	整形外科	関節リウマチにおける超音波検査と理学所見の比較	中部リウマチ	43(1)	5-7	2013
155	浅井 信之	整形外科	RAに対するトシリズマブの有効性における生物学的製剤治療歴による影響 多施設研究グループ登録症例からの検討	中部リウマチ	43(1)	8-11	2013
156	小嶋 俊久	整形外科	関節リウマチ患者は薬物治療の変化をどのように感じているか フォーカスグループによる質的研究	中部リウマチ	43(1)	17-20	2013
157	舟橋康治	整形外科	関節リウマチ患者の疾患活動性と日常生活動作の季節性	中部リウマチ	43(1)	21-13	2013
158	小嶋 俊久	整形外科	結核発症リスクをもつ関節リウマチ(RA)に対するトシリズマブの使用経験について	中部リウマチ	43(1)	34-36	2013
159	舟橋康治	整形外科	関節リウマチに対してAdalimumab投与開始後Methotrexateの増量により寛解に至った2例	中部リウマチ	43(1)	49-51	2013
160	小嶋 俊久	整形外科	アダリムマブ効果減弱対策として静注ステロイド併用投与の効果 3症例の検討	中部リウマチ	43(1)	52-55	2013
161	渡部 達生	整形外科	当院関節リウマチ患者における身体機能評価	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57(2)	393-394	2014
162	関泰輔	整形外科	股関節疾患患者に対する疼痛評価の医師患者間比較 “股関節痛なし” は本当か?	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57巻1号	39-40	2014
163	関泰輔	整形外科	THA周術期 自己血貯血を行った両側一期的人工股関節置換術患者のヘモグロビン値の変化と同種血使用率	日本人工関節学会誌	43巻	537-538	2013
164	関泰輔	整形外科	関節裂隙狭小化と関連するQOL尺度 JH E Qを用いた変形性股関節症患者の検討	Hip Joint	39巻	394-397	2013
165	竹上靖彦	整形外科	両側同時人工股関節全置換術後の可動域変化	Hip Joint	39巻	249-251	2013
166	中島宏彰	整形外科	片開き式と両開き式頸椎椎弓形成術の比較検討	関節外科	32	546-553	2013
167	伊藤全哉	整形外科	手術的治療の進歩 脊椎固定術と姿勢の制御後方経路腰椎椎体間固定術(PLIF)における骨移植 PLIFにおける椎体間移植骨の体積変化	別冊整形外科	63	222-227	2013

168	伊藤全哉	整形外科	腰椎疾患に対する診断・評価の進歩 疼痛の評価と病態の検討 プロスタグランジンE1製剤の効果からみた腰部脊柱管狭窄症における腰痛性間欠跛行	別冊整形外科	63	60-66	2013
169	今釜史郎	整形外科	骨粗鬆症に伴う脊柱アライメント変化と中高齢者のQOL	Osteoporosis Japan	22	115-116	2014
170	村本明生	整形外科	中高齢者の肥満と腰痛の関連	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	56	1127-1128	2013
171	中島宏彰	整形外科	50歳以上の成人側彎症における近位隣接椎間後彎障害(PJK) 術後5年以上経過観察例からの検討	Journal of Spine Research	4	1697-1702	2013
172	八木秀樹	整形外科	特発性脊髄ヘルニアに対する手術治療 画像所見からみた予後予測	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	56	1301-1302	2013
173	松本明之	整形外科	80歳以上の高齢者脊椎横断性骨折に対し脊椎固定術を施行した3例	東海脊椎外科	27	56-60	2013
174	酒井 忠博	整形外科	膝軟部肉腫広範切除術後に膝蓋腱および外側支持機構の再建を行った1例	JOSKAS	38・2	336-337	2013
175	高松 晃	整形外科	前上方腱板断裂に対する治療戦略 鏡視下腱板修復術における上腕二頭筋長頭腱(LHB)に対する処置方法の比較	JOSKAS	38・4	126	2013
176	土谷 早穂	整形外科	術中所見で1重束ACL再建とした症例と2重束ACL再建症例との大腿骨顆部形状の比較	JOSKAS	38・4	136	2013
177	高松 晃	整形外科	前十字靭帯(ACL)二重束再建術における大腿骨骨孔位置が膝前方制動性に及ぼす影響	JOSKAS	38・4	175	2013
178	平岩 秀樹	整形外科	後十字靭帯二重束再建術における脛骨骨孔作成の指標についての検討	JOSKAS	38・4	352	2013
179	酒井 忠博	整形外科	Biceptorによる関節鏡下上腕二頭筋腱固定術	JOSKAS	38・4	414	2013
180	平岩 秀樹	整形外科	当院における膝蓋骨脱臼に対するRoux-Goldthwait変法の治療成績	JOSKAS	38・4	563	2013
181	平岩 秀樹	整形外科	膝屈曲位グラビティ撮影を用いたCR型TKA術後患者に対するPCL機能評価	JOSKAS	38.3	688-693	2013
182	平岩 秀樹	整形外科	当院における膝離断性骨軟骨炎の治療方針および成績	日本関節病学会誌	32・2	137-143	2013
183	高松 晃	整形外科	Wntシグナル経路の制御を介した変形性関節症に対する新たな治療薬の検索	日本整形外科学会雑誌	87・8	S1324	2013
184	小田 智之	整形外科	変形性関節症由来軟骨細胞の再分化能についての検討	日本整形外科学会雑誌	87・8	S1326	2013
185	山下 暁士	整形外科	ラット肩腱板損傷部より拡大する腱組織軟骨化生に関する検討	日本整形外科学会雑誌	87・8	S1341	2013
186	平岩 秀樹	整形外科	1型胸骨柄脱臼に対し保存的に治療した体操選手の1例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	33・4	377	2013
187	小田 智之	整形外科	成長期サッカー選手に対するメディカルチェック 筋タイトネスの変化に着目して	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	33・4	437	2013
188	酒井 忠博	整形外科	膝半月、軟骨損傷の治療と復帰 多血小板血漿ゲル(PRP-gel)を担体とした自家軟骨細胞移植術	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	33・4	469	2013
189	高松 晃	整形外科	腱板断裂の諸問題 腱板断裂に伴う上腕二頭筋長頭腱損傷に対する治療成績	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	56	31	2013
190	小田 智之	整形外科	ACL/MPFL同時再建術を施行した1例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	56	81	2013
191	平岩 秀樹	整形外科	脛骨近位骨端線早期閉鎖による反張膝に対し高位脛骨骨切り術(Open Wedge HTO)で治療した1例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	56	82	2013
192	山下 暁士	整形外科	膝蓋骨ケーラー病と診断された1例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	56	83	2013
193	平岩 秀樹	整形外科	異常可動性外側半月に対し半月板縫合術をおこなった2例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	56	84	2013
194	濱田 恭	整形外科	ポリオ麻痺後の左外反反張膝と右変形性股関節症の合併例に対してTKAとTHAを一期的に施行した1例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	56	198	2013
195	宮本健太郎	整形外科	ロッキングプレート術後の骨片再転位に対して再固定を行った上腕骨近位端骨折の1例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	56	215	2013
196	土谷 早穂	整形外科	上腕骨髄内釘挿入部に生じた腱板断裂に対して関節鏡視下腱板修復術を施行した1例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	56	216	2013
197	山下 暁士	整形外科	レボフロキサシン投与後に発生したアキレス腱障害の二例	日本整形外科スポーツ医学会雑誌	56	218	2013

198	平岩 秀樹	整形外科	空気造影CT検査による前下方関節唇病変描出困難例の検討	肩関節	37・2	561-563	2013
199	高松 晃	整形外科	肩甲下筋腱損傷に対する徒手検査の診断精度	肩関節	37・2	795-798	2013
200	宮本健太郎	整形外科	<小児整形外科疾患診断・治療の進歩>小児の色索性絨毛結節性滑膜炎の診断と治療	別冊整形外科	64	207	2013
201	酒井 忠博	整形外科	関節鏡視下Bankart修復術後成績に影響を与える因子の統計学的検討	肩関節	37・3	1035-1038	2013
202	小田 智之	整形外科	変形性関節症由来軟骨細胞の再分化能についての検討	日本関節病学会誌	32・3	303	2013
203	平岩 秀樹	整形外科	変形性膝関節症の保存治療におけるトラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合剤の使用経験	日本関節病学会誌	32・3	378	2013
204	平岩 秀樹	整形外科	DVT 人工膝関節置換術後のエノキサパリン使用による大腿・下腿周径の変化	日本人工関節学会誌	43	181	2013
205	濱田 恭	整形外科	TKA成績 当科における外反膝に対する人工膝関節置換術後の短期成績	日本人工関節学会誌	43	277-278	2013
206	石塚 真哉	整形外科	Hypoxia inducible factor(HIF)-2 $\alpha$	整形外科	65・1	68	2014
207	小田 智之	整形外科	ACL/MPFL同時再建術を施行した1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57・1	87-88	2014
208	平岩 秀樹	整形外科	異常可動性外側半月に対し半月板縫合術を行った2例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57・1	95-96	2014
209	平田 仁	手の外科	【整形外科関連疾患での慢性の痛み】手の変形性関節症	ペインクリニック	34 別冊春号	S196-S204	2013
210	山本美知郎	手の外科	【手の外科-最新の話題-】(Part2)臨床治療 デュピイトレン拘縮に対するコラゲナーゼ注射治療	Bone Joint Nerve	3・2	S229-S232	2013
211	中野 智則	手の外科	上肢慢性疼痛に対するトラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠の使用経験(原著論文)	日本手外科学会雑誌	30・3	392-395	2013
212	夏目 唯弘	手の外科	【糖尿病性神経障害臨床のピットフォール-糖尿病および関連領域専門医それぞれの立場から-】運動障害を示す糖尿病患者をどうみるか 整形外科医の立場から(解説/特集)	月刊糖尿病	5・7	73-81	2013
213	原 龍哉	手の外科	ちよっとのぞいてみよう!整形外科の手術(第25回) その他 手根管開放術(解説)	整形外科看護	19・4	430-435	2014
214	大西 哲朗	手の外科	高齢者に対するHand20とその基準値(原著論文)	日本手外科学会雑誌	30・4	598-601	2014
215	夏目 唯弘	手の外科	【糖尿病の神経学revisited】糖尿病と整形外科の神経疾患(総説/特集)	BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	66・2	149-158	2014
216	三竹 辰徳, 中尾 悦宏, 中村 蓼吾, 倉橋 俊和, 篠原 孝明, 平田 仁	手の外科	橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート間の治療成績比較	日本手外科学会雑誌	29・6	695-699	2013
217	近藤 高弘, 牧野 仁美, 篠原 孝明, 平田 仁, 鈴木 正孝	手の外科	橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定における初期転位と治療成績の検討	日本手外科学会雑誌	29・6	712-714	2013
218	丹羽 智史, 篠原 孝明, 平田 仁, 田中 健司, 浦田 士郎	手の外科	橈骨遠位端骨折掌側ロッキングプレート固定における関節外骨折と関節内骨折の治療成績の比較(原著論文)	日本手外科学会雑誌	30・2	45-47	2013
219	澤田 英良, 篠原 孝明, 平田 仁	手の外科	橈骨遠位端骨折に合併した尺骨茎状突起骨折に対する内固定の治療効果の検討(原著論文)	日本手外科学会雑誌	30・2	30-33	2013
220	植村 剛, 辻井 雅也, 國分 直樹, 飯田 竜, 平田 仁, 須藤 啓広	手の外科	MRIを用いた尺骨動脈と有鉤骨鉤の解剖学的検討(原著論文)	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	56・6	1371-1372	2013
221	原 龍哉, 平田 仁	手の外科	ちよっとのぞいてみよう!整形外科の手術(第25回) その他 手根管開放術(解説)	整形外科看護	19・4	430-435	2014
222	Kajiyama H	産婦人科	Met is the most frequently amplified gene in endometriosis-associated ovarian clear cell adenocarcinoma and correlates with worsened prognosis.	PLoS One.	8(3)	e57724.	2013

223	Kajiyama H	産婦人科	Epigenetic analysis leads to identification of HNF1B as a subtype-specific susceptibility gene for ovarian cancer.	Nat Commun.	4	1628	2013
224	Goto M	産婦人科	A proteomic analysis of human follicular fluid: comparison between fertilized oocytes and nonfertilized oocytes in the same patient.	J Assist Reprod Genet	30(9)	1231-1238	2013
225	Kotani T	産婦人科	Possible Involvement of CD10 in the Development of Endometriosis Due to Its Inhibitory Effects on CD44-Dependent Cell Adhesion.	Reprod Sci	21(1)	82-88	2014
226	Goto M	産婦人科	Anti-Mullerian hormone as a marker of ovarian reserve following chemotherapy in patients with gestational trophoblastic neoplasia.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol	167(2)	194-198	2013
227	Goto M	産婦人科	One-year follow-up of serum antimullerian hormone levels in patients with cystectomy: are different sequential changes due to different mechanisms causing damage to the ovarian reserve?	Fertil Steril	100	516-522	2013
228	Kotani T	産婦人科	Increased expression of sphingosine kinase in the amnion during labor.	Placenta.	34(4)	353-359	2013
229	Kotani T	産婦人科	Uterine sutures at prior caesarean section and placenta accreta in subsequent pregnancy: a case-control study.	BJOG	121(7)	866-74	2014
230	Shibata K	産婦人科	B7-H4 overexpression correlates with a poor prognosis for cervical cancer patients.	Mol Clin Oncol.	2(2)	219-225	2014
231	Kajiyama H	産婦人科	Unexpected Ovarian Malignancy Found after Laparoscopic Surgery in Patients with Adnexal Masses -A Single Institutional Experience-.	Nagoya J. Med. Sci.	76	83-90	2014
232	吉川史隆	産婦人科	絨毛性疾患の治療と妊孕性	日本産科婦人科学会雑誌	65(8)	1700-1706	2013
233	吉川史隆	産婦人科	【進行癌(III/IV期)の初回治療】 STATE of the Art in ovarian cancer management 卵巣癌腹膜播種に対する治療戦略	Progress in Ovarian Cancer Management	1(1)	33-37	2013
234	牛田貴文	産婦人科	集学的治療を行った頸管妊娠および帝王切開癒痕部妊娠の6症例	東海産科婦人科雑誌	50	117-124	2014
235	水野美香	産婦人科	AGC 症例の病理組織学的検討と転帰	東海産科婦人科雑誌	50	239-243	2014
236	Terasaki Hiroko	眼科	Regeneration of optic nerve fibers with unoprostone, a prostaglandin-related antiglaucoma drug, in adult cats.	Jpn J Ophthalmol.	58(1)	100-109	2014
237	Terasaki Hiroko	眼科	Association of systemic characteristics and histological variations in a case study of adult-onset asthma and periocular xanthogranuloma.	J Clin Pathol.	67(1)	92-94	2014
238	Ueno Shinji	眼科	Focalcone ERGs of rhodopsin Pro347Leu transgenic rabbits.	Vision Res.	91	118-123	2013
239	Kachi Shu	眼科	Age-dependent alteration of intraocular soluble heparan sulfate levels and its implications for proliferative diabetic retinopathy.	Mol Vis.	19	1125-1131	2013
240	Ito Yasuki	眼科	Bilateral central retinal artery occlusion and vein occlusion complicated by severe choroidopathy in systemic lupus erythematosus.	Lupus.	22(7)	733-735	2013
241	伊藤逸毅	眼科	鉄片が眼内に飛入したまま1年経過した症例の網膜機能と形態	眼科臨床紀要	6(4)	269-273	2013
242	伊藤逸毅	眼科	近視性脈絡膜新生血管に対するベバシズマブ硝子体内投与の2年経過	臨床眼科	67(9)	1577-1583	2013
243	加地秀	眼科	キノロン体制コリネバクテリウムによる白内障術後眼内炎の1例 Endophthalmitis following cataract surgery caused by quinoloneresistant corynebacterium	眼科臨床紀要	6(11)	898-902	2013
244	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Replication in a Japanese population that a MIR30E gene variation is associated with schizophrenia.	Schizophr Res	150	596-97	2013

245	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Total palliative care for a patient with multiple cerebral infarctions that occurred repeatedly in association with gastric cancer (Trousseau's syndrome).	Palliat Support Care	11 (2)	169-72	2013
246	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Effectiveness of low-dose milnacipran for a patient suffering from pain disorder with delusional disorder (somatic type) in the orofacial region.	Psychogeriatrics	13 (2)	99-102	2013
247	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	DPP6 as a candidate gene for neuroleptic-induced tardive dyskinesia.	Pharmacogenomics J	13 (1)	27-34	2013
248	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	A Population-Specific Uncommon Variant in GRIN3A Associated with Schizophrenia.	Biol Psychiatry	73 (6)	532-9	2013
249	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Common variants in bcl9 gene and schizophrenia in a Japanese population: Association study, meta-analysis and cognitive function analysis.	J Med Biochem	32 (4)	351-357	2013
250	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Genome-wide association study of schizophrenia using microsatellite markers in the Japanese population.	Psychiatr Genet	23 (3)	117-123	2013
251	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Functional Analysis of Deep Intronic SNP rs13438494 in Intron 24 of PCL0 Gene.	PLoS One	8 (10)	e76960	2013
252	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Effects of repeated dosing with mirtazapine, trazodone, or placebo on driving performance and cognitive function in healthy volunteers.	Hum Psychopharmacol	28 (3)	281-6	2013
253	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Adolescent stress-induced epigenetic control of dopaminergic neurons via glucocorticoids.	Science	339 (6117)	335-9	2013
254	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Poor sleep quality impairs cognitive performance in older adults.	J Sleep Res	22 (5)	535-41	2013
255	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Effects of Minocycline on Changes in Brain Tryptophan Metabolism and the Behavior of Juvenile Mice Elicited By Inescapable-Predator Stress.	J Trauma Stress Disor Treat	2 (3)	1000107	2013
256	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Assessment of Response to Lithium Maintenance Treatment in Bipolar Disorder: A Consortium on Lithium Genetics (ConLiGen) Report.	PLoS One	8 (6)	e65636	2013
257	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Genetic Variants on 3q21 and in the Sp8 Transcription Factor Gene (SP8) as Susceptibility Loci for Psychotic Disorders: A Genetic Association Study.	PLoS One	8 (8)	e70964	2013
258	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Effects of sedative antidepressants on prefrontal cortex activity during verbal fluency task in healthy subjects: a near-infrared spectroscopy study.	Psychopharmacology (Berl)	226 (1)	75-81	2013
259	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Necessity of normative data on the Japanese version of the Wechsler Memory Scale-Revised Logical Memory subtest for old-old people.	Geriatr Gerontol Int	13 (3)	726-30	2013
260	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Aripiprazole augmentation to antidepressant therapy in Japanese patients with major depressive disorder: A randomized, double-blind, placebo-controlled study (ADMIRE study).	J Affect Disord	151 (3)	899-905	2013
261	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Effects of low-dose mirtazapine on driving performance in healthy volunteers.	Hum Psychopharmacol	28 (5)	523-8	2013
262	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Evidence for shared genetic risk between methamphetamine-induced psychosis and schizophrenia.	Neuropsychopharmacology	38 (10)	1864-70	2013
263	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Genetic evidence for association between NOTCH4 and schizophrenia supported by a GWAS follow-up study in a Japanese population.	Mol Psychiatry	18 (6)	636-638	2013
264	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Genome-wide association study of cognitive decline in schizophrenia.	Am J Psychiatry	170 (6)	683-4	2013
265	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	An association analysis of the cardiomyopathy-associated 5 (CMYA5) gene with schizophrenia in a Japanese population.	Psychiatr Genet	23 (4)	179-180	2013

266	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Further evidence of an association between a genetic variant in BMP7 and treatment response to SSRIs in major depressive disorder.	J Hum Genet	58 (8)	568-9	2013
267	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Lack of association of EGR2 variants with bipolar disorder in Japanese population.	Gene	526 (2)	246-50	2013
268	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Maternal overprotection score of the Parental Bonding Instrument predicts the outcome of cognitive behavior therapy by trainees for depression.	Psychiatry Clin Neurosci	67 (5)	340-4	2013
269	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Definition and refinement of the 7q36.3 duplication region associated with schizophrenia.	Sci Rep	3	2587	2013
270	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療科	Analysis of the VAV3 as Candidate Gene for Schizophrenia: Evidences From Voxel-Based Morphometry and Mutation Screening.	Schizophr Bull	39 (3)	720-8	2013
271	飯高哲也	精神科	Functional connectivity between amygdala and facial regions involved in recognition of facial threat	Social Cognitive and Affective Neuroscience	8 (2)	181-189	2013
272	岡田俊	親と子どもの心療科	What time periods of the day are concerning for parents of children with attention deficit hyperactivity disorder?	PLoS One	8(11)	e79806	2013
273	藤城弘樹	精神科	Dementia with Lewy bodies: early diagnostic challenges.	Psychogeriatrics	13(2)	128-138	2013
274	藤城弘樹	精神科	Effectiveness of ramelteon for visual hallucinations in dementia with Lewy bodies: four cases report of 4 cases.	J Clin Psychopharmacol	33(4)	581-583	2013
275	藤城弘樹	精神科	Lymphopenia helps early diagnosis of systemic lupus erythematosus for patients with psychosis as an initial symptom.	Psychosomatics	3182	136-139	2013
276	藤城弘樹	精神科	Diversity of pathological features other than Lewy bodies in familial Parkinson's disease due to SNCA mutations.	Am J Neurodegener Dis	2(4)	266-275	2013
277	藤城弘樹	精神科	Primary visual metabolism and REM sleep behavior disorder in dementia with Lewy bodies.	Psychiatry Clin Neurosci	68(2)	137-144	2013
278	藤城弘樹	精神科	Three presenile patients in which neuropsychological and neuroimaging examinations suggest possible progression to dementia with Lewy bodies.	Psychogeriatrics	14(1)	72-80	2013
279	宇野洋太	親と子どもの心療科	Quantitative autistic traits ascertained in a national survey of 22,529 Japanese schoolchildren	Acta Psychiatrica Scandinavica	128 (1)	45-53	2013
280	Kojima S, Doisaki S, Hama A, Muramatsu H	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Congenital dyserythropoietic anemia type 1 with a novel mutation in the CDAN1 gene previously diagnosed as congenital hemolytic anemia	Int J Hematol	97(5)	650-3	2013
281	小島勢二	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Long-term outcome of childhood aplastic anemia patients who underwent allogeneic hematopoietic SCT from an HLA-matched sibling donor in Japan.	Bone Marrow Transplant	48(5)	657-660	2013
282	小島勢二、濱麻人、村松秀城	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Wiskott-Aldrich syndrome presenting with a clinical picture mimicking juvenile myelomonocytic leukaemia	Pediatr Blood Cancer	60(5)	836-41	2013
283	小島勢二、高橋義行、濱麻人、村松秀城	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Lack of CD4(+)CD25(+)FOXP3(+) regulatory T cells is associated with resistance to intravenous immunoglobulin therapy in patients with Kawasaki disease	Eur J Pediatr	172(6)	833-7	2013
284	小島勢二	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Mutations in the C-terminal domain of ColQ in endplate acetylcholinesterase deficiency compromise ColQ-MuSK interaction	じよ	34(7)	997-1004	2013
285	小島勢二	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Bilateral stenosis of carotid siphon in Hutchinson-Gilford progeria syndrome	Brain Dev	35(7)	690-3	2013
286	小島勢二、村松秀城	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Somatic SETBP1 mutations in myeloid malignancies	Nat Genet	45(8)	942-6	2013

287	小島勢二、村松秀城	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	B-cell function after unrelated umbilical cord blood transplantation using a minimal-intensity conditioning regimen in patients with X-SCID	Int J Hematol	98(3)	355-60	2013
288	小島勢二、村松秀城	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Paroxysmal cold hemoglobinuria caused by an IgM-class Donath-Landsteiner antibody	Pediatr Int	55(5)	664-6	2013
289	小島勢二	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Variant ALDH2 is associated with accelerated progression of bone marrow failure in Japanese Fanconi anemia patients	Blood	122(18)	3206-9	2013
290	小島勢二、濱麻人、村松秀城	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	The landscape of somatic mutations in Down syndrome-related myeloid disorders	Nat Genet	45(11)	1293-9	2013
291	Natsume J, Takahashi Y, Kojima S	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	A novel WTX mutation in a female patient with osteopathia striata with cranial sclerosis and hepatoblastoma.	Am J Med Genet A.	164A(4)	998-1002	2014
292	Natsume J	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Characteristics of epilepsy occurring in the first four months.	Brain Dev.	36(9)	752-7	2014
293	Natsume J	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	A new electroencephalogram classification with reduced recording time in asphyxiated term infants.	Brain Dev.	36(5)	372-9.	2014
294	Natsume J, Kojima S, Ohno K	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Mutations in the C-Terminal Domain of ColQ in Endplate Acetylcholinesterase Deficiency Compromise ColQ-MuSK Interaction.	Hum Mutat.	34(7):	997-1004.	2013
295	Natsume J	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Epileptic seizures induced by dexmedetomidine in a neonate.	Brain Dev.	35(4):	360-2.	2013
296	Kimura, H. Kawada, J. Ito, Y.	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Epstein Barr-viruses-associated lymphoid malignancies: the expanding spectrum of hematopoietic neoplasms	Nagoya Journal of Medical Science	75(3-4)	169-179	2013
297	Ito Y, Kawada J	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Hyperferritinemia in Neonatal and Infantile Human Parechovirus-3 Infection in Comparison with Other Infectious Diseases.	Journal of infection and chemotherapy	20(1)	15-9	2014
298	高橋義行、奥野友介、村松秀城、濱麻人、加藤太一、小島勢二	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	Lack of CD4(+)CD25 (+)FOXP3 (+) regulatory T cells is associated with resistance to intravenous immunoglobulin therapy in patients with Kawasaki disease.	Eur J Pediatr.	172(6)	833-837	2013
299	濱麻人	総合医学専攻 発育・加齢医学講座 (小児科学)	抗胸腺グロブリンによるin vivo T細胞除去同種造血幹細胞移植を受けた小児におけるEBウイルス感染症に対するリツキシマブを用いた先制治療 (Preemptive Therapy with Rituximab for Epstein-Barr Virus Infection in Children Who Have Received in vivo T Cell-Depleted Allogeneic Stem Cell Transplantation with Antithymocyte Globulin)	日本小児血液・がん学会雑誌	50(1)	26-31	2013
300	早川昌弘	総合周産期母子医療センター 新生児部門	先天性横隔膜ヘルニア診療の施設間差異とそれぞれの質向上を目指して 新生児横隔膜ヘルニア全国調査からみた治療方針の収束化と施設間差異	日本周産期・新生児医学会雑誌	49	149-52	2013
301	藤巻英彦, 早川昌弘	総合周産期母子医療センター 新生児部門	成熟児のasphyxiaとcerebral palsy その疫学と治療/予後 低酸素性虚血性脳症の神経学的予後予測における慢性期MRIと経時的脳波所見の有用性について	周産期学シンポジウム	31	87-91	2013
302	佐藤義朗, 早川昌弘	総合周産期母子医療センター 新生児部門	成熟児のasphyxiaとcerebral palsy その疫学と治療/予後 出生前・出生時は軽微な異常だが、遅発性・進行性の症状を呈する周産期脳障害	周産期学シンポジウム	31	83-86	2013



303	早川昌弘	総合周産期母子医療センター 新生児部門	周産期学シンポジウム アンケート調査報告 本邦における新生児低酸素性虚血性脳症の現状と病態に関する研究	周産期学シンポジウム	31号	23-27	2013
304	伊藤美春, 早川昌弘	総合周産期母子医療センター 新生児部門	【産科とのカンファランスで生かせる! 疾患別 胎児管理の基礎知識と最新トピックス】 先天性横隔膜ヘルニア	Neonatal Care	26(11)	1117-1123	2013
305	Kono M	皮膚科	Clinicopathologic analysis of 66 Japanese thin melanomas with metastasis of sentinel or regional lymph node.	J Cutan Pathol	40(12)	1027-1034	2013
306	Akiyama M	皮膚科	Intractable erythematous plaques on the hands: palmoplantar eosinophilic pustular folliculitis.	Int J Dermatol	52(10)	1274-1275	2013
307	Matsumoto T	皮膚科	Metastatic skin lesions of multiple myeloma presenting as two extraordinarily large subcutaneous tumors.	Int J Dermatol	52(12)	1568-1570	2013
308	Sugiura K	皮膚科	Sporadic VACTERL association in a Japanese family with Sjögren-Larsson syndrome.	Acta Dermato-Venereol	93(5)	579-580	2013
309	Akiyama M	皮膚科	A novel keratin 5 mutation in an African family with epidermolysis bullosa simplex indicates the importance of the amino acid located at the boundary site between the H1 and coil 1A domains.	Acta Dermato-Venereol	93(5)	585-587	2013
310	Sugiura K	皮膚科	Novel ABCA12 missense mutation p.Phe2144Ser underlies congenital ichthyosiform erythroderma.	J Dermatol	40(7)	581-582	2013
311	Sugiura K	皮膚科	Possible roles of barrier-to-autointegration factor 1 in regulation of keratinocyte differentiation and proliferation.	J Dermatol Sci	71(2)	100-6	2013
312	Akiyama M	皮膚科	Impaired epidermal permeability barrier in mice lacking the Elovl1 gene responsible for very long-chain fatty acid production.	Mol Cell Biol	33(14)	2787-2796	2013
313	Akiyama M	皮膚科	Aberrant distribution patterns of corneodesmosomal components of tape-stripped corneocytes in atopic dermatitis and related skin conditions (ichthyosis vulgaris, Netherton syndrome and peeling skin syndrome type B).	J Dermatol Sci	72(1)	54-60	2013
314	Yokota K	皮膚科	Benefit of skin ultrasound examination in determining the area of inguinal lymph node dissection.	J Dermatol	40(9)	765-766	2013
315	Sugiura K	皮膚科	The novel CTSC homozygous nonsense mutation p.Lys106X in a patient with Papillon-Lefèvre syndrome with all permanent teeth remaining at over 40 years of age.	Br J Dermatol	169(4)	948-50	2013
316	Muro Y	皮膚科	Extraordinarily long linear cutaneous lupus erythematosus along the lines of blaschko.	Dermatol Online J	19(7)	18960	2013
317	Muro Y	皮膚科	Pulmonary mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma in Sjögren's syndrome without interstitial pneumonia.	Int J Rheum Dis	16(6)	780-2	2013
318	Matsumoto T	皮膚科	Therapy-related myelodysplastic syndrome after alkylating agents and platinum-based therapy for malignant melanoma.	J Dermatol	41(2)	178-179	2014
319	Akiyama M	皮膚科	Sweet's syndrome presenting with vegetative nodules on the hands: relationship to neutrophilic dermatosis of the dorsal hands.	Int J Dermatol	53(1)	e46-8	2014
320	Yokota K	皮膚科	Extraordinarily large, giant spider angioma in an alcoholic cirrhotic patient.	Int J Dermatol	53(2)	e119-21	2014
321	Muro Y	皮膚科	Establishment of an ELISA to detect anti-glycyl-tRNA synthetase antibody (anti-EJ), a serological marker of dermatomyositis/polymyositis and interstitial lung disease.	Clin Chim Acta	431C	9-14	2014

322	Sugiura K	皮膚科	UVB-irradiated keratinocytes induce melanoma-associated ganglioside GD3 synthase gene in melanocytes via secretion of tumor necrosis factor $\alpha$ and interleukin 6.	Biochem Biophys Res	445(2)	504-10	2014
323	Kono M	皮膚科	Spindle cell angiosarcoma almost exclusively made up of spindle cells.	Eur J Dermatol.	24(1)	106-7	2014
324	杉浦一充	皮膚科	劇症肝炎を合併した組織球性壊死性リンパ節炎の1例	皮膚科の臨床	55(8)	1027-1031	2013
325	秋山真志	皮膚科	【角化症・炎症性角化症】 高齢発症のDarier病の1例	皮膚科の臨床	55(9)	1087-1090	2013
326	秋山真志	皮膚科	Rheumatoid Neutrophilic Dermatitisの1例	西日本皮膚科	75(3)	208-210	2013
327	横田憲二	皮膚科	大腸癌術後フォローCTにて発見された腹部脂肪織内非医原性伏針の1例	皮膚科の臨床	56(1)	102-105	2014
328	杉浦一充	皮膚科	フェニトインとラモトリギンの2剤で薬疹を生じた1例	皮膚科の臨床	56(3)	409-412	2014
329	長谷川佳恵	皮膚科	臀部粉瘤より発生した有棘細胞癌の1例	Skin Cancer	28(3)	292-296	2014
330	M. Gotoh	Urology	Randomized controlled trial of pelvic floor muscle training with or without biofeedback for urinary incontinence	Int.Urogynecol J.	24	1347-1354	2013
331	Y. Funahashi	Urology	Gene therapy for lower urinary tract dysfunction	Int.J.Urol.	20(1)	56-63	2013
332	寺西正明	耳鼻咽喉科	Endolymphatic hydrops revealed by magnetic resonance imaging in patients with acute low-tone sensorineural hearing loss	Otol Neurotol	34(7)	1241-1246	2013
333	曾根三千彦	耳鼻咽喉科	Visualization of endolymphatic hydrops in Meniere's disease after intravenous administration of single-dose gadodiamide at 1.5T	Magn Reson Med Sci	12(2)	137-139	2013
334	曾根三千彦	耳鼻咽喉科	Three-dimensional visualization of endolymphatic hydrops after intravenous administration of single-dose gadodiamide	Magn Reson Med Sci	12(2)	147-151	2013
335	曾根三千彦	耳鼻咽喉科	Estimation of perilymph enhancement after intratympanic administration of Gd-DTPA by fast T1-mapping with a dual flip angle 3D spoiled gradient echo sequence	Magn Reson Med Sci	12(3)	223-228	2013
336	吉田忠雄	耳鼻咽喉科	Semi-quantification of endolymphatic size on MR imaging after intravenous injection of single-dose gadodiamide	Magn Reson Med Sci	12(4)	261-269	2013
337	曾根三千彦	耳鼻咽喉科	Establishing normal diameter range of the cochlear and facial nerves with 3D-CISS at 3T	Magn Reson Med Sci	12(4)	241-247	2013
338	寺西正明	耳鼻咽喉科	Contributing factors to hearing of diabetic patients in an in-hospital education program	Acta Otolaryngol	133(11)	1165-1172	2013
339	寺西正明	耳鼻咽喉科	Association between polymorphisms in genes encoding methylenetetrahydrofolate reductase and the risk of Meniere's disease	J Neurogenet	27(1-2)	5-10	2013
340	曾根三千彦	耳鼻咽喉科	Imaging of Meniere's disease after intravenous administration of single-dose gadodiamide	Magn Reson Med Sci	12(1)	63-68	2013
341	大竹宏直	耳鼻咽喉科	Comparison of oxygen desaturation patterns in children and adults with sleep-disordered breathing	Am J Otolaryngol	34(7)	537-540	2013
342	寺西正明	耳鼻咽喉科	Magnetic resonance imaging of the inner ear after both intratympanic and intravenous gadolinium injections	Acta Otolaryngol	133(5)	434-438	2013
343	中島務	耳鼻咽喉科	Three-dimensional fluid-attenuated inversion recovery magnetic resonance imaging findings in a patient with relapsing polychondritis	J Laryngol Otol	128(2)	192-194	2014
344	藤本保志	耳鼻咽喉科	術後嚥下機能の評価と機能温存の工夫	耳鼻と臨床	59(Supple)	85-95	2013
345	加藤健	耳鼻咽喉科	難聴を合併したMPO-ANCA関連血管炎患者の3D-FLAIR MR画像評価	日本耳鼻咽喉科学会会報	116(11)	1192-1199	2013

346	丸尾貴志	耳鼻咽喉科	舌全摘後の喉頭挙上術における甲状腺弁による死腔充填	嚥下医学	3(1)	61-66	2014
347	吉田忠雄	耳鼻咽喉科	一側性メニエール病におけるMRIによる両側内リンパ腔サイズの評価	Equilibrium Research	72(4)	247-253	2013
348	長縄慎二	放射線科/放射線部	Supplemental value of diffusion-weighted whole-body imaging with background body signal suppression (DWIBS) technique to whole-body magnetic resonance imaging in detection of bone metastases from thyroid.	J Med Imaging Radiat Oncol.	57(3)	297-305	2013
349	長縄慎二	放射線科/放射線部	Magnetic resonance imaging of the inner ear after both intratympanic and intravenous gadolinium injections.	Acta Otolaryngol.	133(5)	434-438	2013
350	長縄慎二	放射線科/放射線部	Establishing Normal Diameter Range of the Cochlear and Facial Nerves with 3D-CISS at 3T.	Magn Reson Med Sci.	12(4)	241-247	2013
351	長縄慎二	放射線科/放射線部	Relationship of Myocardial Fibrosis to Left Ventricular and Mitochondrial Function in Nonischemic Dilated Cardiomyopathy-A Comparison of Focal and Interstitial Fibrosis.	J Card Fail.	19(8)	557-564	2013
352	長縄慎二	放射線科/放射線部	Endolymphatic hydrops revealed by magnetic resonance imaging in patients with acute low-tone sensorineural hearing loss.	Otol Neurotol.	34(7)	1241-1246	2013
353	長縄慎二	放射線科/放射線部	Cortical and subcortical brain atrophy in Parkinson's disease with visual hallucination.	Mov Disord.	28(12)	1732-1736	2013
354	長縄慎二	放射線科/放射線部	Evaluation of vascular activity in otosclerosis by laser Doppler flowmetry: comparison with computed tomographic densitometry.	Otol Neurotol.	34(9)	1559-1563	2013
355	長縄慎二	放射線科/放射線部	Endolymphatic hydrops in patients with tinnitus as the major symptom.	Eur Arch Otorhinolaryngol.	270(12)	3043-3048	2013
356	岡田 徹	放射線科/放射線部	Evaluation of the dose variation for prostate heavy charged particle therapy using four-dimensional computed tomography.	Journal of Radiation Research.	54(2)	357-366	2013
357	加藤克彦	放射線科/放射線部	Development of an ultrahigh resolution Si-PM based PET system for small animals.	Phys Med Biol.	58(21)	7875-7888	2013
358	加藤克彦	放射線科/放射線部	A new automated assessment method for contrast-detail images by applying support vector machine and its robustness to nonlinear image processing.	Australas Phys Eng Sci Med.	36(3)	313-322	2013
359	長縄慎二	放射線科/放射線部	Doubling time calculations for lung cancer by three-dimensional computer-aided volumetry: Effects of inter-observer differences and nodule characteristics.	J Med Imaging Radiat Oncol.	58(1)	82-88	2014
360	長縄慎二	放射線科/放射線部	A Phase I Study of Concurrent Chemoradiotherapy Using Oral S-1 for Head and Neck Cancer.	Anticancer Res.	34	209-213	2014
361	長縄慎二	放射線科/放射線部	Cutting-edge MRI techniques for studying neurological diseases focusing on spinocerebellar degeneration.	臨床神経学	53(11)	1087-1090	2013
362	長縄慎二	放射線科/放射線部	高磁場MRの拡散への応用：磁場強度と拡散	これでわかる拡散MRI	-	58-61	2013
363	長縄慎二	放射線科/放射線部	びまん性軸索損傷患者における拡散テンソルtractography	これでわかる拡散MRI	-	404-405	2013
364	長縄慎二	放射線科/放射線部	拡散強調画像 Readout segmented EPI (RESOLVE)	MRI 応用自在	-	128-129	2013
365	長縄慎二	放射線科/放射線部	Hydrography MR cisternography, MR myelography	MRI 応用自在	-	252-255	2013
366	岩野信吾	放射線科/放射線部	新たなCADの呼吸器疾患への臨床応用	INNERVISION	28(10)	43-45	2013
367	佐竹弘子	放射線科/放射線部	乳癌一広がり診断一	画像診断	33(9)	1044-1051	2013
368	佐竹弘子	放射線科/放射線部	second look US一切除範囲決定の実際一	臨床画像	29(11)	1292-1300	2013

369	加茂前 健	放射線科/放射線部	頭頸部IMRTにおけるdeformable image registration softwareを用いた自動輪郭抽出の臨床的評価	日本放射線技術学会誌	69(11)	1250-1260	2013
370	加茂前 健	放射線科/放射線部	放射線治療計画の線量検証法概説と実践	広島県放射線治療技術研究会会誌2013	-	294-256	2013
371	岩野信吾	放射線科/放射線部	FDG-PET/CTで陰性所見を示した肺腫瘍性病変の検討	臨床放射線	59(1)	154-164	2014
372	川井 恒	放射線科/放射線部	Diffusion kurtosis imaging (DKI:拡散尖度画像)における脳腫瘍の評価	脳とこころの研究センター 脳疾患克服に向けた次世代創薬開発のためのコホート・コンソーシアム型研究拠点形成 平成25年度活動報告書	-	32	2014
373	Wakabayashi T	脳神経外科	Use of high-field intraoperative magnetic resonance imaging during endoscopictranssphenoidal surgery for functioning pituitary microadenomas and small adenomas located in the intrasellar region	Neurol Med Chir (Tokyo)	53	501-510	2013
374	Hara M	脳神経外科	Posterior fixation for Atlantoaxial Subluxation in a Case with complex anomaly of Persistent First intersegmental artery and assimilation in the c1 vertebra	Neurol Med Chir (Tokyo)	53	882-886	2013
375	Wakabayashi T	脳神経外科	Stem Cells from Human Exfoliated Deciduous Teeth-derived Conditioned Medium Enhances Recovery of Focal Cerebral Ischemia in Rats	Tissue Eng	19	24-29	2013
376	Wakabayashi T	脳神経外科	Randomized trial of chemoradiotherapy and adjuvant chemotherapy with nimustine (ACNU) versus nimustine plus procarbazine for newly diagnosed anaplastic astrocytoma and glioblastoma (JCOG0305).	Cancer Chemother Pharmacol	71	511-521	2013
377	Wakabayashi T	脳神経外科	Injectable bone tissue engineering using expanded mesenchymal stem cells	Stem Cells	31	572-580	2013
378	Wakabayashi T	脳神経外科	Clinical geatures of patients bearing central nervous system hemangioblastoma in von Hippel-Lindau disease.	Acta Neurochir(Wien)	155	1~7	2013
379	Kajita Y	脳神経外科	Anatomical annotation on vascular structure in volume rendered images	Computerized Medical Imaging and Graphics	37	131-134	2013
380	Hara M	脳神経外科	Transvertebral anterior cervical foraminotomy:midterm outcomes of clinical and radiological assessments including the finite element method	Eur Spine J	22	2884-2890	2013
381	Natsume A	脳神経外科	Chromatin regulator PRC2 is a key regulator of epigenetic plasticity in glioblastoma	Cancer Research	73	4559-4570	2013
382	Natsume A	脳神経外科	Peptide-based inhibition of the HOXA9/PBX interaction retards the growth of human meningioma	Cancer Chemother Pharmacol	73	53-60	2014
383	Motomura K	脳神経外科	Association of dorsal inferior frontooccipital fasciculus fibers in the deep parietal lobe with both reading and writing processes,a brain mapping study	J Neurosurg	121	142-148	2014
384	Wakabayashi T	脳神経外科	Quantitative metabolome analysis profiles activation of glutaminolysis in glioma with IDHI mutation	Tumor Biol	35	5911-5920	2014
385	Wakabayashi T	脳神経外科	Preclinical evaluation of an O <sup>6</sup> -methylguanine-DNA methyltransferase-siRNA/liposome Complex administered by convection-enhanced delivery to rat and porcine brains	Am J Transl Res.	6	169-178	2014
386	Wakabayashi T	脳神経外科	Adipsia increases risk of death in patients with central diabetes insipidus	Endocr J	61	143-148	2014
387	Wakabayashi T	脳神経外科	Clinical use of (11)C-methionine and (18)F-FDG-PET for germinoma in central nervous system	Ann Nucl Med	28	94-102	2014
388	Ausman JI	脳神経外科	How to refute inaccurate media and government reports on medicine: what can one doctor do?	Neurol Med Chir (Tokyo)	54	429-434	2014

389	Miyachi S	脳神経外科	The 'one and a half round microcatheterization technique' for stent-assisted coil embolization of intracranial aneurysm: technical case series	J Neurointerv Surg	6	357-362	2014
390	Wakabayashi T	脳神経外科	Lack of presence of the human cytomegalovirus in human glioblastoma	Mod Pathol	27	922-929	2014
391	Momota H	脳神経外科	Papillary glioneuronal tumor with a high proliferative component and minigemistocytes in a child	Neuropathology	Epub ahead of print	Epub ahead of print	2014
392	Natsume A	脳神経外科	Anaplastic meningioma with rapid growth after omental flap transposition; a case report and experimental study	Brain Tumor Pathol	Epub ahead of print	Epub ahead of print	2014
393	若林俊彦	脳神経外科	グリオーマの治療・放射線治療、化学療法	クリニシアン	61	275-282	2014
394	若林俊彦	脳神経外科	最新がん薬物療法学：脳腫瘍	日本臨床	72	317-323	2014
395	中坪大輔	脳神経外科	neuromate robotによる定位的脳深部刺激術：従来法と比較した定位精度の検証	機能的脳神経外科	52	155-160	2013
396	梶田泰一	脳神経外科	パーキンソン病に対する定位的脳深部刺激術後薬物療法の解析	機能的脳神経外科	52	130-134	2013
397	藤井正純	脳神経外科	運動野近傍グリオーマに対する術中MRI支援画像誘導手術	脳神経外科	41	1047-1063	2013
398	永谷哲也	脳神経外科	経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘出に有用な微小解剖	Jpn J Neurosurg (Tokyo)	22	362-369	2013
399	梶田泰一	脳神経外科	ナビゲーション脳神経外科手術の現状と展望	Jpn J Neurosurg (Tokyo)	22	510-518	2013
400	原 政人	脳神経外科	最終的に後方椎体間固定術を要した外側型腰椎椎間板ヘルニアの一例	脳神経外科	41	629-636	2013
401	夏目敦至	脳神経外科	2歳未満で発症した頭蓋内嚢胞の長期治療成績	Nervous system in children	37	437-446	2013
402	若林俊彦	脳神経外科	グリオーマに対する薬物療法の現状と展望	癌と化学療法	40	1283-1287	2013
403	若林俊彦	脳神経外科	術中MRIの現況と同装置の機能的要件	新医療	466	84-87	2013
404	梶田泰一	脳神経外科	脳卒中後疼痛に対する経口トラマドール塩酸塩／アセトアミノフェン配合錠（トラムセットR）の有効性	脳神経外科	41	679-684	2013
405	夏目敦至	脳神経外科	脳腫瘍のゲノム解析に基づく新戦略	先端医療シリーズ：臨床医のための最新脳神経外科	45	82-85	2014
406	宮地 茂	脳神経外科	液体塞栓物質を用いた脳動静脈奇形塞栓術	先端医療シリーズ：臨床医のための最新脳神経外科	45	132-135	2014
407	林雄一郎	脳神経外科	軟性内視鏡におけるナビゲーションシステム	先端医療シリーズ：臨床医のための最新脳神経外科	45	147-150	2014
408	中坪大輔	脳神経外科	ロボット技術支援定位脳手術	先端医療シリーズ：臨床医のための最新脳神経外科	45	158-161	2014
409	梶田泰一	脳神経外科	次世代3眼式内視鏡・ロボット支援手術の開発	先端医療シリーズ：臨床医のための最新脳神経外科	45	144-146	2014
410	本村和也	脳神経外科	脳梁部・視床部・視床下部・基底核部の腫瘍	日本臨床：神経症候群	28	506-510	2014
411	百田洋之	脳神経外科	頭蓋骨腫瘍	日本臨床：神経症候群	28	522-527	2014
412	夏目敦至	脳神経外科	神経繊維腫症2型	日本臨床：神経症候群	28	561-565	2014
413	Koike H	Neurology	Clinicopathological features of neuropathy associated with lymphoma.	Brain.	136(Pt8)	2563-78	2013
414	Katsuno M	Neurology	RNP2 of RNA recognition motif 1 plays a central role in the aberrant modification of TDP-43.	PLoS One.	8(6)	e66966	2013
415	Sobue G	Neurology	Mutations in COQ2 in familial and sporadic multiple-system atrophy.	N Engl J Med.	369(3)	233-44	2013
416	Katsuno M	Neurology	p62/SQSTM1 differentially removes the toxic mutant androgen receptor via autophagy and inclusion formation in a spinal and bulbar muscular atrophy mouse model.	J Neurosci.	33(18)	7710-27	2013

417	Katsuno M	Neurology	Genistein, a natural product derived from soybeans, ameliorates polyglutamine-mediated motor neuron disease.	J Neurochem.	126(1)	122-30	2013
418	Atsuta N	Neurology	Evaluation of SLC20A2 mutations that cause idiopathic basal ganglia calcification in Japan.	Neurology.	82(8)	705-12	2014
419	Katsuno M	Neurology	Distinct acoustic features in spinal and bulbar muscular atrophy patients with laryngospasm.	J Neurol Sci.	337(1-2)	193-200	2014
420	Sobue G	Neurology	Clinical features in Guillain-Barré syndrome with anti-Gal-C antibody.	J Neurol Sci.	337(1-2)	55-60	2014
421	Katsuno M	Neurology	Transcriptional activation of TFEB/ZKSCAN3 target genes underlies enhanced autophagy in spinobulbar muscular atrophy.	Hum Mol Genet.	23(5)	1276-86	2014
422	Atsuta N	Neurology	ERBB4 mutations that disrupt the neuregulin-ErbB4 pathway cause amyotrophic lateral sclerosis type 19.	Am J Hum Genet.	93(5)	900-5	2013
423	祖父江 元	神経内科	CIDPの診断と治療	末梢神経	24巻2号	273-6	2013
424	祖父江 元	神経内科	新しい治療ガイドライン CIDPの新しい診療ガイドライン	末梢神経	24巻2号	244-50	2013
425	小池春樹	神経内科	GBS/CIDPをめぐる最新の話題 Autoimmune autonomic ganglionopathyとacute autonomic and sensory neuropathy	臨床神経学	53巻11号	1326-9	2013
426	渡邊宏久	神経内科	神経疾患におけるMR撮像法の最先端 神経疾患におけるMR撮像法の最先端 脊髄小脳変性症を中心に	臨床神経学	53巻11号	1087-90	2013
427	勝野雅央	神経内科	運動ニューロン疾患の遺伝学 Update Dynactin 1の機能低下と運動ニューロン変性	臨床神経学	53巻11号	1084-6	2013
428	中村友彦	神経内科	血圧と自律神経障害 神経疾患の起立性低血圧	自律神経	50巻3号	179-82	2013
429	井口洋平	神経内科	運動ニューロン疾患の治療の進歩	神経治療学	30巻4号	416-9	2013
430	橋本里奈	神経内科	Crow-Fukase症候群の臨床病理	末梢神経	24巻1号	71-79	2013
431	小池春樹	神経内科	急性自律性感覚性ニューロパチー	末梢神経	24巻1号	14-22	2013
432	渡邊宏久	神経内科	Parkinson病における下肢不随意運動	脊椎脊髄ジャーナル	26巻7号	747-51	2013
433	Yokoi K	呼吸器外科	Pulmonary metastasectomy for osteogenic and soft tissue sarcoma: who really benefits from surgical treatment?	Eur J Cardiothorac Surg	43(4)	795-9	2013
434	Yokoi K	呼吸器外科	A feasibility study of induction pemetrexed plus cisplatin followed by pleurectomy/decortication aimed at macroscopic complete resection for malignant pleural mesothelioma.	Jpn J Clin Oncol.	43(5)	575-8	2013
435	Yokoi K	呼吸器外科	Japanese Joint Committee of Lung Cancer Registry. Visceral pleural invasion classification in non-small-cell lung cancer in the 7th edition of the tumor, node, metastasis classification for lung cancer: validation analysis based on a large-scale nationwide database.	J Thorac Oncol	8(5)	606-11	2013
436	Yokoi K	呼吸器外科	Comparison of three measurements on computed tomography for the prediction of less invasiveness in patients with clinical stage I non-small cell lung cancer.	Ann Thorac Surg.	95(6)	1878-84	2013
437	Yokoi K	呼吸器外科	Japanese Joint Committee of Lung Cancer Registry. Results of T4 surgical cases in the Japanese Lung Cancer Registry Study: should mediastinal fat tissue invasion really be included in the T4 category?	J Thorac Oncol	8(6)	759-65	2013

438	Yokoi K	呼吸器外科	Japanese Joint Committee of Lung Cancer Registry. Differences in the prognosis of resected lung adenocarcinoma according to the histological subtype: a retrospective analysis of Japanese lung cancer registry data.	Eur J Cardiothorac Surg	45(1)	100-7	2014
439	Yokoi K,	呼吸器外科	Clinical impact of prevalence and severity of COPD on the decision-making process for therapeutic management of lung cancer patients.	BMC Pulm Med	5	14	2014
440	Yokoi K	呼吸器外科	Complications of bronchial stapling in thoracic surgery.	World J Surg	38(2)	341-6	2014
441	Yokoi K	呼吸器外科	Clinicopathological characteristics and surgical results of lung cancer patients aged up to 50 years	the Japanese Lung Cancer Registry Study 2004. Lung Cancer	83(2)	246-51	2014
442	宇佐美 範恭	呼吸器外科学	呼吸器外科領域における心臓血管外科との協同手術(原著論文)	日本呼吸器外科学会雑誌	27巻4号	410-416	2013
443	川口晃司	呼吸器外科学	気管支・肺動脈管状切除を伴う左肺上葉切除の術中に発生した空人塞栓の1例 重篤合併症からの警鐘(原著論文/症例報告)	日本呼吸器外科学会雑誌	27巻4号	472-476	2013
444	横井香平	呼吸器外科学	【進行肺癌に対する拡大手術-最近の動向-】 癌性胸膜炎に対する外科治療(解説/特集)	日本外科学会雑誌	114巻4号	196-200	2013
445	中村彰太	呼吸器外科学	縦隔炎と腸腰筋膿瘍を同時に発症した1例(原著論文/症例報告)	日本呼吸器外科学会雑誌	27巻6号	707-711	2013
446	碓氷章彦	心臓外科	Surgery for coincidental infected distal arch and abdominal aortic aneurysms	Eur J Cardiothorac Surg	44(6)	1143-1145	2013
447	碓氷章彦	心臓外科	Intravenous administration of mesenchymal stem cells prevents angiotensin II-induced aortic aneurysm formation in apolipoprotein E-deficient mouse	Journal of Translational Medicine	11	175	2013
448	碓氷章彦	心臓外科	Sympathetic innervation induced in engrafted engineered cardiomyocyte sheets by glial cell line derived neurotrophic factor in vivo.	Biomed Res Int.	Epub ahead of print	Epub ahead of print	2013
449	碓氷章彦	心臓外科	A comparative study of two types of sternal pins used for sternal closure: poly-L-lactide sternal pins versus uncalcined hydroxyapatite poly-L-lactide sternal pins.	J Artif Organs.	16(4)	458-63	2013
450	碓氷章彦	心臓外科	Aortic valve replacement in a patient with myasthenia gravis and radiation-induced aortic valve disease.	Ann Thorac Surg.	96(2)	e55	2013
451	碓氷章彦	心臓外科	Effects of tricuspid valve surgery on tricuspid regurgitation in patients with hypoplastic left heart syndrome: a non-randomized series comparing surgical and non-surgical cases.	Eur J Cardiothorac Surg.	46(1)	8-13	2014
452	碓氷章彦	心臓外科	Long-term outcome of the carpentier-edwards pericardial valve in the aortic position in Japanese patients.	Circ J.	78(4)	882-9	2014
453	碓氷章彦	心臓外科	大動脈弁置換術後遠隔期における上行置換術: 討論 1	胸部外科	66(7)	526-528	2013
454	荒木善盛	心臓外科	特集: 弓部大動脈瘤—こだわりの術式と遠隔期成績 広範囲弓部大動脈瘤に対する外科治療の変遷	胸部外科	66(11)	960-964	2013
455	碓氷章彦	心臓外科	Pathogenesis of paravalvular leakage as a complication occurring in the late phase after surgery(第50回日本人工臓器学会大会 論文賞(循環領域)受賞レポート)	人工臓器	42(1)	22-24	2013

456	藤本和朗	心臓外科	はたらきものの心臓にトラブルが起きたら？ ⑨心筋症	ハートナーシング	26(4)	43-46	2013
457	六鹿雅登	心臓外科	はたらきものの心臓にトラブルが起きたら？ ⑩心不全	ハートナーシング	26(4)	47-50	2013
458	岡田正穂	心臓外科	術後に発生しやすい合併症 5 アシドーシス	ハートナーシング	26(6)	593-594	2013
459	岡田正穂	心臓外科	術後に発生しやすい合併症 6 電解質異常	ハートナーシング	26(6)	594	2013
460	岡田正穂	心臓外科	術後に発生しやすい合併症 7 腎不全	ハートナーシング	26(6)	595	2013
461	碓氷章彦	心臓外科	術後に発生しやすい合併症 8. 血糖異常, 9. 出血	ハートナーシング	26(6)	51-53	2013
462	碓氷章彦	心臓外科	Open HEART パラダイムシフト	心臓	46(6)	673	2014
463	碓氷章彦	心臓外科	冠状動脈バイパス術後の心臓再手術方法：討 論 1	胸部外科	67(6)	438-439	2014
464	碓氷章彦	心臓外科	VI. 大動脈外科における人工心肺の Knack&Pitfalls 3. 逆行性脳灌流法	心臓外科Knack&Pitfalls 大動脈外科の要点と盲点 第2版	-	119-122	2013
465	碓氷章彦	心臓外科	IX. 大動脈外科手術のKnack&Pitfalls/ ii. 部位別手術 (手術の概要と成績) / 3. 弓部大動脈の手術 b. 逆行性脳灌流法	心臓外科Knack&Pitfalls 大動脈外科の要点と盲点 第2版	-	230-234	2013
466	碓氷章彦	心臓外科	IX. 大動脈外科手術のKnack&Pitfalls/ iii. 疾患別手術/ 5. 感染性大動脈疾患 b. 人工 血管	心臓外科Knack&Pitfalls 大動脈外科の要点と盲点 第2版	-	307-311	2013
467	大島英揮	心臓外科	第 1 3 章 動脈疾患 胸部大動脈瘤	今日の循環器疾患治療指 針 第3版	-	711-713	2013
468	阿部知伸	心臓外科	I 冠動脈疾患に対する手術 (手技) ビデオ補助下胸腔鏡胸骨後面癒着剥離術—心 臓再手術時の安全な胸骨再生中切開のために—	わが国で生まれた心臓血 管外科手術 先達の創意 工夫に学ぶ Developing the Academic Surgeon編	-	58-59	2013
469	六鹿雅登	心臓外科	II 大血管疾患に対する手術 (手技) Entry closure and aortic tailoring for chronic type B aortic dissection	わが国で生まれた心臓血 管外科手術 先達の創意 工夫に学ぶ Developing the Academic Surgeon編	-	126-127	2013
470	Toriyama K	形成外科	Regenerative treatment of male stress urinary incontinence by periurethral injection of autologous adipose-derived regenerative cells: 1-year outcomes in 11 patients.	Int J Urol.	21(3)	294-300	2014
471	Kamei Y	形成外科	Non-rigid reconstruction of chest wall defects after resection of musculoskeletal tumors.	Surg Today	Epub ahead of print	Epub ahead of print	2014
472	Takanari K,	形成外科	The effect of polymer degradation time on functional outcomes of temporary elastic patch support in ischemic cardiomyopathy.	Biomaterials.	34(30)	7353-63	2013
473	Takanari K,	形成外科	Non-invasive characterization of polyurethane-based tissue constructs in a rat abdominal repair model using high frequency ultrasound elasticity imaging.	Biomaterials.	34(11)	2701-2709	2013
474	鳥山 和宏	形成外科	露出部の遊離皮弁移植後の整容的評価	日本マイクロサージャ リー学会会誌	26巻4号	134-139	2014
475	鳥山 和宏	形成外科	膝周囲の原発性骨悪性腫瘍切除後の腓腹筋弁 による再建(原著論文)	創傷	4巻4号	196-202	2013
476	H. Tsuchiya, K. Kaneko, A. Itoh, H. Kawashima, Y. Ono, T. Tainaka, N. Murase, H. Ando	小児外科学	Endoscopic biliary drainage for children with persistent or exacerbated symptoms of choledochal cysts	Journal of Hepato- Biliary-Pancreatic Sciences	20	303-306	2013
477	Tanaka Y, Uchida H, Kawashimai H, et al	小児外科学	Successful two-stage thoracoscopic repair of long-gap esophageal atresia using simple internal traction and delayed primary anastomosis in a neonate: report of a case	Surgery Today	43	906-909	2013



478	Yoshida Y, Matsuoka K, Nakazawa A, Uchida H, et al	小児外科学	Sacrococcygeal yolk sac tumor developing after teratoma: A clinicopathological study of pediatric sacrococcygeal germ cell tumors and a proposal of the pathogenesis of sacrococcygeal yolk sac tumors	J Pediatr Surg	48	776-781	2013
479	Kato M, Koh K, Oshima K, Uchida H, et al	小児外科学	Long-term survivor of relapsed stage IV malignant rhabdoid tumor of the kidney	Pediatr Int	55	245-248	2013
480	Takazawa S, Uchida H, Kawarasaki H, et al	小児外科学	Massive hemorrhage after Kasai portoenterostomy in a patient with a congenital extrahepatic portosystemic shunt, malrotation and a double aortic arch: report of a case	Surgery Today	44(8)	1561-4	2014
481	Tanaka Y, Uchida H, Kawashima H, et al	小児外科学	Complete Thoracoscopic Versus Video-Assisted Thoracoscopic Resection of Congenital Lung Lesions	J Laparoendosc Adv Surg Tech A	23	719-722	2013
482	Ishimaru T, S Takazawa, H Uchida, et al	小児外科学	Development of a Needle Driver with Multiple Degrees of Freedom for Neonatal Laparoscopic Surgery	J Laparoendosc Adv Surg Tech A	23	644-648	2013
483	Takazawa S, Uchida H, Kawashimal H, et al	小児外科学	Minimally invasive surgery for pediatric cases of large extraovarian teratoma with considerable solid component	J Pediatr Surg case reports	1	226-220	2013
484	Deie K, Uchida H, Kawashima H, et al	小児外科学	Single-incision laparoscopic-assisted appendectomy in children: exteriorization of the appendix is a key component of a simple and cost-effective surgical technique	Pediatr Surg Int	29	1187-1191	2013
485	Takazawa S, Uchida H, Kawashimal H, et al	小児外科学	External stabilization for severe tracheobronchomalacia using separated ring-reinforced ePTFE grafts is effective and safe on a long term basis	Pediatr Surg Int	29	1165-1169	2013
486	Masuko T, Uchida H, Kawashima H, et al	小児外科学	Laparoscopic excision of urachal remnants is a safe and effective alternative to open surgery in children	J Laparoendosc Adv Surg Tech A	23	1016-1019	2013
487	Japanese multicenter study group on male high imperforate anus	小児外科学	Multicenter retrospective comparative study of laparoscopically assisted and conventional anorectoplasty for male infants with rectoprostatic urethral fistula	J Pediatr Surg	48	2383-2388	2013
488	菅本健司, 小川潔, 星野健司, 内田広夫, et al	小児外科	Fontan手術後患者に対する腹腔鏡手術3症例の経験	日本小児循環器学会雑誌	29	43-48	2013
489	神保教広, 内田広夫, 田中裕次郎, et al	小児外科	腸重積症に対する腹腔胸下根治術の有用性	日本小児外科学会雑誌	49	25-28	2013
490	竹下 享典	検査部	Possible involvement of Notch signaling in the pathogenesis of Buerger's disease.	Surg Today	44(2)	307-13	2013
491	竹下 享典	検査部	[Assessment of cardiac contractile reserve].	Rinsho Byori.	61(10)	917-23	2013
492	竹下 享典	検査部	Efficacy and safety of radiofrequency catheter ablation for atrial fibrillation in chronic hemodialysis patients.	Nephrol Dial Transplant.	29(1)	160-7.	2014
493	竹下 享典	検査部	Usefulness of serum cardiac troponins T and I to predict cardiac molecular changes and cardiac damage in patients with hypertrophic cardiomyopathy.	Int Heart J	54(4)	202-6	2013

494	松下正	輸血部	Postmarketing Surveillance of Recombinant Human Soluble Thrombomodulin (Thrombomodulin $\alpha$ ) in Pediatric Patients With Disseminated Intravascular Coagulation.	Clin Appl Thromb Hemost.	20(5)	465-472	2014
495	松下正	輸血部	Post-marketing surveillance of thrombomodulin alfa, a novel treatment of disseminated intravascular coagulation - safety and efficacy in 1,032 patients with hematologic malignancy.	Thromb Res.	133(3)	364-70	2014
496	松下正	輸血部	Development of a new laboratory test to evaluate antithrombin resistance in plasma.	Thromb Res	133(2)	293-8	2014
497	松下正	輸血部	Phase 3 study of recombinant factor VIII Fc fusion protein in severe hemophilia A	Blood	123(3)	317-25	2014
498	松下正	輸血部	Recombinant soluble human thrombomodulin (thrombomodulin alfa) in the treatment of neonatal disseminated intravascular coagulation.	Eur J Pediatr	173(3)	303-11	2014
499	松下正	輸血部	A Phase II clinical trial of a mixture of plasma-derived factor VIIa and factor X (MC710) in haemophilia patients with inhibitors: haemostatic efficacy, safety and pharmacokinetics/pharmacodynamics.	Haemophilia.	19(6)	853-60	2013
500	松下正	輸血部	Impact of antithrombin deficiency on efficacy of edoxaban and antithrombin-dependent anticoagulants, fondaparinux, enoxaparin, and heparin.	Thromb Res	131(6)	540-6	2013
501	松下正	輸血部	Impact of recombinant soluble thrombomodulin (thrombomodulin alfa) on disseminated intravascular coagulation.	Thromb Res	131(5)	436-43	2013
502	松下正	輸血部	Enhancing the pharmacokinetic properties of recombinant factor VIII: first-in-human trial of glycoPEGylated recombinant factor VIII in patients with hemophilia A.	J Thromb Haemost.	11(4)	670-8	2013
503	松下正	輸血部	治療歴のある血友病A患者におけるBドメイン切断型遺伝子組換え第VIII因子製剤の安全性と有効性 全集団と日本人被験者集団のデータ比較	日本血栓止血学会誌	25巻1号	75-81	2014
504	Kawabata H, Takai K, Kojima M, Nakamura N, Aoki S, Nakamura S, Kinoshita T, Masaki Y.	病理部	Castleman-Kojima disease (TAFRO syndrome) : a novel systemic inflammatory disease characterized by a constellation of symptoms, namely, thrombocytopenia, ascites (anasarca), microcytic anemia, myelofibrosis, renal dysfunction, and organomegaly : a status report and summary of Fukushima (6 June, 2012) and Nagoya meetings (22 September, 2012).	J Clin Exp Hematop.	53(1)	57-61	2013
505	佐藤義朗	総合周産期母子医療センター	Effects of intravenous administration of umbilical cord blood CD34 cells in a mouse model of neonatal stroke.	Neuroscience	263C	148-58	2014
506	Iwase A	総合周産期母子医療センター	Mitochondrial membrane potential in 2-cell stage embryos correlates with the success of preimplantation development	Reproduction	147	627	2014
507	Iwase A	総合周産期母子医療センター	A proteomic analysis of human follicular fluid: comparison between fertilized oocytes and non-fertilized oocytes in the same patient.	J Assist Reprod Genet	30	1231	2013
508	Iwase A	総合周産期母子医療センター	Chronic peripheral administration of kappa-opioid receptor antagonist advances puberty onset associated with acceleration of pulsatile luteinizing hormone secretion in female rats.	J Reprod Dev	59	479	2013
509	Sumigama S	総合周産期母子医療センター	Altered expression of enzymes regulating the activity of endothelin-1 in the lower segment of the human amnion during labor.	Biol Reprod	89	52	2013

510	Iwase A	総合周産期母子医療センター	One-year follow-up of serum antimüllerian hormone levels in patients with cystectomy: are different sequential changes due to different mechanisms causing damage to the ovarian reserve?	Fertil Steril	100	516	2013
511	Watanabe Y	総合周産期母子医療センター	Amniotic lamellar body count and congenital diaphragmatic hernia in humans and in a rat model.	Pediatr Res.	73	344-8	2013
512	Takahashi S	総合周産期母子医療センター	Prognostic factors of congenital diaphragmatic hernia accompanied by cardiovascular malformation.	Pediatr Int.	55	492-7	2013
513	Nagata K,	総合周産期母子医療センター	The current profile and outcome of congenital diaphragmatic hernia: a nationwide survey in Japan.	J Pediatr Surg.	48	-44	2013
514	安藤雄一	化学療法部	Genetic polymorphisms associated with oxaliplatin-induced peripheral neurotoxicity in Japanese patients with colorectal cancer.	Int J Clin Pharmacol Ther	51(6)	475-81	2013
515	安藤雄一	化学療法部	A phase I study of tasisulam sodium using an albumin-tailored dose in Japanese patients with advanced solid tumors.	Cancer Chemother Pharmacol	71	991-8	2013
516	安藤雄一	化学療法部	Acute aortic dissection in a patient receiving multiple tyrosine kinase inhibitors for 5 Years.	Aktuelle Urol	45(2)	132-134	2014
517	安藤雄一	化学療法部	Clinical evidence of pharmacokinetic changes in thalidomide therapy.	Drug Metab Pharmacokinet	28	38-43	2013
518	下方智也	化学療法部	Echoic features of lymph nodes with sarcoidosis determined by endobronchial ultrasound.	Internal Medicine 2013	52	1473-78	2013
519	加藤有紀子	化学療法部	分子標的薬の臨床薬理.	がん分子標的治療. メジカルビュー社	11巻2号	64-69	2013
520	安藤雄一	化学療法部	疼痛ーがん疼痛を中心にー.	薬局 増刊号	64巻4号	649-659	2013
521	満間綾子	化学療法部	Irinotecanにおけるコンパニオン診断薬の開発-UGT1A1. 特集/個別化医療を目的としたバイオマーカーのコンパニオン開発.	腫瘍内科	12(6)	668-673	2013
522	本多和典	化学療法部	トポイソメラーゼ阻害薬.	日本臨牀	72巻 増刊号2	127-130	2014
523	下方智也	化学療法部	分子標的薬の展望. 甲状腺がんー病態と治療のUpdateー 各論: 転移・進行例への方策.	最新医学	68巻9号	1902-1909	2013
524	浦川浩	化学療法部	RANKL抗体医薬による低カルシウム血症.	医学のあゆみ	246(9)	812-817	2013
525	浦川浩	化学療法部	初診時に大腿骨骨転移を有した下腿横紋筋肉腫の一例.	骨軟部腫瘍治療	4巻	83-85	2013
526	浦川浩	化学療法部	初診時肺転移を有した右大腿骨遠位骨肉腫の一例.	骨軟部腫瘍治療	4巻	63-65	2013
527	浦川浩	化学療法部	神経線維腫症I型患者に悪性末梢神経鞘腫瘍と鑑別を要する肉腫を生じた2例.	日本レックリングハウゼン病学会雑誌	4巻1号	78-81	2013
528	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Animal models of schizophrenia for molecular and pharmacological intervention and potential candidate molecules.	Neurobiology of Disease.	53	61-74	2013
529	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Role of convergent activation of glutamatergic and dopaminergic systems in the nucleus accumbens in the development of methamphetamine psychosis and dependence.	International Journal of Neuropsychopharmacol.	16(6)	1341-1350	2013
530	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Astroglial IFITM3 mediates neuronal impairments following neonatal immune challenge in mice.	Glia.	61(5)	679-693	2013
531	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Intrastriatal gene delivery of GDNF persistently attenuates methamphetamine self-administration and relapse in mice.	International Journal of Neuropsychopharmacol.	16(7)	1559-1567	2013
532	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Nobiletin, a citrus flavonoid, ameliorates cognitive impairment, oxidative burden, and hyperphosphorylation of tau in senescence-accelerated mouse.	Behavioural Brain Research.	250	351-360	2013

533	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Role of Matrix Metalloproteinases and Their Targets in Epileptogenesis and Seizures.	Clinical Psychopharmacol Neuroscience.	11(2)	45-52	2013
534	Kiyofumi Yamada	薬剤部	SHATI/NAT8L regulates neurite outgrowth via microtubule stabilization.	Journal of Neuroscience Research.	91(12)	1525-1532	2014
535	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Combination of neonatal PolyI:C and adolescent phencyclidine treatments is required to induce behavioral abnormalities with overexpression of GLAST in adult mice.	Behavioural Brain Research.	258	34-42	2014
536	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Deletion of SHATI/NAT8L increases dopamine D1 receptor on the cell surface in the nucleus accumbens, accelerating methamphetamine dependence.	International Journal of Neuropsychopharmacology.	17(3)	443-453	2014
537	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Correlation of CYP2C19 phenotype with voriconazole plasma concentration in children.	J Pediatr Hematol Oncol.	35(5)	219-223	2013
538	Kiyofumi Yamada	薬剤部	Matrix metalloproteinase-3 is a possible mediator of neurodevelopmental impairment due to polyI:C-induced innate immune activation of astrocytes.	Brain, Behavior, and Immunity.	38	272-282	2014
539	Kiyofumi Yamada	薬剤部	The risk factors of severe acute kidney injury induced by cisplatin.	Oncology.	85	364-369	2013
540	西本卓矢	医療技術部放射線部門	等浸透圧造影剤を用いた頭蓋内血管撮影における造影効果の検討	日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌	28(4)	459-462	2013

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(注) 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

(注) 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	①・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	①・無
・ 手順書の主な内容  倫理審査申請についてのマニュアル	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 22 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(注) 2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	①・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	①・無
・ 規定の主な内容  利益相反の定義、教職員等の責務、委員会の組織等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 42 回

(注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容  利益相反マネジメント、臨床研究と医療訴訟	

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科に所属して、初期研修によって習得された基本的診療能力に上乘せられる、医師としての総合的診療能力の習得に加えて、当該診療科で実施されている先進的な医療に特化した研修を行うことで、医師としての広くかつ専門的経験を蓄積しながら、専門医資格の取得等を目指す後期研修を実施している。

2 研修の実績

研修医の人数	118人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伴 信太郎	総合診療科	教授	35年	
葛谷 雅文	老年内科	教授	31年	
清井 仁	血液内科	教授	28年	
室原 豊明	循環器内科	教授	29年	
後藤 秀実	消化器内科	教授	34年	
長谷川 好規	呼吸器内科	教授	34年	
大磯 ユタカ	糖尿病・内分泌内科	教授	40年	
松尾 清一	腎臓内科	教授	38年	
祖父江 元	神経内科	教授	39年	
椰野 正人	消化器外科 I	教授	35年	
小寺 泰弘	消化器外科 II	教授	29年	
古森 公浩	血管外科	教授	32年	
小倉 靖弘	移植外科	教授	23年	
菊森 豊根	乳腺・内分泌外科	講師	25年	
碓氷 章彦	心臓外科	教授	33年	
横井 香平	呼吸器外科	教授	36年	
亀井 譲	形成外科	教授	29年	
内田 広夫	小児外科	教授	25年	
西脇 公俊	麻酔科	教授	30年	
小嶋 勢二	小児科	教授	38年	
吉川 史隆	産科婦人科	教授	33年	
尾崎 紀夫	精神科	教授	32年	
西田 佳弘	整形外科	准教授	26年	
寺崎 浩子	眼科	教授	34年	
秋山 真志	皮膚科	教授	28年	
後藤 百万	泌尿器科	教授	34年	
曾根 三千彦	耳鼻いんこう科	准教授	27年	
長縄 慎二	放射線科	教授	27年	
若林 俊彦	脳神経外科	教授	33年	
松田 直之	救急科	教授	21年	
日比 英晴	歯科口腔外科	准教授	27年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【看護部】看護技術の習得、教育・指導、看護倫理、看護研究、看護管理

【医療技術部】1. ポストン大学留学報告、チャイルド・ライフ・スペシャリストとは  
2. 医療従事者のための患者接遇

【栄養管理部】当院は日本静脈経腸栄養学会よりNST専門療法士の教育施設として認定されており、臨床栄養法のために必要とされる患者との人間関係の確立を基盤とし、栄養学的専門知識を実際の臨床において発揮させるための技能を修得させることに留意した40時間の実地修練研修を行っている。また、看護師、薬剤師、管理栄養士が栄養サポートチーム加算の算定に必要な所定の研修内容を満たしており、栄養障害例の抽出・早期対応(スクリーニング法)、栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導、経静脈栄養剤の側管投与法・薬剤配合変化の指摘、経静脈輸液適正調整法の取得、経静脈栄養のプランニングとモニタリング、経腸栄養剤の衛生管理・適正調整法の指導、経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング、簡易懸濁法の実施と有用性の理解、栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応、栄養療法に関する問題点・リスクの抽出、栄養管理についての患者・家族への説明・指導、在宅栄養・院外施設での栄養管理法の指導などが含まれている。

・研修の期間・実施回数

【看護部】延べ400時間（別紙参照）、【医療技術部】平成25年11月29日、平成26年2月28日・2回、【栄養管理部】研修期間：5日間・40時間(平成25年度:9月2日－9月6日の期間で実施) 実施回数：1回/年

・研修の参加人数

【看護部】看護師及び看護補助者 延べ2476名、【医療技術部】1. 85名 2. 76名、  
【栄養管理部】7人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

先端医療・臨床研究支援センター 人材育成講座「臨床研究セミナー」  
医学・臨床研究に従事する職員（医師及び歯科医師も含む）、研究者、大学院生を対象とする。臨床研究に従事する人材の情報交換の場を設け、臨床研究を担う人材の育成を加速することを目的とする。

・研修の期間・実施回数

1日ごとの開催。平成25年度は21回開催。

・研修の参加人数

のべ1,030人。

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数



(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 石黒 直樹
管理担当者氏名	副病院長 後藤 百万 副病院長、医療の質・安全管理部長 長尾 能雅 薬剤部長 山田 清文 総務課長 曾谷 祐一 医事課長 仲井 精一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録  病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		中央管理 総務課	疾病分類 ICD-10  管理形態 外来カルテ・入院カルテ 1患者1電子カルテで中央管理（一部紙媒体にて保存）
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課人事労務G	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課・医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課人事労務G	
	閲覧実績	総務課・医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
第規 一則 号第 一に 掲条 げの 十一 体制 第一 の 確項 保各 の号 状及 び 第九 条の 二十 第一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	医療の質・安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一	院内感染のための指針の策定状況	医療の質・安全管理部
	第一條の十一	院内感染対策のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部
	第一條の十一	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部
	第一項各号及び第九條の二十三	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療の質・安全管理部
	第一項各号及び第九條の二	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第一項各号及び第九條の二	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第一項各号及び第九條の三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一項各号及び第九條の三	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第一項各号及び第九條の三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学技術部
	第一項各号及び第九條の三	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学技術部
	第一項各号及び第九條の三	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学技術部
第一項各号及び第九條の三	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学技術部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 曾谷祐一
閲覧担当者氏名	総務課病院事務掛長 若山裕司
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要	
病院の管理及び運営に関する諸記録は、公文書等の管理に関する法律の規定に基づき、保有する法人文書ファイルとして、名称、保存期間、文書管理者、保存場所、その他の事項を記載した法人文書ファイル管理簿を作成し、一般の閲覧に供するとともに、公表しています。	

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

## (様式第6)

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：</li> <li>・ 医療安全管理に対する基本的な考え方</li> <li>・ 医療事故防止に対する基本的な姿勢と組織体制</li> <li>・ 医療の安全に関する職員計画</li> <li>・ 医療事故の定義と医療事故発生時の報告・対応指針</li> <li>・ 指針の閲覧に関する基本方針</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 17 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：</li> </ul> <p>医療事故発生の防止に努め、かつ、発生した医療事故への適切な対応及び病院全体の医療の質向上を積極的に図る。これらの活動のため、次の事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項</li> <li>・ 医療上の紛争処理に関する事項</li> <li>・ 医療の質向上に関する事項</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 21 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>・ 全職員を対象として「患者誤認防止について」「医療の安全を願って」（医療事故被害者遺族による講演）「患者参加について」などをテーマとした研修を実施</li> <li>・ 新規・中途採用職員について、採用時に「医療安全ポケットマニュアル」「当院のインシデント概要と対策」などをテーマとした研修を実施</li> </ul> <p>※上記実施状況は会場にて実施した回数（DVD貸出及びE-learning受講は除く）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>・ 各部門とのインシデント検討会にて報告事例を審議し、改善に結びつける</li> <li>・ 重大事故に関しては外部委員主導の事故調査委員会などを開催し、そこで得られた分析結果や提言を踏まえ、再発防止に結びつける</li> <li>・ 他職種が関連した事例等については、カンファレンス形式による検討会を開催し、改善に活かしている</li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 4 名）
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 5 名）
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任（ 4 ）名 兼任（ 9 ）名</li> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>・ 治療中の不測のトラブル等に対し、病院全体で対応できる治療体制の構築</li> <li>・ 全部門からのインシデント情報の集積と分析、事故予防策の検討</li> <li>・ 医療事故等に対する第三者による客観的事例調査、原因究明と再発防止策の指導</li> <li>・ 院内の各種安全マニュアル、標準対応指針などの策定、各部門との連携</li> <li>・ 院内研修、学生教育による安全意識やノンテクニカルスキルの高い医療者の育成、安全文化の醸成</li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有

(様式第6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>・ 院内感染対策のための委員会と組織</li><li>・ 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項</li><li>・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>院内感染の防止に努めるとともに、発生した感染事例について適切な対応を図る。 これらの活動のため、次の事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内感染の予防及び対策等に関する事項</li><li>・ 患者の取扱いに関する事項</li><li>・ 医療従事者への感染予防に関する事項</li><li>・ その他院内感染及び難治感染症対策に関する事項</li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 22 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 全職員を対象として「感染対策について」「HIV 感染症の標準予防策の“標準”とは」「適切な感染対策・細菌検査・抗菌薬使用」などをテーマとした研修を実施</li><li>・ 新規・中途採用職員を対象として、採用時に「針刺し・血液曝露時の対応」などをテーマとした研修を実施</li><li>・ 清掃業務、廃棄物運搬・収集業務従事者を対象として「環境整備における感染対策」をテーマとした研修を実施</li></ul> <p>※上記実施状況は会場にて実施した回数（DVD貸出及びE-learning受講は除く）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 全病棟と外来、部門を対象に感染対策の知識、手指衛生などの感染対策の実施状況、環境整備のチェックを中心としたICTラウンドの実施</li><li>・ MRSA新規検出症例数の独自介入基準を設け、基準に合致した部署に対して手指衛生観察巡回などを実施し、感染対策の強化を図っている</li><li>・ NICU、MICUとの定期的なミーティング</li><li>・ 抗菌薬適正使用の推進を目的とした薬剤部とのミーティング</li><li>・ 診療科横断的な感染症症例コンサルテーションと血液培養陽性例への介入</li></ul>	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>全職員を対象とした医薬品の安全使用に係る研修（①医薬品による副作用発現時の報告および安全性情報のフィードバックについて、②内服薬管理手順について、DPC患者に係る持参薬の取り扱いについて）を実施した。その他、新任看護師と対象とした研修（薬剤管理、与薬に注意を要する薬剤に関する基本的知識）を実施した。</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有)・無)</p> <p>・業務の主な内容： 以下の医薬品安全使用のための業務手順書に基づく</p> <p>医薬品の採用・購入に関する事項、医薬品の管理に関する事項、患者に対する投薬指示から調剤に関する事項、患者に対する与薬や服薬指導に関する事項、医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項、ハイリスク薬剤の取り扱い、他施設との連携に関する事項、医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく業務の遂行に関する事項</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内で収集されたインシデント報告等から業務またはマニュアルを見直している。医薬品に係る適正使用に関する情報や副作用情報を薬事委員会で報告し、かつ必要に応じて薬品情報室からメール、お知らせ、薬剤部のホームページ、電子カルテ等を利用して注意事項等を随時発信している。</p>	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 随時
<p>・研修の主な内容：</p> <p>新規機器導入時における機器の取扱い、新卒者に対してオリエンテーション時や各部署での定期またはスポットでの勉強会の実施</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の作成 (有)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p>院内での定期点検は電気安全解析装置などのシミュレーターを用いて実施している。また交換パーツについてはメーカー講習会を受講したものについては、供給を受けて院内で行っている。 ダヴィンチなどメンテナンス契約を結んでいるものについては、機器の空き状況を確認し実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>PMDAや日本臨床工学技士会からの安全情報の収集、MLたCEニュースなど電子媒体を利用して関連部署での情報共有の実施。</p>	



(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期</li> <li>・ 日本医療機能評価機構, 平成22年6月4日～平成27年6月3日</li> </ul>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信の方法、内容等の概要</li> </ul> <p>1. 附属病院における臨床研究成果を①名古屋教育記者会会員15社へFax、記者会見を通じて、プレスリリースを行い、②医学系研究科ホームページに研究トピックスとして掲載し、広く学外・院外に向けて情報発信している。</p> <p>2. 診療内容・医療サービスや診療実績等の医療情報について、附属病院ホームページにおいて公開している。</p> <p>3. 患者や地域向けに広報誌を作成し、広く頒布している。また、一般市民を対象とした公開講座を毎年度開催し、地域市民に向けた教育・啓発活動にも取り組んでいる。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</li> </ul> <p>ア. 補助人工心臓を用いた重症心不全治療…心臓外科、循環器内科、ICU、麻酔科、精神科の診療科の他に、看護師、臨床工学技士、理学療法士(心臓リハビリ)、臨床心理士、栄養管理部、薬剤部が合同して患者管理を行っています。</p> <p>イ. 肝臓移植はチーム医療で行っている(図1)</p> <p>ウ. 神経線維腫症I型患者に対して、15歳までと15歳以降に分け、それぞれ基本的に診療を担当する科を決め、他は症状に合わせて診療科を決めるシステムを構築した。15歳までの診療システムを示す。(図2)</p> <p>エ. 大動脈疾患における人工血管治療とステント治療の同時ハイブリッド手術…心臓外科と血管外科が合同して手術を行っている</p>	

図1

移植とチーム医療

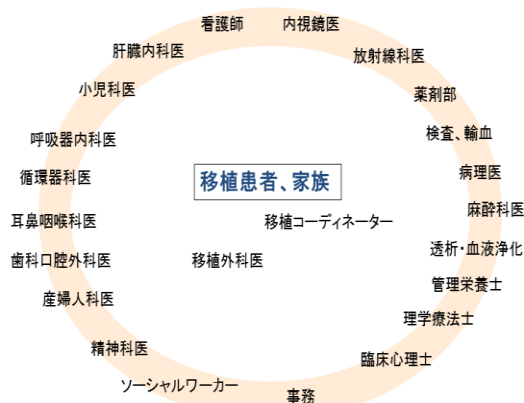
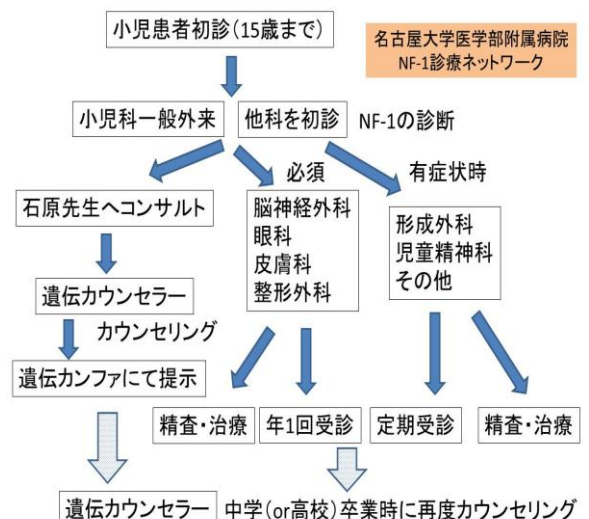


図2



平成25年度 院内研修一覧

看護部教育

	内容	対象者	対象人数	参加者数	集合研修時間
育新人 成人 研修 技術	輸液ポンプ、シリンジポンプ	新採用者	105	105	49
	電子カルテについて他	新採用者	105	105	
	ライン管理	新採用者	105	105	
	メンタルヘルス		90	90	8
	スマイルアップ		90	90	1
I S a v i n g 研 修 ナ ー ス	一次救命技術	新採用者	105	105	20
	フィジカルアセスメント①	新採用者	105	105	24
	二次救命技術①	新採用者	105	105	30
	フィジカルアセスメント②	新採用者	105	105	27
	二次救命技術②	ラダーⅠ	100	100	8
	フィジカルアセスメント③	ラダーⅠ	100	100	16
	フィジカルアセスメント④	ラダーⅠ	100	100	16
	フィジカルアセスメント⑤	ラダーⅠⅡ	105	105	16
認定試験	ラダーⅠⅡ	295	295	10.5	
ラダーⅠ取得	患者と信頼関係を築く	ラダーなし	90	90	16
	マネジメント・リーダーシップ	ラダーなし	90	90	8
ラダーⅡ取得	リーダーシップ fast	ラダーⅠ	40	40	7.5
	看護におけるケアリング	ラダーⅠ	90	90	3.5
	看護チームのリーダーシップ	ラダーⅠ	50	50	24
	看護研究 初級	ラダーⅠ	50	196	8
	看護技術の指導	ラダーⅠ	15	10	2
	新人職員の指導	ラダーⅠ	100	119	2
ラダーⅢ取得	看護倫理	ラダーⅡ	12	12	8
	組織マネジメント	ラダーⅡ	20	19	8
	看護研究 中級	ラダーⅡ	30	31	12
	部署の学習会企画運営	ラダーⅡ	30	18	3
教育 指導 者	①看護継続教育	ラダーⅡ	15	18	7.5
	②看護基礎教育	ラダーⅡ			7.5
	③教育目標	ラダーⅡ			7.5
	④教育評価	ラダーⅡ			7.5
	⑤コーチング	ラダーⅡ			3
	⑥ファシリテーション	ラダーⅡ			7.5
看護補助者	看護補助者研修	看護補助者	80	78	8
管理研修	ポジティブマネジメント	副師長	72	72	6
	マネジメント・リフレクション	師長	40	40	6
	事例評価	師長・副師長	12	12	2
副師長候補	副師長候補者研修	副師長候補	10	10	5
師長候補者	師長候補者研修	師長候補者		6	5

合計

2476

400